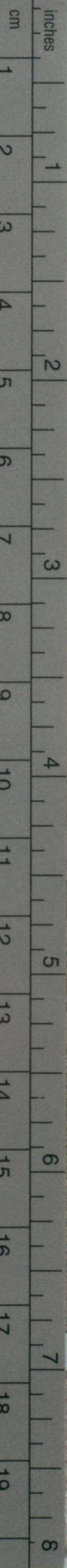


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

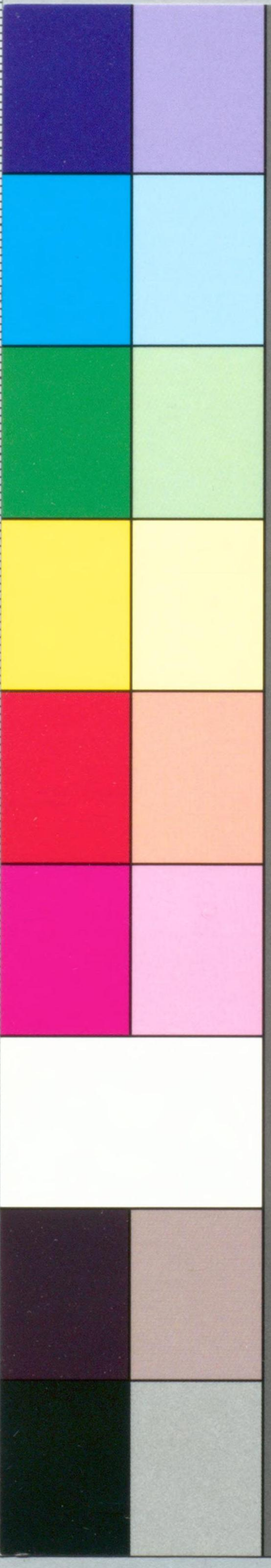
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



水-18



1200701614198

大正元年八月刊行

明治四十四年水路告示集

水路部

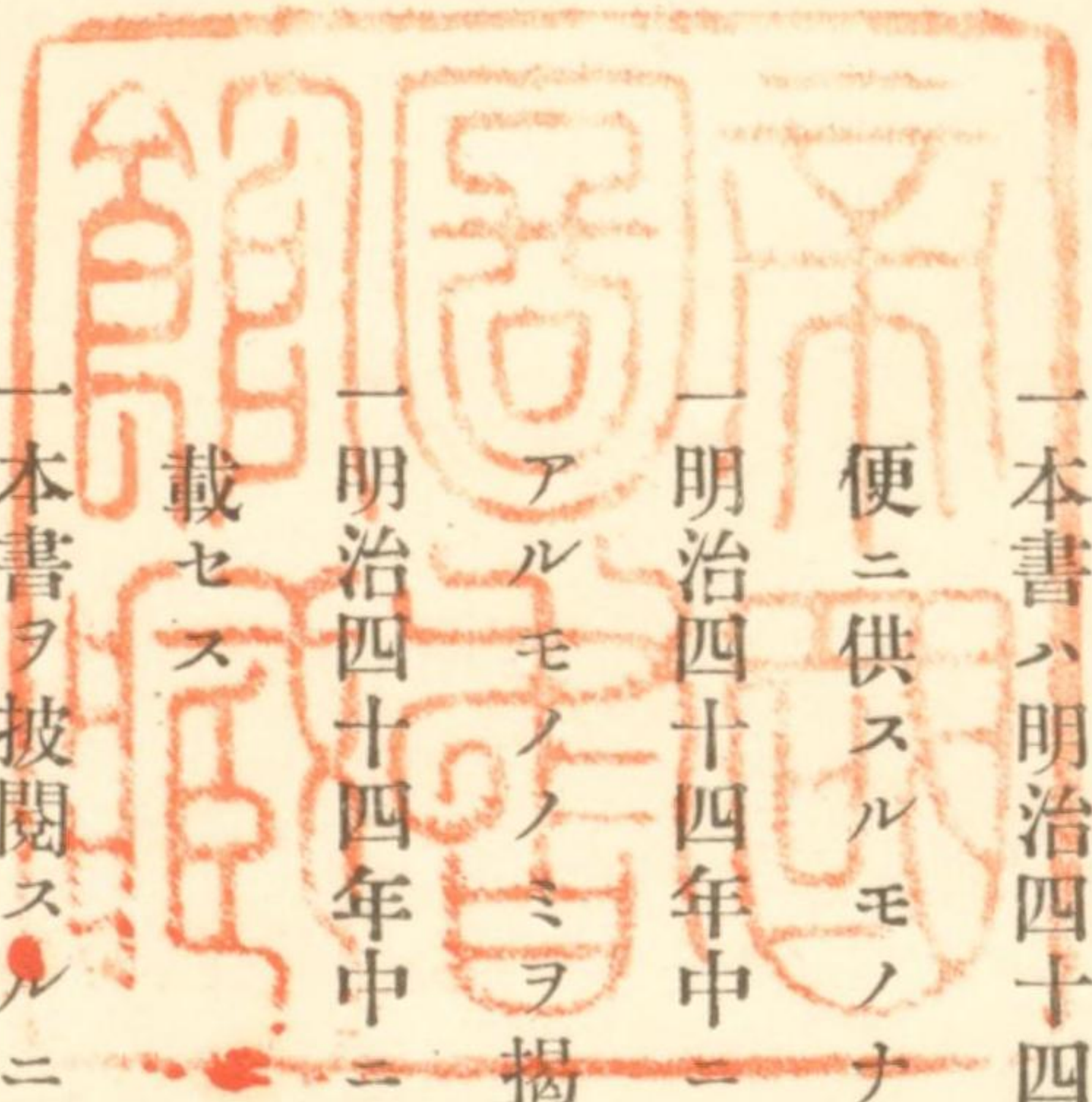
明治四十四年水路告示集

一本書ハ明治四十四年中ニ發行セシ水路告示ヲ水路誌各卷ノ頁數ノ順序ニ集綴シ水路誌使用者
便ニ供スルモノナリ

一明治四十四年中ニ廢設セラレタル航路標識等ニシテ再應變更アリシモノハ同年末以降ニ其効力
アルモノノミヲ掲記シ又水路圖誌ノ刊行廢止等ハ本書ニ掲記セス

一明治四十四年中ニ發行セシ水路告示中同年内ニ於テ刊行ノ水路誌ニ撮收シタルモノハ本書ニ掲
載セス

一本書ヲ披閱スルニ當リ其關係セル水路誌ノ頁數ハ各項ノ上部欄外ニ掲記ス



大正元年八月

水路部



明治四十四年水路告示集

目錄

全	日本水路誌第一卷之部	一至	八
全	第二卷上之部	九至	一三
全	第二卷下之部	一五至	三三
全	第三卷之部	三五至	四六
全	第四卷之部	四七至	五六
全	第五卷之部	五七至	六三
全	第五卷追補第一之部	六五	
全	第六卷之部	六七至	七六
全	黑龍沿岸州水路誌之部	七七至	七八
全	支那海水路誌第一卷之部	七九至	一二
全	第二卷之部	一一三至	一七
全	第二卷追補第一之部	一一九	

支那海水路誌第三卷之部	一一一至一二四
全 第四卷之部	一二五至一二九
全 第五卷上之部	一三一至一四〇
全 第五卷下之部	一四一至一五二
全 第六卷上之部	一五三至一六二
全 第六卷上追補第一之部	一六三至一六四
全 第六卷下之部	一六五至一七一
全 第七卷上之部	一七三至一八四
全 第七卷下之部	一八五至一九五
ベングアル灣東側水路誌之部	一九七至二〇〇
大洋航路誌之部	二〇一至二〇三
水路報道第九十六號之部	二〇五

日本水路誌第一卷明治三十七年十二月第二改版之部

第三海堡燈竿ノ撤去及假燈ノ設置

一記事 第三海堡燈竿ハ不日移轉工事著手ニ付本燈ヲ撤去シ該工事中左記ノ假燈ヲ點スト云

一位置 第三海堡燈竿

北緯三五度二七分

東經二三九度四四分

假燈

本燈位置ヨリ北四七度西距離約一鏈一四ノ處

一燈質 不動紅光燈

一燈高 六十五呎八礎上十三呎

一光達距離 六湮

一明弧 全度

一偏差 明治四十四年四度二八分西

(告第二三五八號第七四五四項)

第三海堡假燈點火ノ一時停止

一記事 第三海堡燈竿ハ移轉工事ニ著手シ假燈點火中ノ處本年七月二十六日破壊ノ爲メ當分

ノ内點火セスト云フ
 一位置 本燈位置ヨリ北四七度西距離約一鏈一四ノ處
 (告第二三五九號第七四五八項)

一一九頁

本牧沖假設掛燈浮標ノ撤去

一記事 明治四十三年一月試驗ノ爲メ横濱港口へ碇置シタル本牧沖假設掛燈浮標ハ今般撤去セリ

一位置 本牧掛燈浮標ノ南西約四十碼ノ處

北緯三五度二六分四一秒

東經一三九度四一分九秒

一偏差 明治四十四年四度三〇分西

(告第二三二四號第七三〇二項)

一一九頁

本牧掛燈浮標ノ光達距離變更

一位置 北緯三五度二六分

東經一三九度四一分

一光達距離 七哩ヲ九哩ニ變更ス

(告第二三三八號第七四〇四項)

一一三頁

横濱港暴風雨標ノ設置

一記事 横濱港東波止ニ縣立暴風雨標ヲ設置シ明治四十四年一月七日ヨリ實施スト云フ

(告第二三〇七號第七二三九項)

一五〇頁

野島埼燈臺爆發霧中信號時間ノ變更

一記事 野島埼燈臺ノ爆發霧中信號ハ明治四十四年十一月七日以後毎五分ニ一回爆發ノコトニ變更セリト云フ

一位置 野島埼燈臺

北緯三四度五四分

東經一三九度五三分

(告第二三八〇號第七五六九項)

一六四頁

波太島附近漁網ノ設置

一記事 安房地方波太島東方左記ノ位置附近ニ明治四十四年ヨリ向五箇年間毎年九月ヨリ翌年五月マテ漁網ヲ設置ス

一位置 波太島ヨリ南七〇度東距離約八鏈ノ處

北緯三五度四分二七秒

東經一四〇度七分二二秒

一偏差 明治四十四年四度一六分西

(告第二三二四號第七三〇三項)

二九六頁

尻矢埼燈臺霧笛吹鳴ノ復舊

一記事

曩ニ當分ノ内吹鳴停止ノ旨ヲ告示シタル尻矢埼燈臺ノ霧笛ハ明治四十四年五月二十
九日ヨリ從前ノ通り吹鳴ヲ開始セリト云フ

一位置

北緯四一度二六分
東經一四一度二七分

(告第二三四七號第七四〇〇項)

三二六頁

桑港岩(San Francisco rock)ノ不存在

一記事

今回軍艦松江ハ桑港岩ノ存否ヲ確メン爲メ該岩ノ在リト云ヘル位置ニ到リ之カ搜索
ニカメタルモ海水ノ變色又ハ破浪ノ如キ其他該岩ノ存在ヲ認ムヘキ何等ノ徵候ヲモ
發見セサリシト云フ

依テ該岩ハ圖載位置及其附近ニハ存在セサルモノト認メ圖誌上ヨリ之ヲ削除ス

一位置

北緯三二度二九分
東經一四〇度一四分

(告第二三六六號第七四九八項)

三二五頁

父島列島暗礁ノ正位置

(一)南島ノ北西方暗礁(海圖上概位ト記セルモノ)ノ正位置

一正位置

暗礁ヨリ
南島南端ハ 南四七度三〇分東
二本岩南頂ハ 北七二度三〇分東 距離九 $\frac{1}{2}$ 鏈

北緯二七度二分四〇秒二

東經一四二度八分四〇秒五

一水深

二 $\frac{1}{4}$ 尋(岩底)

一偏差

明治四十四年零度五四分西
(告第二三六四號第七四八四項ノ内)

三二六頁

父島二見港内暗礁ノ水深等

(一)黒岩ノ南方距離約一鏈半ニアル⁽¹⁾暗礁ノ最淺部ハ水深四分一尋ニシテ尙ホ南方へ三分一鏈擴延ス

(二)黒岩ノ南西距離約四鏈ニアル⁽²⁾E.D.ハ現位置ニ存在シ其水深ハ一尋半ナリ

(三)二見岩ノ南方ハ約一鏈ノ間干出ス

(四)要岩ノ西端ヨリ北二〇度西距離一 $\frac{1}{2}$ 鏈ノ處ニ六 $\frac{1}{4}$ 尋暗礁アリ之ト要岩トノ間ハ水深概ネ八尋乃至

九尋ナリ

(五)烏帽子岩ノ西端ヨリ南及西へ礁脈伸出シ其最外端ハ共ニ水深八尋ナリ而シテ西礁ノ外端ハ高四

呎岩ヨリ南五八度西距離一 $\frac{1}{2}$ 鏈、南礁ノ外端ハ同岩ヨリ南二〇度東距離二 $\frac{1}{2}$ 鏈ニアリ

一偏差

明治四十四年零度五四分西
(告第二三四四號第七三八六項ノ内)

父島一見港内ニ就テ

- (二) 棧橋旗竿ノ不存在
 - 一 記事 大村棧橋屈曲部ノ旗竿ハ目下存在セス
 - (三) 黒岩南方疑礁ノ存在
 - 一 記事 黒岩ノ南方約一鏈半ニアル⁽³⁾ E.D.ハ現位置ニ存在ス
 - 一 注意 依テ該四分三尋礁ノ傍ニ記セル E.D.ナル文字ヲ削除センコトヲ要ス
- (告第二三一〇號第七二四八項ノ内)

瓢島南方暗礁ノ發見

- (一) 位置
 - 暗礁ヨリ
 - 人丸島頂ハ 南四五度東 距離五^五/_五鏈
 - 瓢島東端ハ 北四〇度東
 - 人丸島
 - 北緯二七度六分五六秒
 - 東經一四二度一〇分三六秒
- (二) 位置
 - 水深 四分三尋、周圍十二尋乃至十九尋
 - 暗礁ヨリ
 - 人丸島頂ハ 南五二度東 距離四鏈
 - 瓢島東端ハ 北一六度東

父島列島暗礁ノ發見

- (二) 弟島南端ノ西方暗礁ノ發見
 - (甲) 暗礁
 - 一 位置 弟島南端
 - 北緯二七度八分三七秒五
 - 東經一四二度一〇分三四秒
 - 暗礁ヨリ
 - 西島北西角ハ 南二〇度二〇分西 距離一湮六^五/_五鏈強
 - 弟島南端ハ 南八六度東
 - (乙) 暗礁
 - 一 水深 四^四/_四尋(岩底)、周圍十四尋乃至二十六尋
 - 一 位置
 - 暗礁ヨリ
 - 西島北西角ハ 南二四度西 距離一湮六^五/_五鏈
 - 弟島南端ハ 南八三度東
 - 一 水深 三尋(岩底)、周圍十四尋乃至二十六尋
 - 一 偏差 明治四十四年零度五四分西

(告第二三六四號第七四八四項ノ内)

三三八頁

フオルハナ島ノ不存在

一記事

今回軍艦松江ハ小笠原群島父島ノ南々東約九十五哩ニアリト云ヘルフオルハナ島ノ存否ヲ確メン爲メ其圖載位置及附近ヲ搜索セシモ毫モ其存在ノ徵候ヲ發見セサリシト云フ

依テ該島ハ圖載位置及其附近ニハ存在セサルモノト認メ圖誌上ヨリ之ヲ削除ス

一位置

北緯二五度三七分

東經一四二度五六分

(告第二三六八號第七五一二項)

三四一頁

南硫黃島北東方十呎嶼ノ不存在

一記事

露木海軍水路大技士ノ實測ニ據レハ南硫黃島ノ北東方約三哩ニアル十呎嶼ノ位置ハ現今水深二百三十二尋(底質黑色ノ細沙浮石ヲ交ユ)ニシテ其附近ノ海面ニモ何等ノ異狀ヲ認メサリシト云フ

一位置

南硫黃島

北緯二四度一七分

東經一四一度二九分

(告第二三五〇號第七四二〇項)

日本水路誌第二卷上明治四十二年九月第一改版之部

四九頁

御前埼村暴風雨標ノ設置

一記事

静岡縣榛原郡御前埼村ニ暴風雨標ヲ設置シ明治四十四年四月十七日ヨリ實施セリ

(告第二三三七號第七三五一項)

六七頁

渥美灣内暗礁ノ發見

一記事

渥美灣内左記ノ位置ニ暗礁アリ

一位置

暗礁ヨリ
梶島頂ハ 北二三度西 距離六鏈
辨天島頂ハ 北七三度東

北緯三四度四五分二五秒

東經一三七度六分三一秒

低潮ニ六呎乃至八呎

明治四十四年四度三六分西

(告第二三三〇號第七三二七項)

七三頁

名古屋港防沙堤頭部浮標ノ變更

一記事

名古屋港防沙堤頭部ニ碇置セル浮標ノ様式等ヲ明治四十四年二月一日ヨリ左記ノ通り變更セリ

- 一位置 北緯三五度二分二〇秒
東經一三六度五一分四〇秒
 - 一様式 菱形目標附黑白橫線塗圓錐形鐵造
 - 一水面上高 十七呎・一
- (告第二三一五號第七二六八項)

七五頁

- 一記事 名古屋港東築地燈竿(舊稱新開地築堤燈竿)ノ廢止
 - 一位置 名古屋港東築地燈竿ハ明治四十四年十月三十一日限廢止スト云フ
北緯三五度五分
東經一三六度五四分
 - 一燈質 不動紅光燈
- (告第二三六九號第七五一四項)

八〇頁

- 一記事 岩田川口突堤ノ竣成及沈床ノ設置
津泊地岩田川口南側ノ工事中ノ突堤ハ既ニ竣成シ又同北側ニ於テ贊崎燈竿ノ南五五度三〇分東距離約三分一鏈ノ地點ヨリ南七八度東ニ向ヒ長サ三分二鏈ノ沈床(高潮ニ沒ス)ヲ設置セリト云フ
- 一位置 贊崎燈竿
北緯三四度四二分三三秒

- 一偏差 東經一三六度三一分三四秒
明治四十四年四度四〇分西
- (告第二三一九號第七二八三項)

九八頁

- 一記事 安乘埼燈臺燈色ノ變更
的矢港口安乘埼燈臺ノ燈色ヲ明治四十四年二月十五日以後左ノ通り變更ス
 - 一位置 北緯三四度二二分
東經一三六度五五分
 - 一燈色 紅光
 - 一光力 千六百燭
- (告第二三一五號第七二七一項)

一〇一頁

- 一記事 小島燈臺ノ新設
濱島港近海ノ小島ニ燈臺ヲ新設シ左記ノ通り點火ス
 - 一位置 北緯三四度一四分五秒
東經一三六度四九分九秒
 - 一燈質 每四秒ノ明暗白光燈明二秒 暗二秒
全度但シ北一四度三〇分東ヨリ北二六度東マテ一一度三〇分間ハ紅光ヲ以テ神ノ島及其附近ノ危險礁ヲ示ス
- 海圖第七八號ニ據ル

一燈高 六十五呎○礎上二十呎
 一光達距離 白光十三哩、紅光九哩
 一光力 白光二百燭、紅光八十燭
 一様式 白塗六角形鐵造
 一等級 無等
 一注意 本燈ニハ別ニ看守員ヲ置カサルヲ以テ萬一消滅スルトキハ再點ニ多少ノ時間ヲ要ス
 一偏差 明治四十四年四度二六分西
 (告第二三三二二號第七二九三項)

叶埼燈臺ノ新設

一位置 北緯三二度四四分四八秒(海圖第一五一號ニ據ル)
 東經一三二度四八分〇秒
 一燈質 不動白光燈
 一燈高 一二三呎半○礎上十七呎半
 一光達距離 十三哩
 一明弧 南四〇度西ヨリ西、北、東ヲ經テ南七八度二〇分東ニ至ルニ二四一度四〇分間
 一等級 第五等
 一光力 二百燭
 一様式 白塗八角形煉瓦造

大島西側暗礁ノ發見

一位置 暗礁ヨリ(大島頂△六七三呎ハ) 南七五度東 距離四ノ鐘
(同) 北端頂△(四三九呎ハ) 北五八度四五分東
 北緯三一度三二分〇秒
 東經一三一度二三分三六秒
 一水深 約十八呎、周圍五尋半乃至六尋
 一形狀 北ノ西ニ延長シ長約三十碼幅約二碼乃至十碼
 一偏差 明治四十四年三度三六分西
 (告第二三八〇號第七五六八項)

日本水路誌第二卷下明治四十一年十月第一改版之部

五〇頁

曾津高埼燈臺點火ノ一時停止

一記事 曾津高埼燈臺ハ燈器破損ノ爲メ當分ノ内點火セスト云フ

一位置 北緯二八度一五分 東經一二九度八分

(告第二三三八號第七四〇六項)

八六頁

那霸港浮標ノ新設

一位置 那霸港三重城北方暗礁ノ西端

浮標ヨリ
 三重城燈臺ハ 南五一度一二分東 距離約一ノ三鏈
 波之上埼ハ 北五七度二七分東

北緯二六度一二分四四秒 東經一二七度三九分三六秒

一様式 圓筒形目標附黑塗圓錐形鐵造

一水面上高 六呎二

一水深 約三尋ノ處

一偏差 明治四十四年二度二二分西

(告第二三三二二號第七二九四項)

那霸港暴風雨標ノ設置

一記事

那霸港水上警察署構内ニ暴風雨標ヲ設置シ明治四十四年五月二十日ヨリ實施スト云フ

(告第二三三三三號第七三三五項)

狩股錨地内暗礁ノ發見

一位置

暗礁ヨリ 西平安名埼ハ 狩股村ノ一四五呎山ハ

北々東々東 距離四鏈半

一水深

約二尋

一形狀

濶約五碼

一偏差

明治四十四年一度二五五分西

(告第二三三六六號第七四九九項)

水底電線ノ改設

一記事

南西諸島八重山列島石垣島ト臺灣北岸淡水港トノ間ニ水底電線一條ヲ設置シ在來ノ基隆ヨリ八重山列島ニ至ル水底電線ヲ廢止セリ

(告第二三三七號第七三五三項)

基隆港繫船浮標ノ増設及變更

一記事

基隆港内ニ左記ノ通り繫船浮標二箇ヲ増設シ第二號繫船浮標ヲ圓筒形ニ變更セリ

(一)第十一號繫船浮標

一位置

該浮標ヨリ 砲臺山頂ハ 球仔山△ハ

北八一度三〇分東 北零度二〇分東 距離七鏈半弱

球仔山△

北緯二五度八分四八秒

東經一二一度四分二二秒

一様式

紅塗、圓筒形、鐵造ニシテ11ナル番號ヲ白書ス

(二)第十二號繫船浮標

一位置

該浮標ヨリ 砲臺山頂ハ 球仔山△ハ

北七七度二〇分東 北三度二五分東 距離約八々鏈

紅塗、圓錐形、鐵造ニシテ12ナル番號ヲ白書ス

一偏差

明治四十四年一度二一分西

(告第二三三三三號第七三三八項)

基隆港浮標ノ位置變更及廢設

(一)浚渫區域識別用J浮標ノ位置變更

一變更位置

J浮標ヨリ 仙洞山△ハ 砲臺山頂ハ

北三二度東 距離約六々鏈 南八七度三〇分東

仙洞山△

北緯二五度八分四八秒
東經一二一度四四分四六秒

一 舊位置 球仔山△ヨリ南零度一〇分東距離六 $\frac{2}{3}$ 鏈ノ處

(二) 第十三號繫船浮標ノ増設

一 位置

仙洞山△ハ 北二九度東 距離四 $\frac{2}{3}$ 鏈
砲臺山頂ハ 南七二度東

一 樣式 紅塗圓筒形鐵造ニシテ13ト白書ス

(三) 第七號繫船浮標ノ撤去

一 位置

仙洞山△ヨリ南三七度三〇分西距離五鏈半ノ處
明治四十四年一度二分西

一 偏差 (告第二三四六號第七三九四項)

基隆港内取締規則ノ改正

一 記事

臺灣總督府ハ府令第七〇號ヲ以テ基隆港内取締規則ヲ又同府告示第一五四號ヲ以テ同規則中公ノ航路區域ヲ左ノ通り改正セリ

基隆港内取締規則

第一條 基隆港内トハ萬人堆鼻ヨリ北東ノ東ニ東ニ向ヒ中山ノ北西端ニ引キタル一線ト尖山鼻ヨリ南西ノ南ニ向ヒテ引キタル

一線トノ内部ヲ謂フ

第二條 各航洋船舶ハ入港スルニ當リ其ノ國旗及信號符字ヲ掲ケヘシ

前項國旗及信號符字ハ別記第一號書式ノ著港届ヲ基隆港務所ニ差出シタル後ニ非サレハ之ヲ引下スコトヲ得ス

第三條 基隆港務所長ハ必要アリト認ムルトキハ各船舶ノ碇泊所ヲ指定シ若ハ之ヲ移轉セシムルコトヲ得

前項指定ノ碇泊所ニ碇泊シタル船舶ハ避難其ノ他已ムヲ得サル場合ヲ除クノ外基隆港務所長ノ許可ヲ得スシテ其ノ位置ヲ變更スルコトヲ得ス

第四條 入港シタル航洋船舶ハ基隆港務所吏員ノ臨檢ヲ受ケタル後ニ非サレハ貨物ノ積卸又ハ他船若ハ陸地トノ交通ヲ爲スコトヲ得ス

第五條 港内ニ於テハ如何ナル船舶ト雖公ノ航路ニ投錨スルコトヲ得ス但シ基隆港務所長ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニアラス

公ノ航路區域ハ別ニ之ヲ告示ス

第六條 各船舶ハ他船ノ運航若ハ投錨ノ自由ヲ妨礙シ又ハ衝突ノ虞アルトキハ追越ヲ爲スヘカラス

第七條 港内ニ碇泊シ又ハ運航スル各船舶ハ日没ヨリ日出迄ノ間ハ海上衝突豫防法ニ規定シタル各種ノ船燈ヲ掲ケヘシ

第八條 汽船港内ヲ運航スルトキハ其ノ針路ヲ保ツニ足ルノ速力ニ止メ帆船ニ在リテハ帆ヲ減シ徐行スヘシ但シ汽艇ハ此ノ限ニアラス

第九條 航洋船舶其ノ碇泊所ニ到達シタルトキハ岸壁又ハ浮標ニ繫留スル場合ノ外雙錨ヲ投シテ碇泊スヘシ但シ六時間以内ニ出港セムトスルモノハ基隆港務所長ノ許可ヲ得テ單錨ヲ投シテ碇泊スルコトヲ得

第十條 常用ニ超過スル爆發物又ハ容易ニ燃燒スヘキ物料ヲ積載シタル船舶ハ港口ニ於テ日出ヨリ日没迄ノ間ハBノ信號旗、日没ヨリ日出迄ノ間ハ紅燈ヲ前櫓ノ頂上ニ掲ケテ基隆港務所長ノ指揮ヲ待ツヘシ

前項ノ爆發物ト稱スルハ「アラスチンガセラチン」「彈藥包」「爆發管」「ダイナマイト」「煙火」「導火管」「セリガナイト」「ナイトログリセリン」「火藥」「棉火藥」「無煙火藥」「雷管類」其ノ他容易ニ爆發スヘキ物料ヲ謂ヒ容易ニ燃燒スヘキ物料ト稱スルハ「生石油」「アルマ」「油」「ク」「油」「石油」「ナフタ」的列並底油、依的兒偏蘇爾、石油偏陳、アセトン、「酒精及硫化炭素等」類其ノ他華氏九十五度以下ノ熱度ニ依リ發火スヘキ氣體ヲ發スルモノヲ謂フ

船舶ニ備付ケタル大砲一門毎ニ火藥五十發分導火管類七十箇小銃一挺毎ニ火藥百發分雷管百五十箇及船舶相當量ノ信號用榴彈、火箭、焰管救命焰ヲ除クノ外爆發質ノ物料ハ總テ之ヲ常用外ト看做ス

第十一條 汽艇、荷船、水船、端艇又ハ舢舨ハ已ムテ得サル場合ヲ除クノ外船舶ノ後部ニ繫留スヘカラス

第十二條 汽船港内ニ於テ曳船ヲ爲サムトスルトキハ基隆港務所ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外左ノ制限ニ從フヘシ

- 一 端艇若ハ舢舨ハ三艘以内荷船水船ハ二艘以内ヲ限リ曳クコトヲ得
- 二 航洋船及汽艇ハ一艘ヲ限リ曳クコトヲ得

第十三條 各船舶ハ荒天ノ徵アルトキハ之カ豫防ノ設備ヲ爲スヘシ

第十四條 船舶港内ニ於テ火ヲ失シタルトキハ救援ノ來ル迄船鐘ヲ打鳴シ日出ヨリ日没迄ハNMノ信號ヲ掲ケ日没ヨリ日出迄ノ間ハ斷ヘス紅燈ヲ上下スヘシ

警察官ノ救護ヲ要スルトキハ日出ヨリ日没迄ノ間HGノ信號ヲ掲ケ日没ヨリ日出迄ノ間ハ藍火若ハ閃光ヲ示スヘシ

第十五條 基隆港務所長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ港内ニ於テ銃砲及煙火等ヲ發スルコトヲ得ス

第十六條 港内ニ於テ動物ノ死體荷足、灰燼、塵芥等ヲ海中ニ投棄スヘカラス

前項ノ物件ヲ取捨ツル爲塵船ヲ使用セムトスル船舶ハ船内見易キ所ニFノ信號若ハ籃ヲ掲ケ目標ト爲スヘシ

第十七條 航洋船舶出港セムトスルトキハ出帆旗ヲ掲ケ出港四時間前ニ別記第二號書式ノ出港届ヲ基隆港務所ニ差出スヘシ但シ定期ニ出港スル航洋船舶ハ其ノ變更アリタル場合ヲ除クノ外豫メ出港ノ日時ヲ届出テ時時ノ届出ヲ省略スルコトヲ得

第十八條 航洋船舶出港ノ際健康證書ノ必要アルトキハ之カ下付ヲ基隆港務所ニ申請スルコトヲ得

第十九條 港内又ハ其ノ附近ニ於テ通航ヲ妨ケ若ハ危險ノ原因ト爲ルヘキ總テノ難破物其ノ他ノ物件ハ基隆港務所長ノ指定スル期間内ニ其ノ所有者ニ於テ之ヲ取除クヘシ若シ其ノ期間内ニ取除カサルトキハ基隆港務所ニ於テ之ヲ取除キ所有者ヲシテ其ノ費用ヲ辨償セシム

第二十條 信號用浮標又ハ立標ニハ鏈、綱又ハ其ノ他ノ船具ヲ繫クヘカラス
何等ノ船舶ト雖前項ノ浮標、立標又ハ其ノ他ノ營造物ヲ毀損シタルトキハ其ノ修繕又ハ再設ニ要スル費用ハ之ヲ辨償セシム

第二十一條 出港シタル航洋船舶避難、修繕其ノ他ノ事故ノ爲出港後十二時間以内ニ歸港シタルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル届書ヲ以テ著港届ニ代フルコトヲ得

第二十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル行爲ヲ爲サムトスル者ハ設計書及圖面ヲ添ヘ基隆港務所長ノ許可ヲ受クヘシ

- 一 繫船浮標ヲ設置又ハ變更セムトスルトキ
 - 二 棧橋ヲ架設又ハ變更セムトスルトキ
 - 三 波止場、物揚場、石垣等ヲ築造又ハ變更セムトスルトキ
 - 四 標燈其ノ他ノ目標ヲ建設又ハ變更セムトスルトキ
 - 五 波止杭又ハ繫船杭ヲ建設又ハ變更セムトスルトキ
 - 六 浚渫又ハ土砂ヲ採掘セムトスルトキ
 - 七 沈没船又ハ其ノ他ノ物品ヲ引揚ケムトスルトキ
 - 八 船舶ノ修繕場又ハ其ノ燐場若ハ游泳場ヲ設ケムトスルトキ
 - 九 地曳綱又ハ張綱ヲ以テ漁業ヲ爲サムトスルトキ
 - 十 波止場、物揚場又ハ海面若ハ海岸ニ一日以上舟車其ノ他長大ノ物品ヲ置カムトスルトキ
- 第二十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル行爲ヲ爲サムトスル者ハ豫メ基隆港務所ニ届出ヘシ
- 一 繫船浮標、棧橋、波止場、物揚場、石垣、標燈、目標、波止杭又ハ繫船杭ヲ修理セムトスルトキ
 - 二 船舶ノ進水式ヲ行ハムトスルトキ
 - 三 端艇ノ競争ヲ行ハムトスルトキ
 - 四 物品ヲ筏ニ組ミ運搬セムトスルトキ
 - 五 施餓鬼祭ヲ行ハムトスルトキ

第二十四條 本令ノ規定ニ違反シタルモノハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十五條 前條ニ依リ船舶ニ科シタル罰金又ハ第十九條及第二十條ノ費用ハ船長又ハ船舶所有者ニ於テ之ヲ完納スルカ又ハ基隆港務所長ノ適當ト認ムル擔保物ヲ提供スルニ非サレハ其ノ船舶ハ出港ヲ爲スコトヲ得ス

第二十六條 基隆港務所長ハ築港作業上已ムテ得スト認ムル場合ニ限リ本令ノ規定ヲ適用セサルコトヲ得

(別記)
第一號書式及第二號書式畧ス

基隆港内取締規則第五條ノ公ノ航路ハ左ノ區域内トス

- 一 石花灘浮標ヨリ北ノ西ニ西ニ引キタル一線ト其ノ線ニ並行シテ東方半鏈ヲ隔テテ畫シタル線トノ中間
- 二 石花灘浮標、D浮標、F浮標、第五、第一、第二、第三、第十繫留浮標、曾仔寮岸壁ノ突角ヲ連結シタル線トC浮標、E浮標、G浮標ヲ連結シタル線及F浮標、第五、第一、第二、第三、第十繫留浮標、曾仔寮岸壁ノ突角ヲ連結シタル線ニ並行シテ南方六十間ヲ隔テテ畫シタル線トノ中間

(告第二三七七號第七五二六項)

二二四頁

水底電線ノ新設

一記事 臺灣北岸淡水港ト九州西岸長崎半島東岸茂木浦トノ間ニ水底電線一條ヲ新設セリ

(告第二三一六號第七二七四項ノ内)

二二四頁

水底電線ノ改設

一記事 臺灣北岸淡水港ト南西諸島八重山列島石垣島トノ間ニ水底電線一條ヲ設置シ在來ノ

基隆ヨリ八重山列島ニ至ル水底電線ヲ廢止セリ

(告第二三三七號第七三五三項)

二三四頁

澎湖水道海水ノ變色

一記事 獨逸汽船 *Brasilia* 船長ハ澎湖水道左記ノ位置ニ於テ海水ノ變色セルヲ目撃セリト云フ

一位置 北緯二三度三分東經一一九度二六分ト北緯二三度六分東經一一九度五三分トノ間

(告第二三四四號第七三八五項)

二三七頁

第五測量標ノ倒壞

一記事 温港堆上ノ第五測量標ハ倒壞セシモノ、如シト云フ

一位置 温港堆南部ノ西側ニアル露沙堆ナル鼻尾仙ノ北端

北緯二三度三二分一五秒

東經一二〇度二分三〇秒

(告第二三六九號第七五一六項)

二四五頁

國聖港附近第一測量標ノ倒壞

一記事 國聖港ノ北方ニアル第一測量標ハ倒壞セシモノ、如シト云フ

一位置 北緯二三度七分半

東經一二〇度二七分

(告第二三六〇號第七四六六項)

安平導標(A)ノ移設

一記事 安平導標(A)ハ今回高サヲ二十九呎トシ左記ノ位置ニ移設セリト云フ
 一位置 著樹ヨリ南七三度西距離五呎鐘ノ處
 (告第二三八一號第七五七七項)

打狗港内船舶出入及運航規程中ノ改正

一記事 臺灣總督府ハ打狗港内船舶出入及運航規程中改正ヲ施セリ即チ左ノ如シ

打狗港内船舶出入及運航規程

- 第一條 本令ニ於テ打狗港ト稱スルハ打狗燈臺ヲ中心トシ二哩ノ半徑ヲ以テ畫キタル線内ノ水面ヲ謂フ
- 第二條 打狗港ヲ別テ左ノ二區トス
 内港 打狗山下旗後島間ニアル水道以東ノ水面
 外港 内港以外ノ水面
- 第三條 外港中左ノ區域ヲ以テ公ノ航路トス
 打狗燈臺ヲ南六八度三〇分東、暴風標ヲ北八二度東ニ見タル點ヨリ南七四度東ニ畫キタル線ト此ノ線ノ北側ニ百間ヲ隔テ平行ニ畫キタル線ノ中間
- 第四條 船舶ハ臺灣總督府土木部長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ内港ニ進航スルコトヲ得ス但シ小蒸汽船並解艇ノ類ハ此ノ限ニアラス
- 第五條 内港中船舶繫留用營造物ノ位置ハ臺灣總督府土木部長之ヲ公示ス
 船舶ハ前項ノ營造物ノ外繫留スルコトヲ得ス

第六條 船舶ハ内港ニ於テ臺灣總督府土木部長ノ指定シタル區域内ニ投錨又ハ運航スルコトヲ得ス但シ特ニ許可ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニアラス

第七條 許可ヲ得テ内港ヲ運航スル汽船ハ其ノ針路ヲ保ツニ足ルタケノ速力ニ止メ帆船ハ帆ヲ減シテ徐行スヘシ

第八條 許可ヲ得テ内港ニ進航シタル船舶ニシテ出港セムトスルトキハ豫メ臺灣總督府土木部長ニ其ノ旨届出ヘシ

第九條 臺灣總督府土木部長ハ必要ト認ムル場合ニ於テ内港ヲ出入スル船舶ニ對シ出入ノ順序ヲ指定スルコトヲ得

第十條 船舶ハ外港ニ於テ公ノ航路ニ投錨スルコトヲ得ス

第十一條 船舶ハ築港用船舶ノ運航又ハ投錨ノ自由ヲ妨害シ又ハ衝突ノ虞アルトキハ之ヲ追越シ又ハ其ノ前面ヲ横過スルコトヲ得ス

第十二條 臺灣總督府土木部長ハ必要ト認ムル場合ニ於テハ錨地ノ指定變更又ハ投錨方法ノ指定ヲ爲スコトヲ得

第十三條 船舶ハ港内ニ於テ臺灣總督府土木部長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ一切ノ物件ヲ委棄スルコトヲ得ス

第十四條 港内又ハ其ノ附近ニ於テ通航又ハ工事ヲ妨害シ若ハ危險ノ原因トナルヘキ難破物其ノ他ノ物件アルトキハ臺灣總督府土木部長ノ指定スル期間内ニ其ノ船長若ハ其ノ所有者ニ於テ之ヲ取除クヘシ

前項ノ義務者不明ナルトキハ臺灣總督府土木部長ハ之ヲ除去スルコトヲ得

第十五條 船舶カ浮標、立標其ノ他ノ官有營造物ヲ毀損又ハ滅失シタルトキハ其ノ船長又ハ船舶操縦者ニ於テ臺灣總督府土木部長ノ指定スル期間内ニ原形ニ復スヘシ

第十六條 臺灣總督府土木部長ハ第十四條第一項又ハ前條ノ命令ヲ受ケタル義務者ニ於テ指定ノ期間内ニ終了スヘキ見込

ナシト認メタルトキハ自ラ之ヲ履行シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ履行セシメ其ノ費用ヲ義務者ヨリ徵收スルコトヲ得

第十七條 本令又ハ本令ニ基キテ臺灣總督府土木部長ノ發シタル命令ニ違反シタル船長又ハ船舶操縦者ハ二百圓以下ノ罰金ニ

處ス

第十七條 港内ノ警察及衛生ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

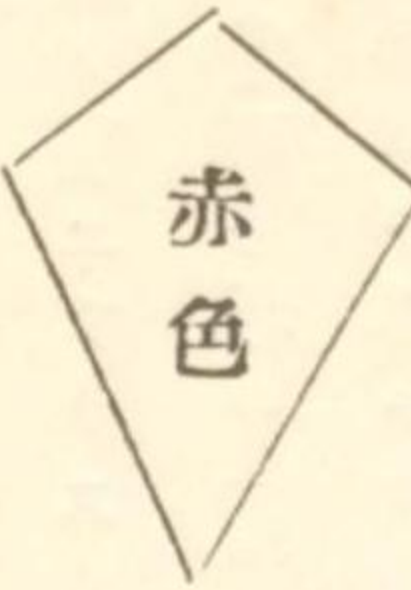
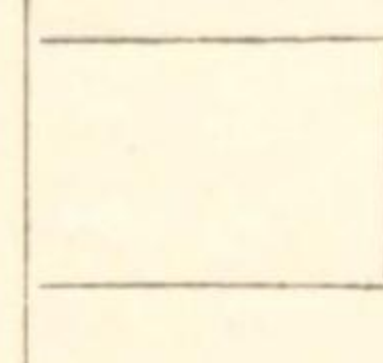
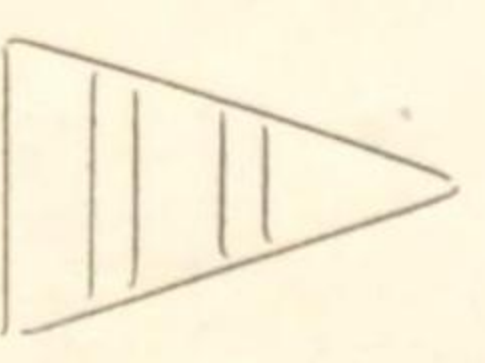
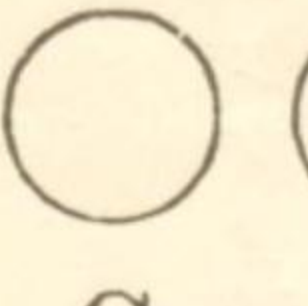
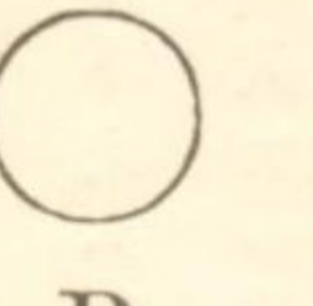
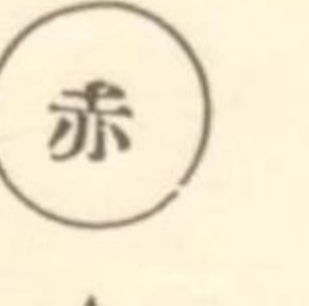

本令ハ築港用船舶ニ之ヲ適用セス

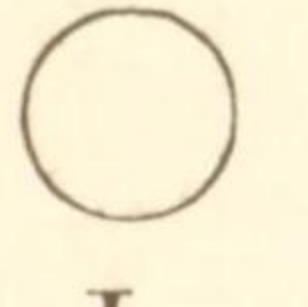
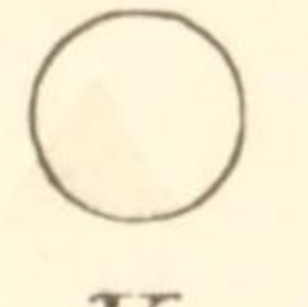
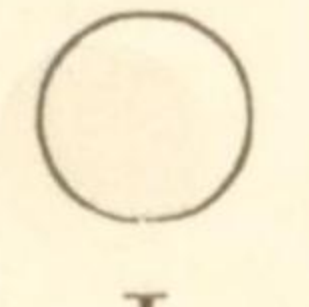
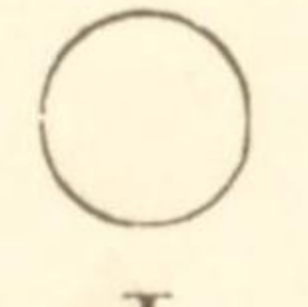
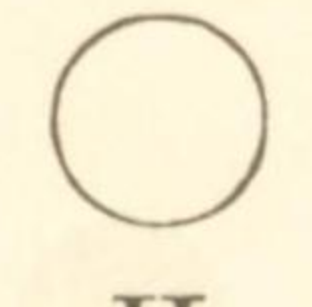
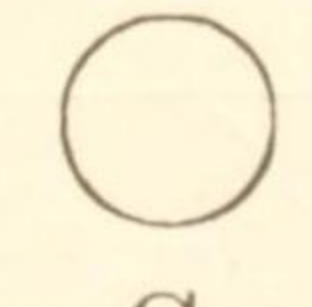
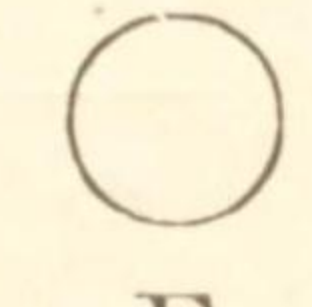
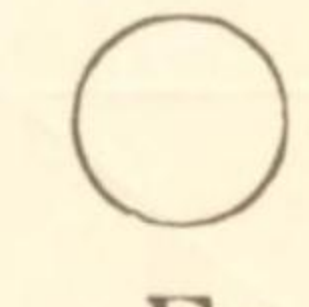
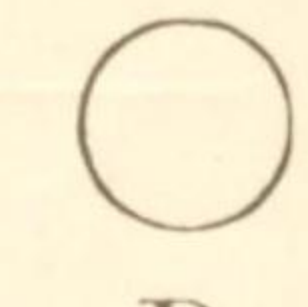
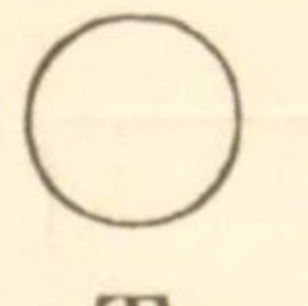
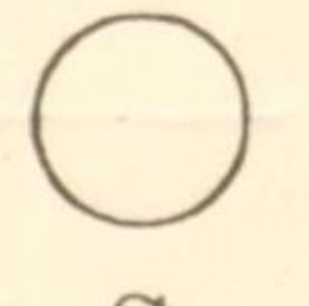
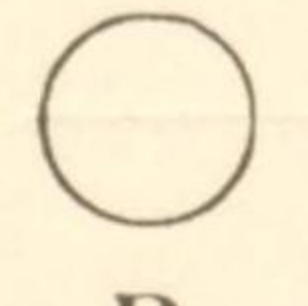
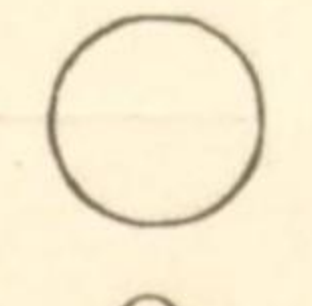
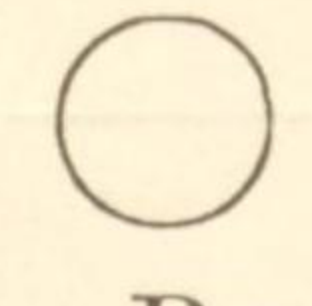
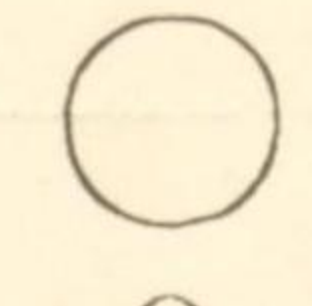
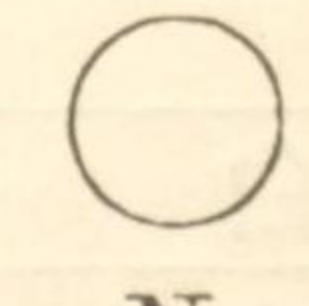
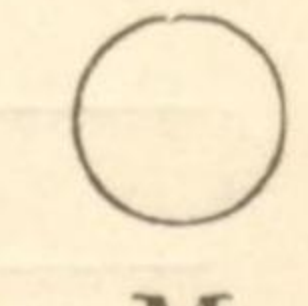
打狗港出入船舶ニ對スル信號左ノ如シ

打狗港出入船舶ニ對スル信號

- 一位置 打狗港口ノ北側英國領事館旗竿ヨリ南六二度西距離約八分七釐ノ處
- 一旗竿 地盤ハ海面上五十五尺ニシテ旗竿ハ地盤上六十尺ノ高サトス
- 一旗旒 萬國船舶信號旗並左ノ特別信號旗旒

打狗港特別信號

信號種類	意	義
旗主船 旒答回  赤色  D  N	直チニ入港シ繫留又ハ投錨スヘシ 信號所呼ヒ 手旗信號ニテ通信ヲ要ス	
 C  B  A  黒色	直チニ出港スヘシ 外港ヨリ入港スル船アリ暫ラ ク其位置ニ止マレ 内港ヨリ出港又ハ内港ニテ繫 留セントスル船アリ公ノ航路 ナ避ケテ暫ラク投錨シテ待テ 投錨シテ暫ラク指揮ヲ待テ	赤球ノ下 萬國信 號ノA以 下ニ做 フ

 L  K  J  I  H  G  F  E  D	直チニ入港スルカ 何時入港スルヤ 水路參考人ヲ送ル故其ノ位置 ニ待テ 水路參考人ハ送レヌ 内港ニ繫留又ハ投錨スヘキ 場所ナシ投錨シテ命ヲ待テ 小蒸汽船ノ至ルマテ假泊セヨ 航路(又ハ工事)ノ妨害トナル ナ以テ轉錨スヘシ 風波強クシテ入港ヲ見合サン ト欲セハ直チニ其旨信號スヘ シ 本日午前入港ノ出來ル見込
 T  S  R  Q  P  O  N  M	本日午後入港出來ル見込 明日早朝入港出來ル見込 明日午前入港出來ル見込 明日午後入港出來ル見込 船長又ハ重ナル代理人來レ 至急ヲ要ス 入港許可出來ス 今迄ノ信號ハ取消ス

潮流及水深信號

信號種類	意	義
	<p>東方ヨリ西方ニ流ル(港内ヨリ港外)</p> <p>西方ヨリ東方ニ流ル(港外ヨリ港内)</p> <p>満潮ノ憩潮</p> <p>干潮ノ憩潮</p> <p>港口ノ潮流緩カナリ</p> <p>港口ノ潮流急ナリ</p>	<p>東方ヨリ西方ニ流ル(港内ヨリ港外)</p> <p>西方ヨリ東方ニ流ル(港外ヨリ港内)</p> <p>満潮ノ憩潮</p> <p>干潮ノ憩潮</p> <p>港口ノ潮流緩カナリ</p> <p>港口ノ潮流急ナリ</p>
信號種類	意	義
	<p>干潮面以上二尺</p> <p>干潮面以上二尺</p> <p>干潮面以上五寸</p> <p>零</p>	<p>干潮面以上二尺</p> <p>干潮面以上二尺</p> <p>干潮面以上五寸</p> <p>零</p>

特別信號讀方ノ例

<p>船名旗</p>	<p>船名旗</p>
<p>某丸ハ直チニC位置ヨリ出港スヘシ</p>	<p>某丸ハ直チニ入港シA位置ニ繫留(又ハ投錨)スヘシ</p>
<p>潮流及水深信號ハ常ニ「ガフ」ニ掲揚ス</p>	<p>西方ヨリ東方ニ流レ港口ノ潮流急ニシテ干潮面以上一尺</p>
<p>満潮ノ憩潮ニシテ干潮面以上二尺</p>	<p>満潮ノ憩潮ニシテ干潮面以上二尺</p>

(告第二三一八號第七二五項)

二五七頁

打狗港浮標ノ設置

一記事 打狗港ニ於ケル公ノ航路識別ノ爲メ左記ノ浮標ヲ設置ス

(一) 第一浮標

一位置 打狗燈臺ヲ南六八度三〇分東ニ、暴風標ヲ北八二度東ニ望ム處

北緯二二度三七分七秒

東經一二〇度一五分四秒

一様式 紅塗圓筒形鐵造水面上ノ高サ二呎白色ニテ錨符ヲ附ス

(二) 第二浮標

一位置 第一浮標ヨリ正北一鏈

一様式 黒塗圓筒形鐵造水面上ノ高サ二呎赤色ニテ錨符ヲ附ス

一偏差 明治四十四年零度二五分西

(告第二三一五號第七二七〇項)

二五七頁

打狗港口架空電話線ニ對スル出入船舶ノ注意

一記事

最近接手ノ報告ニ據レハ打狗港口ノ旗後島ト其對側ノ陸地トノ間ニ架空電話線(高潮面上高一七三呎)アルヲ以テ船舶出入ノ際ハ之ニ觸レサル様注意センコトヲ要ス

(告第二三一八號第七二八一項)

二八四頁

矢代灣内暗礁ノ發見

一位置

(一) 四尋暗礁(沙及石花)ヨリ 北緯二二度一分三四秒 東經一二一度三二分五秒

七五七呎山△ハ
イモロナモン△ハ

北一八度東 距離五³/₄鏈
北七七度四五分東

北緯二二度一分三〇秒
東經一二一度三二分七秒

(二) 二尋暗礁ヨリ 北緯二二度一分三〇秒 東經一二一度三二分七秒

七五七呎山△ハ
イモロナモン△ハ

北一三度東 距離五³/₄鏈
北七三度四五分東

一注意 海圖上(二)暗礁ノ傍ニP.D.ト附記スルヲ要ス

一偏差 明治四十四年零度四七分西

(告第二三三七號第七三五五項)

二九七頁

澎湖列島地名ノ改正

一記事

澎湖島ノ南東角裏正角ノ南東方約二¹/₂哩ニアル香爐嶼ヲ查母嶼、同角ノ南西方約二¹/₂哩ニアル林投礁ノ北方ニアル無名礁ヲ香爐嶼ト改正ス

(告第二三六〇號第七四六五項)

馬公港内沈船及沈船浮標ノ除去

一位置 風櫃尾角ヨリ南六一度東距離半埋弱ノ處
一注意 此沈船ノ海底ヨリ突出セル部分ハ既ニ除去セラレ航行ニ差支ナキモ投錨スルヲ得

ス

一偏差 此沈船ヲ示明セシ綠塗圓筒形浮標(沈船ノ二字ヲ白書ス)ハ撤去セラレタリ
明治四十四年零度三六分西

(告第二三七一號第七五二八項)

澎湖港口浮温挂燈立標ノ一時點燈休止

一記事 澎湖港口ノ浮温挂燈立標ハ燈籠据替へ並ニ燈質變更工事ノ爲メ明治四十四年九月一

日ヨリ當分ノ内點燈ヲ休止スト云フ

一位置 北緯二三度三二分

東經一九度三一分

(告第二三六四號第七四八八項)

東吉嶼燈臺ノ新設

一位置 北緯二三度一五分三九秒

東經一九度三九分五七秒

海圖第二三五號ニ據ル

一燈質 每六秒ノ明暗白光燈明二秒 暗四秒

一燈高 一七九呎〇礎上二十三呎

一光達距離 十九哩

一明弧 全度

一様式 白塗鐵造圓筒上ニ槽ヲ設ク

一等級 第五等

一光力 八百燭

一注意 本燈臺ハ別ニ看守員ヲ置カサルヲ以テ萬一燈火消滅スルトキハ再點ニ多少ノ時間ヲ

要ス

(告第二三六六號第七四九五項)

日本水路誌第三卷明治四十四年三月第二改版之部

六四頁

神戸港沖合沈船ノ發見

一位置

沈船ヨリ
和田岬燈臺ハ
甲山ハ

西ノ南_四南 距離二哩二_五鏈
北東_四北

和田岬燈臺

北緯三四度二九分

東經一三五度一分

一水深

六_三尋ノ處

一沈船

二檣帆船ニシテ展帆ノ儘沈没シ檣頭ヲ水面上ニ現ス

一偏差

明治四十四年四度四四分西

(告第二三七一號第七五二五項)

一〇六頁
一一四頁

播磨灘北部水底電話線ノ布設

一記事

播磨灘家島群島中ノ西島北側ト對岸伊津灣東側トノ間ニ左記ノ通り水底電話線一條ヲ布設セリト云フ

一位置

伊津灣東側二十五呎岩ヨリ北六九度三〇分東距離五_五鏈ノ地點ヨリ南一九度西ニ向ヒ距離八鏈半間夫ヨリ南一三度四五分西ニ向ヒ距離一哩六鏈間夫ヨリ南二五度二〇分西ニ向ヒ距離二哩五_五鏈間夫ヨリ南六九度四五分西ニ向ヒ距離二哩四_三鏈間夫ヨ

リ南二一度一五分東ニ向ヒ西島陸揚地ニ達ス
 伊津灣東側二十五呎岩
 北緯三四度四六分五秒
 東經一三四度三二分零秒
 明治四十四年四度四八分西

(告第二三八四號第七五九四項)

宇野灣燈竿ノ新設

一位置 北緯三四度二九分一七秒 } 海圖第一三七號甲ニ據ル
 東經一三三度五六分三八秒 }
 一燈質 不動白光燈
 一燈高 六十一呎二〇礎上十九呎
 一光達距離 七浬
 一明弧 全度
 一等級 無等
 一様式 白塗、木造
 一光力 四十燭
 一初點期日 明治四十四年四月一日
 (告第二三二五號第七三〇九項)

御代島燈竿點燈ノ廢止

一位置 北緯三三度五九分
 東經一三三度一五分

(告第二三五五號第七四四二項)

吳軍港細則中ノ改正

一記事 吳鎮守府司令長官ハ吳軍港細則中左ノ通り改正セリ
 一改正 第二十三條ノ二 艦船浮標ニ繫留中ハ艦尾ニ適當ノ錨ヲ鈎シ必要ニ際シテハ直ニ投入シ得ルノ準備ヲナシ置クヘシ
 第二十四條ノ二 物件委棄禁止區域内ニ在ル艦船ニ於テ殘飯獸骨空罐等不用物品
 還納ニ關シ特別ノ規ヲ生シタルトキハ塵芥ト區分シ總テ經理部指定ノ拂下請負人ニ引
 定アルモノヲ除ク
 渡スヘシ
 前項請負人所屬船ニハ左圖鐵葉製圓形(直徑約一尺五寸)ノ標識ヲ掲ケシム

○白

第三十五條 艦船ニ於テ灰燼等ノ委棄物ヲ有シ港務部ニ其處分ヲ請求スルニハ萬國
 船舶信號YJ旗ヲ掲クヘシ
 前項ノ灰燼船ニハ標識トシテ左圖ノ鐵葉製圓形(直徑約一尺五寸)ヲ掲ケシム

○赤

(告第二三四一號第七三七三項)

三二二頁

吳軍港細則中ノ改正

一記事

吳鎮守府司令長官ハ吳軍港細則中左ノ通り改正セリ

一改正

第三十七條ノ二 水雷艇同繫留池ヲ出入スルトキハ同入口突堤ノ東側端ニ晝間ハ赤

旗夜間ハ赤燈一箇ヲ掲ケテ之ヲ表示スヘキニヨリ右掲揚中ハ繫留池入口南方驅逐

艦繫留浮標區域内ニ船舶ノ通航ヲ禁ス

(告第二三五〇號第七四一九項)

四〇三頁
四一五頁

姫島水道水底電線ノ布設

一記事

大分縣東國東郡姫島村字達磨ト同縣同郡伊美村大字伊美字高熊トノ間ニ左記ノ通り

水底電線一條ヲ布設シ其線路區域ヲ左ノ通り定ムト云フ

兩陸揚地ヨリ線條ニ沿ヒ沖合約八百碼マテハ線條ノ左右各約四十碼以内其他ハ線條

ノ左右各約一千碼以内

一位置

姫島山頂△(八七四呎)ヨリ南八九度三〇分西距離一哩二 $\frac{2}{3}$ 鏈ノ地點ヨリ南一三度五

〇分東ニ向ヒ距離二 $\frac{2}{3}$ 鏈間夫ヨリ南二五度西ニ向ヒ距離四 $\frac{1}{2}$ 鏈間夫ヨリ南四一度西

ニ向ヒ距離二 $\frac{2}{3}$ 鏈間夫ヨリ南四六度西ニ向ヒ距離六 $\frac{1}{2}$ 鏈間夫ヨリ南五八度二〇分西

ニ向ヒ距離二 $\frac{2}{3}$ 鏈間夫ヨリ南五〇度一五分西ニ向ヒ距離六 $\frac{1}{2}$ 鏈間夫ヨリ北八一度西

ニ向ヒ伊美埼陸揚點ニ達ス

姫島山頂△

北緯三三度四三分一二秒

東經一三一度三九分四四秒

一偏差

明治四十四年四度二九分西

(告第二三八三號第七五八七項)

四〇四頁

周防灘沈船

一位置

姫島燈臺ヨリ西北西距離約十五哩水深十七尋ノ處

北緯三三度四八分三〇秒

東經一三一度二四分四五秒

一沈船

「スリーマステッド、トップスル、スクーナー」形帆船ニシテ低潮時ニハ其橋頭ヲ水面上ニ

約三呎露出ス

一偏差

明治四十四年四度二八分西

(告第二三七〇號第七五二三項)

四二九頁

大海灣外沈船ノ發見

一位置

鯖島ト秋穂灣ノ東角丸山埼トノ一線上ニテ鯖島ヨリ東方一哩ノ處

北緯三三度五七 $\frac{3}{4}$ 分

東經一三一度三一 $\frac{3}{4}$ 分

一水深 九尋ノ處
 一形状 船首ヲ東方ニ向ケ沈没シ前橋ヲ水面上ニ露出ス
 一注意 該沈船ニハ晝間ハ紅旗ヲ掲ケ夜間ハ標燈ヲ掲ケテ目標トス
 (告第二三六九號第七五一九項)

本山崎南西方沈船ノ發見

一位置

本山高峯(四三二呎)ヨリ南四九度西距離四 $\frac{1}{2}$ 哩ノ處
 北緯三三度五四分
 東經一三二度六分

一沈船

「ガール」ヲ有スル西洋形帆船ニシテ橋ニ裝帆ノ儘帆布破レ水面上約二十呎露出ス
 明治四十四年四度二四分西

一偏差

(告第二三三八號第七四一〇項)

本山崎南西方沈船ノ發見

一位置

沈船ヨリ 部崎燈臺ハ 北三六度西
 刈屋〇ハ 北二七度四〇分東 距離五 $\frac{1}{2}$ 哩 $\frac{5}{5}$ 鏈

北緯三三度五一分五五秒

東經一三二度七分六秒

一沈船

帆船ニシテ水面上約三呎露出ス

一發見時日 明治四十四年八月二十日
 一偏差 明治四十四年四度三四分西

(告第二三六一號第七四七一項)

下關海峽航行船舶ニ對スル注意

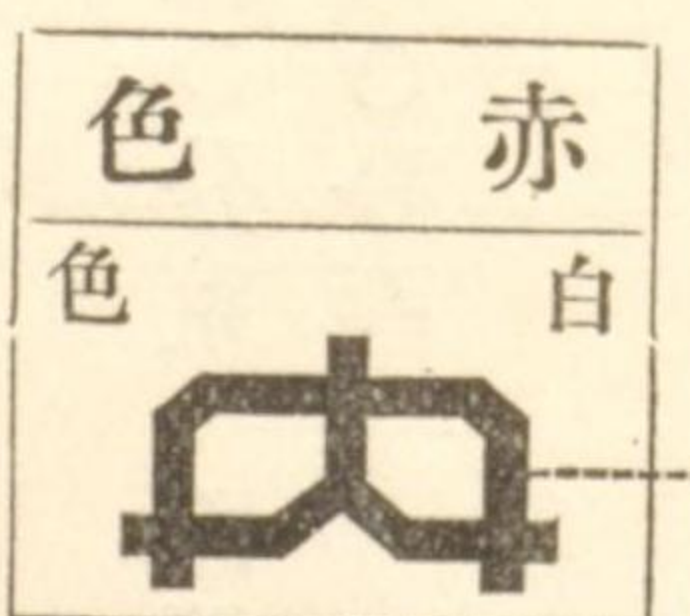
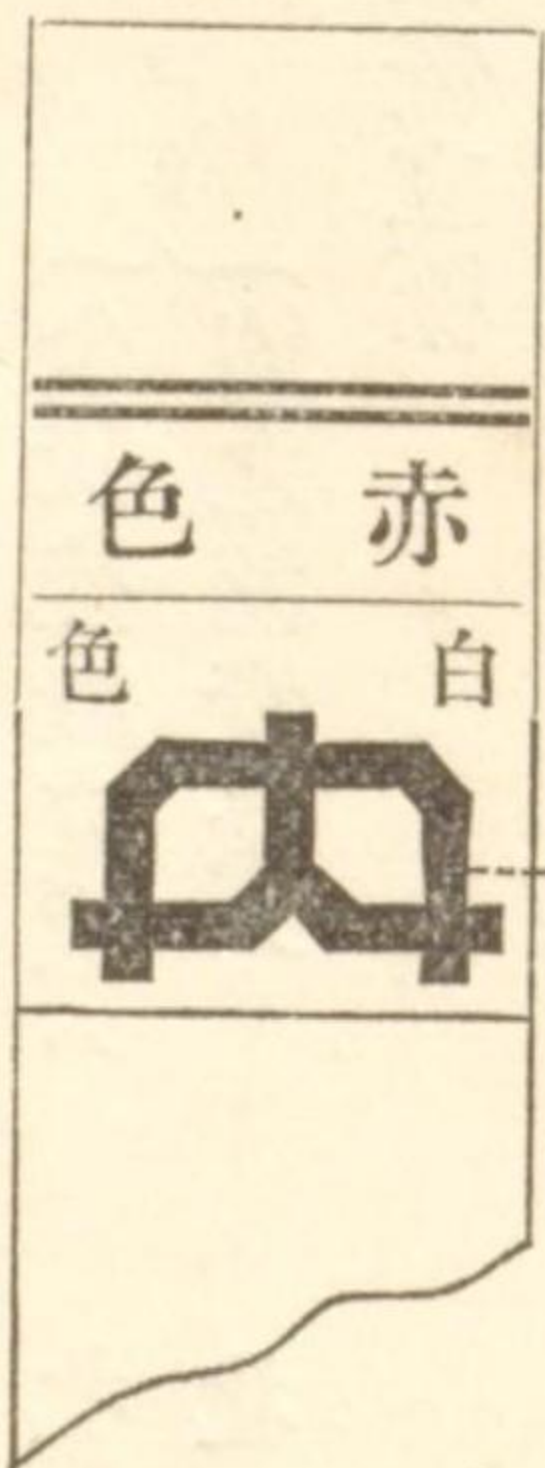
一記事

内務省ニ於テ關門海峽改良工事施行ノ爲メ本山崎ヨリ六連島ニ至ル下關海峽内ニ於テ浚渫及碎岩作業ヲ行フニ付浚渫船及鑿岩機船ノ操業中及碇泊中ハ該船ノ附近危險ナルヲ以テ航行船舶ハ注意スヘシ

右浚渫船及鑿岩機船ニハ煙突ニ左記ノ記號ヲ附シ且橋頭ニ晝間ハ左記旗章ヲ掲ケ夜間ハ上下ニ六呎ヲ隔テ、紅綠ノ二燈ヲ連掲ス

煙突記號

旗章



一注意

本文工事施行ノ必要上地方廳ニ於テ命令ヲ以テ時々海峽内一部ノ區域ヲ限リ船舶ノ航行ヲ禁止若クハ制限スルコトアルヘシ

(告第二三六四號第七四八三項)

蠣ノ辻西方淺灘發見

一記事 大阪商船會社汽船「まわとる」九八本年十二月五日低潮時ニ於テ左記水深ニ尋沙底ノ處ニ膠著セリト云フ

一位置

該水深ヨリ 〔金伏挂燈立標ハ 北四六度三〇分東 距離六分〕
〔壇之浦燈臺ハ 北二八度二〇分西

金伏挂燈立標

北緯三三度五八分

東經一三〇度五九分

一偏差

明治四十四年四度三五分西

(告第二三八四號第七五九二項)

門司港西方沈船ノ發見

一位置

沈船ヨリ 〔明神鼻神社ハ 北五一度三〇分東
門司港報時球ハ 南四八度東 距離約七分〕

北緯三三度五七分一秒半

東經一三〇度五六分三九秒半

一沈船

一心丸ト稱スル西洋形帆船ニシテ船体上部及檣ハ流失セシモ船体ノ大部分ハ殘存ス

一發見時日

明治四十四年八月十六日

一偏差

明治四十四年四度三四分西

(告第二三六一號第七四七二項)

巖流島ノ北方コシキ瀨北東方挂燈浮標ノ碇置

一記事

コシキ瀨北東方ニアルニ尋ノ淺洲ヲ示ス爲メ今般左記ノ挂燈浮標ヲ碇置セリト云フ

一位置

コシキ瀨ノ北東方ニ尋淺洲ノ東端 北一度一五分西
〔下關日和山著松ハ 北八八度五五分東
浮標ヨリ門司報時球柱ハ 南零度一五分西
大里精糖所大煙突ハ

コシキ瀨北東方挂燈浮標

〔ピンチ〕式瓦斯不動綠光燈

約十呎

一燈高

一燈質 黑塗截頭圓錐形鐵造、上部ニ格子製櫓ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲ク

一様式

一光達距離

一明弧

一水深

一偏差

五尋半ノ處 明治四十四年四度三四分西

大瀬戸水底電線ノ布設

一記事

今般長門國豊浦郡彦島村字田ノ首ト豊前國企救郡柳ヶ浦村字新町トノ間ニ左記ノ通り

一位置

船船通航信號及潮流信號用水底電線一條ヲ布設セリト云フ
組挂燈立標ヨリ南二八度三〇分東距離一哩三³/₄鏈ノ地點ヨリ北三〇度一五分西ニ向
ヒ距離八¹/₂鏈間夫ヨリ北一八度東ニ向ヒ距離四¹/₂鏈間夫ヨリ北七八度東ニ向ヒ彦島
ニ達ス

組挂燈立標

北緯三三度五五分

東經一三〇度五四分

一偏差

明治四十四年四度三三分西

(告第二三四八號第七四〇八項)

御五神島南方暗礁ノ發見

一位置

由良埼頂(八四二呎)ハ

南四七度三〇分東 距離二哩七鏈半

暗礁ヨリ葉埼ハ

北七五度東

御五神島頂(六七二呎)ハ

北一六度西

北緯三三度三分〇秒

東經一三二度二〇分二八秒

一名稱

沖ノ瀬

一水深

八尋、周圍直ニ三十尋乃至五十尋

一偏差

明治四十四年四度一六分西

(告第二三四〇號第七三六五項)

豊後水道暗礁ノ發見及暗礁水深ノ改正

(一)暗礁ノ發見

一位置

暗礁ヨリ 日振島東頂(六五九呎)ハ

北三一度西

北緯三三度七分四〇秒

南八度西 距離一哩五鏈半

東經一三二度一九分一〇秒

一名稱

間ノ瀬

一水深

五尋、周圍二十八尋ヨリ深シ

一廣袤

北東、南西ノ長約三分一哩

(二)暗礁水深ノ改正

一位置

北緯三三度一〇分二三秒

一名稱

カムベイ瀬

一改正水深

三³/₄尋

一注意

日本水路誌第三卷(明治四十四年三月第二改版)五三七頁中へ「水ノ子島燈臺ヨリ北六度五〇分東距離七湮八 $\frac{1}{2}$ 鏈ノ處ニ水深三 $\frac{1}{4}$ 尋ノカムベイ瀨アリ」ノ一項ヲ記入センコトヲ要ス

一偏差

明治四十四年四度一六分西

(告第二三四四號第七三八四項)

日本水路誌第四卷明治四十年六月第一改版之部

鷹島燈臺ノ再點

一記事

呼子港口私設鷹島燈臺ハ明治四十四年十一月三十日點燈廢止ノ處同年十二月七日以後呼子村ニ於テ之ヲ村立トシテ更ニ點火セリト云フ

一位置

北緯三三度三三分三五秒
東經一二九度五四分零秒
海圖第一九五號ニ據ル

一燈質

不動白光燈綠光及紅光分弧ヲ交ユ

一燈高

一五六呎〇礎上十五呎

一明弧

北四四度一二分東ヨリ東、南、西ヲ經テ北六五度四八分西ニ至ル二五〇度間ニシテ其内南六一度五八分東ヨリ南三一度五八分東ニ至ル三〇度間ハ綠光ヲ以テ白島ヲ示シ又南零度三七分西ヨリ南二五度二七分西ニ至ル二五度間ハ紅光ヲ以テ平瀨及折瀨ヲ示ス

一光達距離

白光九湮、紅光七湮、綠光六湮

一等級

第六等
白光百燭、紅光四十燭、綠光二十五燭

一様式

白塗四角形木造
明治四十四年四度二三分西

一偏差

(告第二三八三號第七五八九項)

日比水道水底電線ノ新設

一記事

佐賀縣東松浦郡入野村大字星賀字臺ヶ崎ト長崎縣北松浦郡鷹島村大字神崎免字古神田トノ間ニ左記ノ通り水底電線一條ヲ布設シ線條ノ左右各約六十碼以內ヲ以テ該線路ト定ム

一位置

立神山△ヨリ南二〇度一〇分東距離六鏈半ノ地點ヨリ南五三度三〇分西ニ向ヒ距離一ノ鏈間夫ヨリ南四四度四〇分西ニ向ヒ距離五ノ鏈間夫ヨリ南一五度一五分西ニ向ヒ對岸陸揚點ニ達ス
立神山△

北緯三三度二七分一九秒

東經一二九度四六分五六秒

一偏差

明治四十四年四度一八分西

(告第二三七八號第七五五九項)

嚴原港内水底電線標識浮標ノ流失

一記事

嚴原港内水底電線標識浮標二箇ノ中沖合ノ分一箇流失ニ付當分假浮標ヲ設置セリト云フ

志賀鼻△ヨリ南六三度四五分東距離三ノ鏈弱ノ處

一位置

明治四十四年四度三五分西

一偏差

(告第二三八三號第七五八六項)

對馬仁位港内暗礁ノ發見

一位置

暗礁ヨリ〔糸瀨村西方六二二呎山ハ〕南七〇度一〇分東 距離六ノ鏈
〔天狗山△ハ〕北四度三〇分東

北緯三四度二二分三六秒

東經一二九度一八分〇秒

一水深

四分三尋

一廣袤

北西南東ノ長約百呎北東、南西ノ長約百三十呎

一偏差

明治四十四年四度三九分西

(告第二三四一號第七三七〇項)

水底電線ノ新設

一記事

肥前國北松浦郡生月村字山見崎ト同國同郡中野村大字主師免字小水トノ間ニ水底電線一條ヲ新設シ其線路區域ヲ左ノ通り定ム

山見崎水底電線陸揚地ヨリ線條ニ沿ヒ沖合四百碼迄ハ線條ノ左右各五十四碼小水水底電線陸揚地ヨリ線條ニ沿ヒ沖合四百碼迄ハ線條ノ左右各八十碼中間ハ線條ノ左右各二百碼

(告第二三一六號第七二七四項ノ内)

長崎港暴風雨標ノ設置

一記事 長崎縣港務部ニ於テ暴風雨標ヲ設置シ明治四十四年五月十五日ヨリ實施ス
(告第二三三八號第七三六〇項)

男女群島東方暗礁ノ發見

(甲)暗礁

一位置 北緯三二度三分四五秒 } 海圖第一八〇號ニ據ル
東經一二八度二六分一五秒 }

一水深 半尋(岩底)

一名稱 畑曾根

一形狀 礁頂狹ク周圍陡界ナリ

(乙)暗礁

一位置 北緯三二度三分二八秒 } 海圖第一八〇號ニ據ル
東經一二八度二六分五秒 }

一水深 一尋

一形狀 礁頂稍平坦ナリ

一注意 右ノ二暗礁ハ孰モ潮流ノ盛時ニハ激湍ヲ生シ又波浪ス

(告第二三六九號第七五一五項)

水底電線ノ新設

一記事 九州西岸長崎半島東岸茂木浦ト臺灣北岸淡水港トノ間ニ水底電線一條ヲ新設セリ
(告第二三一六號第七二七四項ノ内)

水底電線ノ新設

一記事 隱岐國海士郡海士村大字崎字箱ノ浦ト同國知夫郡知夫村字イカ濱トノ間ニ水底電線一條ヲ新設シ其線路區域ヲ左ノ通り定ム
箱ノ浦水底電線陸揚地ヨリ線條ニ沿ヒ沖合六百碼迄ハ線條ノ左右各四十碼イカ濱水底電線陸揚地ヨリ線條ニ沿ヒ沖合六百碼迄ハ線條ノ左右各二十六碼中間ハ線條ノ左右各二百碼
(告第二三一六號第七二七四項ノ内)

水底電線ノ新設

一記事 能登國鹿島郡西島村字須曾ト同國同郡西港村字松百トノ間ニ水底電線一條ヲ新設シ其線路區域ヲ左ノ通り定ム
須曾水底電線陸揚地ヨリ線條ニ沿ヒ沖合五百碼迄ハ線條ノ左右各五十四碼松百水底電線陸揚地ヨリ線條ニ沿ヒ沖合五百碼迄ハ線條ノ左右各六十碼中間ハ線條ノ左右各二百碼以内

(告第二三一六號第七二七四項ノ内)

七尾灣浮標ノ變更

一記事

七尾灣内ノ淺礁(トリグリ)浮標、大瀬礁浮標及和歌出礁浮標ヲ左記ノ挂燈浮標ニ變更セリト云フ

(一)淺礁挂燈浮標

一位置 従前ノ通り

一燈質 「アセチリン」瓦斯白閃光燈、毎三秒ニ一閃光ヲ發ス

一燈高 約十呎

一光達距離 七湮

一明弧 全度

一様式 黒塗圓筒形鐵造、上部ニ格子製櫓ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲ク

(二)大瀬挂燈浮標

一位置 従前ノ位置ヨリ正西距離約二 $\frac{1}{2}$ 鏈水深約九尋ノ處

一燈質 「アセチリン」瓦斯紅閃光燈、毎三秒ニ一閃光ヲ發ス

一燈高 約十呎

一光達距離 七湮

一明弧 全度

一様式 黒塗圓筒形鐵造、上部ニ格子製櫓ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲ク

(告第二三三三號第七五三六項)

七尾灣導燈ノ設置

(一)七尾灣高燈(松ヶ崎)

一偏差 明治四十四年五度三〇分西

一注意 黒塗圓筒形鐵造、上部ニ格子製櫓ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲ク
日本水路誌第四卷四三七頁ニ行松ヶ崎以下四行左折シテマテヲ「針路適宜大瀬挂燈浮標ノ西方ヲ繞航シ」ト改メ又海圖上ノ南西イ南ノ航路線ヲ如上ノ航路線ニ改正スルヲ要ス

(三)和歌出挂燈浮標

一位置 従前ノ通り

一燈質 「アセチリン」瓦斯綠閃光燈、毎三秒ニ一閃光ヲ發ス

一燈高 約十呎

一光達距離 四湮

一明弧 全度

一様式 黒塗圓筒形鐵造、上部ニ格子製櫓ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲ク

一位置

高燈ヨリ 寺島十ハ 南八八度東 距離八^三/_四鏈弱
松ヶ崎北方(約一哩半)山頂△ハ 北四度一五分東

北緯三七度六分

東經一三六度五八分

一燈質 「アセチリン」瓦斯不動白光燈

一燈高 二〇二呎○礎上二十二呎

一光達距離 十三哩

一明弧 南六一度一〇分西ヨリ西及北ヲ經テ北八六度一〇分東ニ至ル二〇五度間

一等級 無等

一様式 白塗圓柱形鐵造

一光力 二百燭

(二)七尾灣低燈(荒神鼻)

一位置

低燈ヨリ 寺島十ハ 南八〇度二〇分西 距離一哩四^三/_四鏈
福浦北方山頂ハ 南八度三〇分西

北緯二七度七分

東經一三七度一分

一燈質 「アセチリン」瓦斯不動白光燈

一燈高 五十呎○礎上三十呎

一光達距離 十二哩半

一明弧 南四七度四〇分西ヨリ西北、東ヲ經テ南八二度二〇分東ニ至ル二三〇度間

一等級 第五等

一様式 白塗圓形「コンクリート」造

一光力 三百六十燭

一初點期日 明治四十四年十二月十五日

一注意 七尾灣ニ入ラントスル船舶ハ高燈ト低燈トヲ一線(南八四度五〇分西)ニ望ミ進航ス
レハ灣口租濱出シ、七甲礁及森田礁ノ暗礁ヲ避クルコトヲ得ヘシ
本導燈ニハ別ニ看守員ヲ置カサルヲ以テ萬一消滅スルトキハ再點ニ多少ノ時間ヲ要ス

一偏差 明治四十四年五月二〇分西

(告第二三八四號第七五九三項)

七尾灣船舶繫留用燈火ノ設置

一位置 七尾町字府中町埠頭端

該燈ヨリ 暴風標ハ 南六五度三〇分西 距離二^三/_四鏈
ウスギ崎ハ 北七度四五分西

一様式
一偏差

白塗鐵柱高四十五呎ニシテ頂上ニ燈籠及無等「レンズ」電燈々器ヲ裝置ス
明治四十四年五度二〇分西

(告第二三八一號第七五七五項)

日本水路誌第五卷明治三十八年十二月第一改版之部

一一〇頁

釧路暴風雨標ノ移轉

一記事

北海道廳ニ於テ釧路支廳構内所在ノ暴風雨標ヲ明治四十四年四月一日釧路測候所構内ニ移轉セリ

(告第二三四〇號第七三六七項)

一一一頁

釧路泊地沈船浮標ノ碇置

一位置

釧路埼燈臺ハ
浮標ヨリ停車場北西方ノ學校北西端ハ
天測點中ハ
南五五度五分東
北五二度二五分東
南七六度五〇分東

北緯四二度五八分一六秒
東經一四四度二一分三秒

一様式

綠塗截頭圓錐形鐵造

一水面上ノ高

四呎二

一水深

約七尋ノ處

一注意

沈船ハ釧路埼燈臺ヨリ北五五度西距離約八 $\frac{3}{4}$ 鏈ノ處ニアリ

一偏差

明治四十四年五度五八分西

(告第二三四二號第七三七九項)

納沙布埼燈臺北方暗礁ノ發見
一位置 根室半島納沙布埼燈臺ヨリ北三度五二分西距離約四分三厘ノ處

納沙布埼燈臺

北緯四三度二三分

東經一四五度四九分

一水深 二尋

一形狀 極メテ狹小ノ孤立礁

一注意 海圖上該暗礁ノ傍ニP.D.ト附記スルヲ要ス

一偏差 明治四十四年五度三九分西

(告第二三六六號第七四九七項)

宗谷岬假燈ノ設置

一位置、光達距離等 從前ノ通り

一燈質 不動白光燈

一燈級 第四等

一光力 五百燭

一様式 從前ノ通り但シ塗裝セス

(告第二三六二號第七四七六項)

野寒岬西方淺水ノ發見

一位置 稚内燈臺(野寒岬上ニアリ)ヨリ正西距離八厘半ノ處

稚内燈臺

北緯四五度二七分

東經一四一度三九分

一水深 二十尋(岩底)

一注意 海圖上前記位置ニ該水深ヲ記入シP.D.ト傍記スルヲ要ス

一偏差 明治四十四年七度四一分西

(告第二三七七號第七五五二項)

小樽港繫船浮標ノ位置變更

一記事 小樽港内鐵道棧橋ノ東方距離一ノ鏈ニアル繫船浮標ヲ左記ノ位置ニ移設セリト云フ

一新位置 浮標ヨリ 防波堤端紅光燈ハ 南四一度七分東 距離約四ノ鏈

暴風標ハ 南四七度四〇分西

北緯四三度一二分四三秒

東經一四一度〇分四八秒

一偏差 明治四十四年六度四六分西

(告第二三四七號第七三九八項)

小樽港鐵道棧橋ノ新設

一記事

鐵道院ハ小樽港内ウマヤ鼻ニ鐵道棧橋(石炭搭載用)ヲ設置セリ其全長ハ九五二呎、水面上ノ高ハ六十二呎水面ニ於ケル幅ハ七十呎ナリト云フ

一位置

棧橋北東端ヨリ 天狗山△(四七六呎)ハ 南八八度二六分西 距離九 $\frac{1}{2}$ 鏈
防波堤端燈臺ハ 南四九度一九分東

棧橋ハ右位置ヨリ北二九度西ニ向テ陸岸ニ達ス
防波堤端燈臺

北緯四三度一二分

東經一四一度一分

一偏差

明治四十四年六度四六分西

(告第二三五五號第七四四五項)

小樽港假設掛燈浮標ノ移轉

一記事

小樽港第二防波堤(平磯岬附近)ヨリ北々西方ニ向テ築出セルモノノ築設工事中捨石極端ノ位置ヲ示セル假設掛燈浮標ハ工事進捗ノ結果左記ノ位置ニ移轉セリト云フ

一新位置

防波堤端燈臺ハ 北二二度西 距離四 $\frac{1}{2}$ 鏈
該浮標ヨリ 水天宮山△(一九二呎)ハ 南八一度二〇分西

北緯四三度一二分二秒一

日和山燈臺燈質等ノ變更

一記事

小樽港外高島岬日和山燈臺ハ明治四十四年十二月十五日以後其燈質等ヲ左ノ通り變更シ又霧笛ヲ設置シ同日以後之ヲ吹鳴スト云フ

一位置

北緯四三度一五分

東經一四一度一分

一燈質

「アセチリン」瓦斯連閃白光、毎八秒間ニ三連閃光三連閃光三秒、暗五秒ヲ發ス

一光達距離

十九哩

一霧笛

毎一分二十秒ヲ隔テ、四秒間吹鳴ス

(告第二三八一號第七五七三項)

岩内錨地假設浮標ノ廢止

一記事

曩ニ岩内錨地防波堤築設工事中其極端ノ位置ヲ示ス爲メニ碇置シタル假設浮標(球形目標)附木造截頭方錐形全部紅塗ハ明治四十四年一月二日暴風雨ノ爲メ流失セシ

一位置

ニ依リ其儘廢止セリト云フ

浮標ヨリ〔天測點△ハ〕南三九度五四分東
〔暴風標ハ〕南九度四六分東

北緯四二度五九分三五秒

東經一四〇度三〇分二六秒

一偏差

明治四十四年七度一分西

(告第二三二五號第七三〇八項)

岩内港燈臺ノ新設

一記事

岩内港防波堤頭部ニ左記ノ燈臺ヲ建設シ明治四十四年五月十日ヨリ點火スト云フ

一位置

北緯四二度五九分三四秒

東經一四〇度三〇分二三秒

海圖第二八號ニ據ル

一燈質

不動白光燈

一燈高

四十五呎・四〇礎上三十六呎・二

一明弧

全度

一光達距離

八哩

一光力

八十燭

一等級

無等

一様式

下部方形、上部圓形「コンクリート」造(塗裝セス)

一注意

本燈ニハ別ニ看守員ヲ置カサルヲ以テ萬一消滅スルトキハ再點ニ多少ノ時間ヲ要ス
此燈臺ハ防波堤頭ニ設置シタルモノニシテ防波堤ハ燈臺位置ヨリ南一二度二七分西
ニ向ヒ陸岸ニ達ス

一偏差

明治四十四年七度一分西

(告第二三三八號第七三五八項)

ケラモイ埼燈臺ノ正位置

一記事

最近ノ調査ニ據レハ國後島南端ケラモイ埼燈臺ノ正位置ハ左ノ如シ

一正位置

北緯四三度三九分三二秒

東經一四五度三二分二九秒

(告第二三三八號第七五七二項)

日本水路誌第五卷追補第一明治四十年八月刊行之部

五二頁

海馬島ト北西方暗礁ノ發見

一位置

暗礁ヨリ海馬島ハ

チライベツ川附近三二〇呎山頂ハ

南四六度東 距離三湮四鏈半
南三六度西

北緯四五度二三分四〇秒

東經一四二度六分〇秒

十五呎、底質岩

一水深

東西ニ狹ク南北ニ長シ

一形狀

明治四十四年七度四一分西

一偏差

(告第二三六九號第七五一八項)

日本水路誌第六卷明治四十四年十二月刊行之部

七頁

朝鮮ノ標準時ニ就テ

一記事

朝鮮ノ標準時ハ明治四十五年一月一日ヨリ中央標準時ニ依ルト云フ

一注意

明治四十五年海軍航海年表中ノ高潮時表、日出沒表ハ尙ホ従前ノ朝鮮標準時八時三十分ニ依リ計算シアリ

(告第二三八四號第七五九五項)

一〇五頁

元山埠頭端燈火ノ廢止

一記事

最近ノ調査ニ據レハ元山舊居留地ノ埠頭端ヨリ顯セル不動紅光燈ハ既ニ廢止セラレタリト云フ

一位置

天測點 \oplus ヨリ南八九度東距離約一 $\frac{1}{2}$ 鏈ノ處

一偏差

明治四十四年六度三一分西

(告第二三七七號第七五五四項)

一一七頁

西湖津燈臺ノ新設

一位置

咸興灣口ノ北角外洋島端上

北緯三九度四八分二一秒

東經一二七度三九分三六秒

海圖第三二二號ニ據ル

- 一 燈質 紅白連閃燈ニシテ毎二十秒ニ白色ニ連閃光ト紅色一閃光トヲ發ス
 - 一 燈高 一四五呎〇礎上十八呎
 - 一 光達距離 十八哩
 - 一 明弧 南四五度一五分西ヨリ西北、東ヲ經テ南三〇度二五分東ニ至ルニ八四度二〇分間
 - 一 等級 第六等
 - 一 樣式 白塗圓形「コンクリート」造
 - 一 初點期日 明治四十四年十一月十五日
 - 一 偏差 明治四十四年六月四六分西
- (告第二三八〇號第七五七〇項)

城津挂燈立標ノ新設

- 一 記事 城津港防波堤突端ニ左記ノ港燈ヲ建設シ明治四十四年十月二十日以後毎夜點火スト云フ
 - 一 位置 北緯四〇度三九分四八秒
東經一二九度一二分一秒五
 - 一 名稱 城津挂燈立標
 - 一 燈質 不動白光燈
 - 一 燈高 二十呎〇礎上十五呎
 - 一 光達距離 七哩
- 海圖第三一八號ニ據ル

- 一 明弧 北三二度東ヨリ東南、西ヲ經テ北五八度西ニ至ルニ二七〇度間
 - 一 等級 第六等
 - 一 樣式 「コンクリート」礎上ニ白塗鐵柱ヲ建テ之ニ燈器ヲ冠ス
 - 一 注意 本港燈ハ一度點火スルトキハ約十日間保持シ得ヘキ構造ナルヲ以テ常ニ看守員ヲ置カス故ニ萬一燈火消滅スルトキハ再點ニ多少ノ時間ヲ要ス
- 本防波堤ハ舊燈竿位置ヨリ北二五度三〇分西ニ向ヒ十分四釐強延長セリ
- 明治四十四年七月二一分西
- (告第二三三三號第七五三五項)

統營港燈臺ノ新設

- 一 位置 統營港外放火島西端
 - 一 名稱 統營燈臺
 - 一 燈質 每三秒ノ「アガ」式白閃光燈閃零三秒
暗二七秒
 - 一 燈高 八十五呎〇礎上二十六呎
 - 一 光達距離 十二哩
 - 一 明弧 全度
 - 一 等級 無等
- 海圖第三〇四號ニ據ル

一様式 白塗四角形槽狀鐵造
 一初點期日 明治四十四年十一月五日
 一注意 本燈臺ハ一度點火スルトキハ約十箇月間保持シ得ヘキ構造ナルヲ以テ常ニ看守員ヲ置カス故ニ萬一燈火消滅スルトキハ再點ニ多少ノ日時ヲ要ス
 (告第二三七七號第七五五三項)

丁嶼海附近暗礁ノ精測

一記事 當部測量員ハ珍島ノ西方ニ於テ曩ニ汽船不動丸ノ擱觸シタル暗礁ヲ精測シ左ノ結果ヲ得タリ

一位置 內竭島△

北緯三四度二二分一八秒
 東經一二五度五八分一五秒

(一)一尋礁

一位置

該礁ヨリ 內竭島△ハ 南二四度東 距離約一哩四鏈半
 北松島北西端ハ 北三八度一〇分東

一形狀 此礁ハ殆ト柱狀ヲ爲セル孤立礁ニシテ其ヨリ二鏈ノ間ハ水深二尋半乃至六尋半ナルモ其他ハ十二尋乃至十五尋ナリ

(二)二尋礁

一位置 該礁ヨリ 內竭島△ハ 南五八度西 距離八鏈強
 北松島北西端ハ 北四度二〇分東

一形狀 此礁ハ孤立礁ニシテ周圍水深四尋乃至十尋ナリ

一注意 曩ニ暗礁位置トシテ告示シタル北緯三四度二三分三六秒東經一二五度五七分四八秒ノ處ハ水深十六尋ナルヲ以テ二尋ハ之ヲ削除スルヲ要ス
 明治四十四年四度二三分西
 一偏差 (告第二三七八號第七五五七項)

時牙海暗礁ノ精測

一記事 當部測量員ハ時下島燈臺ノ西方ニ於テ曩ニ汽船吉辰丸ノ擱觸シタル暗礁ヲ精測シ左ノ結果ヲ得タリ

一位置 時下島燈臺

北緯三四度四二分
 東經一二六度一四分

(一)四分三尋礁

一位置

該礁ヨリ 時下島燈臺ハ 北七三度東 距離約九鏈半
 不務起△ハ 北四度三〇分東

一形狀 此礁脈ハ南北ノ長百六十碼幅約二十碼内外ニシテ殆ト馬脊形ヲナシテ深水中ニ聳立シ右ノ最淺部水深四分三尋ノ處ハ殆ト其北端ニアリ

一注意

此附近ハ潮流激甚ニシテ海水常ニ溷濁シ礁ノ近傍ニ近寄ルモ之ヲ視認シ難シ
右ニ依リ時下島燈臺ノ南七二度西距離約一哩ノ處ニアル約三尋礁ハ之ヲ削除スルヲ
要ス

(二)七尋岩

一位置

該岩ヨリ 時下島燈臺ハ 北五〇度二〇分東 距離一哩一 $\frac{1}{2}$ 鏈
不務起△ハ 北四度東

(三)八尋岩

一位置

該岩ヨリ 時下島燈臺ハ 北八三度二〇分東 距離一哩一鏈
不務起△ハ 北七度三〇分東

(四)十尋岩

一位置

該岩ヨリ 時下島燈臺ハ 南七二度二〇分東 距離六 $\frac{1}{2}$ 鏈
不務起△ハ 北

一偏差

明治四十四年四度三二分西
(告第二三七八號第七五五六項)

五〇五頁

濟物浦錨地掛燈立標ノ設置

一記事

濟物浦(仁川港)ニ於テ假護岸石垣及潮止締切堤築造工事ヲ開始セシニ付其區域ヲ標
示スル爲メ左記掛燈立標六基ヲ設置シ明治四十四年九月一日以降毎夜點燈スト云フ

一位置

(A)立標 糞島△ヨリ北三七度一五分西距離五分四鏈ノ處

(B)立標 A立標ヨリ北五九度一〇分西 距離四 $\frac{1}{2}$ 鏈
沙島ノ北西端ヨリ北一〇度西

(C)立標 A立標ヨリ北三八度四五分西 距離五 $\frac{1}{2}$ 鏈
B立標ヨリ北二四度一〇分東

(D)立標 A立標ヨリ北二四度五分西 距離四 $\frac{1}{2}$ 鏈
B立標ヨリ北四三度二〇分東

(E)立標 A立標ヨリ北四度西 距離三 $\frac{1}{2}$ 鏈
B立標ヨリ北七五度一〇分東

(F)立標 A立標ヨリ北三二度東 距離二 $\frac{1}{2}$ 鏈
B立標ヨリ南八四度一五分東

糞島△

北緯二七度二七分四九秒

東經一二六度三七分三六秒

一燈質

紅光燈

一燈高

十七呎

一光達距離

約一哩

一様式

木造柱形ニシテ頭部ニ腕木ヲ附シ之ニ燈籠ヲ掲ク

一注意

以上ノ方位及距離ハ海圖第三二三號ニ據ル

一偏差

明治四十四年五度一六分西

(告第二三七〇號第七五二一項)

結水中諸浮標ノ撤去

- 一 記事 左記諸浮標ハ孰レモ結水中撤去スト云フ
- 一 浮標 (二) 大同江

下洲、中洲、二尋洲、四尋礁各浮標

廣梁灣浮標

鎮南浦東西兩浮標

鐵島挂燈浮標

- 一 注意 依テ圖誌上右諸浮標ニ關シ「結水中撤去」ノ文字ヲ記入シ置クヲ要ス

(告第二三八四號第七五九六項ノ内)

五里浦燈臺ノ新設

- 一 位置 漁隱洞錨地中央ニ突出スル岬角上

北緯三八度三九分二六秒

海圖第三四八號ニ據ル

東經一二五度一三分二二秒

每三秒ノ「アガ」式白閃光燈閃零三秒
暗二七秒

- 一 燈高 一〇五呎〇礎上二十呎

- 一 光達距離 十二哩

結水中五里浦燈臺點燈ノ停止

- 一 記事 五里浦燈臺ハ結水中點燈ヲ停止スト云フ

- 一 注意 依テ圖誌上此燈臺ニ關シ「結水中點燈停止」ノ文字ヲ記入スルヲ要ス

(告第二三八四號第七五九七項)

結水中諸浮標ノ撤去

- 一 記事 左記諸浮標ハ孰レモ結水中撤去スト云フ
- 一 浮標 (一) 鴨綠江

東水道航路第一號挂燈浮標

西水道航路第二號挂燈浮標

其他ノ浮標

一注意 依テ圖誌上右諸浮標ニ關シ「結水中撤去」ノ文字ヲ記入シ置クヲ要ス
(告第二三八四號第七五九六項ノ内)

黑龍沿岸州水路誌明治三十七年九月第一改版之部

Tokarefski spit 燈臺ノ未點火及燈質等ノ改正

一記事

Tokarefski spit 燈臺ハ未タ竣工セス從ヒテ未タ點火ヲ開始セス尙ホ其燈質等ハ左記ノ如クナルヘシト云フ

一位置

Tokarefski spit 端

北緯四三度四分二二秒

東經一三一度四九分四九秒

海圖第二八一號ニ據ル

一燈質

白光及紅光ノ分弧ヲ有スル閃光燈

一燈高

三十五呎

一光達距離

十一浬

一明弧

南六〇度西ヨリ西、北、東ヲ經テ南五二度東ニ至ル間ハ白光、南五二度東ヨリ南二度東ニ至ル間ハ紅光ヲ顯シ其他ハ遮蔽セララル

一等級

第四等

一様式

白塗疊石塔ニシテ燈籠ノ中心マテノ高二十八呎

一注意

本燈臺點火ノ上ハ更ニ告示スヘシ

一偏差

一九一一年七度西

(告第二三五六號第七四四八項)

一 二丈岩ノ擱坐船

一 記事 汽船開平丸(二橋一烟突)ハ明治四十四年七月十八日宗谷海峽二丈岩ノ南東礁脈ニ擱坐セリト云フ

一 位置 二丈岩

北緯四五度四七 $\frac{2}{3}$ 分

東經一四二度一三分半

一 注意 該船ハ目下右舷ニ約三十度傾キ船首ヲ北西ニ向ケ膠著シ風波強キ時ハ飛沫上甲板ノ首尾ヲ侵スヲ見ル

(告第二三五九號第七四五九項)

支那海水路誌第一卷^{明治三十八年八月第二改版}之部

大風及暴風信號式

一 記事

支那上海徐家匯天文臺制定ノ大風及暴風信號式中改正ヲ施セリ即チ左ノ如シ而シテ現時營口、大沽、芝罘、鎮江、吳淞、上海、大戢山島、羅星島、廈門及汕頭ニ於テ施行ス

大風及暴風信號式

信號ハ一ヨリ六マテノ數ヲ代表セル左記ノ諸形体ヲ以テ之ヲ施行ス

- ▼ 1. ● 2. ◆ 3. ■ 4. ▲ 5. X 6.

形体ハ暴風信號杆ニ掲揚ス其意義左ノ如シ

三箇ノ形体ナリ「ヤ」ダームニ掲ケテ中心ノ位置ヲ示ス

大風低氣壓信號 二箇ノ形体ナリ「ヤ」ダームニ掲ケテ中心ノ進行方向ヲ示ス

一箇ノ形体ヲ檣頭ニ掲ケテ徐家匯天文臺ヨリ警報ヲ發セル時刻ヲ示ス

二箇ノ形体ナリ「ヤ」ダームニ掲ケテ風ノ概方向ヲ示ス

一箇ノ形体ナリ「ヤ」ダームニ掲ケテ颯風ノ襲來セントスル地方ヲ示ス

一箇ノ形体ヲ檣頭ニ掲ケテ徐家匯天文臺ヨリ警報ヲ發セル時刻ヲ示ス

第一款 大風低氣壓ノ中心所在地

三形体

南東部地方 (▼ 1. ナ冠ス)		南西部地方 (● 2. ナ冠ス)		中央部南方地方 (◆ 3. ナ冠ス)	
號數	意義	號數	意義	號數	意義
111	Yap-Palewノ南ト西トノ間 (距離ノ如何ニ拘ラス)	211	交趾支那附近	311	沖繩群島ノ東
112	(Guamノ南ト西トノ間(二百四十 十哩以内))	212	Paracelsノ南西	312	沖繩群島ノ中央
113	小笠原群島ノ南ト東トノ間(距離 ノ如何ニ拘ラス)	213	安南附近	313	沖繩群島ノ南東
114	菲律賓諸島東方遙遠ノ地	214	Paracelsト海南トノ間	314	沖繩群島ノ南
115	呂宋ノ南東	215	海南ト安南トノ間	315	先島群島ノ南東
116	呂宋ノ南	216	海南ノ東	316	先島群島ノ南
121	Yapノ南ト東トノ間(二百四十 哩以外)	221	HainanongトVinhトノ間	321	先島群島ノ南西
122	Sulu Sea	222	安南海灣	322	先島群島ノ北
123	呂宋ノ南西	223	Song Ka 三角洲附近(Norway)	323	沖繩群島ノ西
124	呂宋ノ東	224	海南海峽	324	臺灣ノ南東
125	中央呂宋	225	香港ノ南東百二十哩以外	325	Balintang channel
126	呂宋ノ西	226	香港ノ南東百二十哩以内	326	Bashee channel
131	Yapノ南ト東トノ間(二百四十 哩以内)	231	Tongkingノ北	331	北緯二〇度乃至二三度 東經一三〇度乃至一三五度
132	Yapノ北ト東トノ間(二百四十 哩以内)	232	Tongkingノ北西	332	北緯二三度乃至二七度 東經一三〇度乃至一三五度
133	呂宋ノ北東	233	香港ノ南	333	臺灣ノ南西
134	呂宋ノ北西	234	香港ノ南西	334	臺灣ノ東
135	Palawan Is.ノ西	235	Pratas(臺灣水道ノ南)	335	臺灣ノ中央
136	Macleesfield Bk.ノ南東	236	澳門附近ノ海岸	336	臺灣ノ北東
141	Yapノ北ト西トノ間(二百四十 哩以外)				

142	Yapノ北ト西トノ間(二百四十 哩以内)	241	安南ノ北	336	臺灣ノ北東
143	Guamノ南ト東トノ間(二百四 十哩以外)	242	安南ノ北西	341	北緯二〇度乃至二三度 東經一二五度乃至一三〇度
144	Macleesfield Bk.ノ南	243	中央安南	342	Balintang channelノ東
145	Paracelsノ南	244	海南附近ノ海岸	343	澎湖列島ノ南
146	Paracelsノ東	245	香港ノ北西	344	臺灣ノ北
151	Guamノ南ト東トノ間(二百四 十哩以内)	246	汕頭附近	345	臺灣水道ノ中央
152	(Guamノ北ト東トノ間(距離ノ 如何ニ拘ラス))	251	安南ノ南西	346	臺灣水道ノ北
153	Guamノ北ト西トノ間(二百四 十哩以内)	252	安南附近	351	那霸ト石垣島トノ間
154	Guamノ北ト西トノ間(二百四 十哩以外)	253	交趾支那ノ東	352	先島群島ノ中央
155	Paracelsノ中央	254	交趾支那ノ北	353	臺灣ト石垣島トノ間
156	Paracelsノ北東	255	廈門附近	354	烏坵嶼附近
161	北緯一五度乃至二〇度 東經一三五度乃至一四〇度	256	緯度二十五度以南ノ海岸	355	牛山島附近
162	北緯一五度乃至二〇度 東經一三〇度乃至一三五度	261	TouraneトVinhトノ間	356	福州附近
163	小笠原群島ノ北ト東トノ間(距 離ノ如何ニ拘ラス)	262	交趾支那ノ西		
164	小笠原群島ノ北ト西トノ間(距 離ノ如何ニ拘ラス)	263	Tongkingノ北東		
165	小笠原群島ノ南ト西トノ間(二 百四十哩以外)	264	暹羅海灣		
166	小笠原群島ノ南ト西トノ間(二 百四十哩以内)	265	Pulo Condoreノ南		
		266	Pratasト南澎列島トノ間		

中央部北方地方 (■ 4. ナ冠ス)		北部地方 (▲ 5. ナ冠ス)		其他ノ地方 (△ 6. ナ冠ス)	
號數	意義	號數	意義	號數	意義
411	沖繩群島ノ北東	511	北洲ノ南東	611	西江溪野
412	沖繩群島ノ北西	512	日本海ノ北半部	612	上揚子江溪野
413	九州ノ南(大隅海峡)	513	本洲ノ東	613	中央揚子江溪野
414	東引島附近	514	本洲中央部	614	下揚子江溪野
415	温州ノ南東	515	本洲ノ西	615	上黄埔
416	黒山列島ノ南東	516	本洲ノ南東	616	下黄埔
421	黒山列島ノ東	521	日本海ノ南半部	621	中央蒙古
422	浙江省ノ海岸	522	紀伊水道附近	622	支那ノ北
423	舟山叢島ノ南東	523	豊後水道附近	623	Lake Baikalノ西
424	大戢山島ノ南東	524	九州ノ南西	624	Lake Baikalノ南
425	Saddle Is. 附近	525	九州ノ西(長崎)	625	Lake Baikalノ東
426	上海ノ南	526	對馬海峡	626	遼東ノ北
431	東海ノ中央	531	日本海ノ中央	631	西藏即チ西部支那
432	黒山列島ノ北東	532	日本内海	632	支那南西諸省
433	上海ノ南西	533	朝鮮ノ東	633	山東省全部
434	上海ノ東	534	山東省ノ南東	634	朝鮮全部
435	上海ノ西	535	青島ノ南東	635	東部滿州全部
436	上海ノ北東	536	青島ノ南	636	黄海全部
441	土噶刺群島ノ東	541	豊後水道ノ南	641	廣東省ノ北

442	土噶刺群島ノ西	542	紀伊水道ノ南(二百四十哩以内)	642	福建省
443	濟州島ノ南	543	紀伊水道ノ南(二百四十哩以外)	643	浙江省
444	上海ノ北西	544	山東省ノ東	644	日本海
445	上海ノ北	545	山東省ノ北東	645	東海
446	Saddle Is. 卜濟州島トノ間	546	直隸海峡	646	日本ヲ横過シツ、アリ
451	舟山叢島ノ東	551	駿河海灣ノ南近傍	651	北臺灣ト支那トノ間
452	濟州島ノ西	552	駿河海灣ノ南沖	652	北臺灣ト沖繩群島トノ間
453	濟州島ノ北西	553	横濱ノ南(二百四十哩以内)	653	渤海
454	舊黄河口ノ東	554	横濱ノ南(二百四十哩以外)	654	朝鮮ノ北
455	中央黄海	555	渤海	655	北洲全部
456	江蘇省ノ海岸	556	遼東海灣	656	本洲ノ東
		561	青島ノ南西(百哩以外)	661	中央滿洲
		562	青島ノ南西(百哩以内)	662	滿洲ノ北西(黒龍江)
		563	青島ノ西(百哩以内)	663	黒龍江省
		564	青島ノ北西(百哩以内)	664	樺太
		565	北京ノ南西	665	對馬海峡及南部日本海
		566	北京ノ西	666	沖繩群島ト九州トノ間

第二款

方向信號

大風信號ニ在ツテハ中心ノ進行方向ヲ示ス
颯風信號ニ在ツテハ風向ヲ示ス

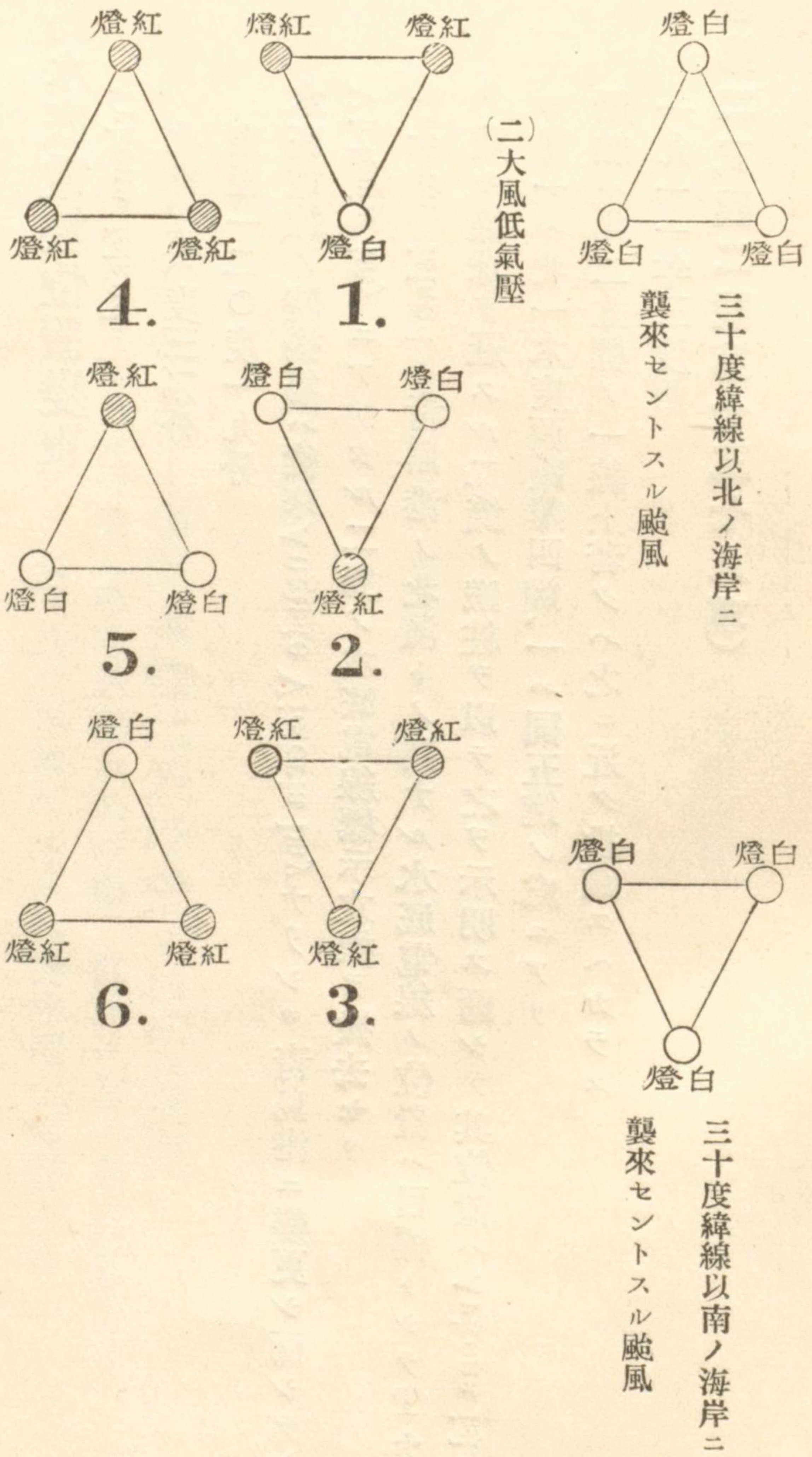
二形体

- ▲▲ 北
- ▲■ 北東
- 西
- 北西

黄海—淺灘ノ發見

(告第二三二七號第七三一七項)

本信號ハ大風中心ノ概位置ヲ示ス即チ第一款大風低氣壓ノ中心所在地ノ地方別ト同一ニシテ1.ハ南東部地方2.ハ南西部地方等ノ如シ



第三款 颱風襲來セントスル地方

一形体(ヤードームニ掲揚ス)



第四款 警報時刻

一形体(橋頭ニ掲揚ス)

▼ 海南海峽ノ南岸
 ● 海南海峽ヨリ厦門ニ至ル沿岸
 ◆ 臺灣島厦門ヨリ黒山列島ニ至ル沿岸
 ▲ 黒山列島揚子江口ヨリ青島ニ至ル沿岸
 ◆ 山東省渤海、遼東海灣
 X 朝鮮海岸、日本海

第五款 夜間信號

(一)颱風

昨日朝
昨日午後
本日朝
本日午後

一位置 北緯三三度三六分
 東經一二一度三九分
 一水深 三³/₄尋
 一注意 該淺灘ノ傍ニP.D.ヲ附スヘシ
 (告第二三六四號第七四八六項)

一五二頁

青島水底電線位置變更

一位置 Arkona island
 北緯三六度三³/₄分
 東經一二一度一九分
 一記事 水底電線ノ陸揚場ハ從來Auguste Victoria bayナリシヲ青島港ニ變更シ而シテAuguste Victoria bayニアリタルニ對ノ水底電線標示立標ヲ撤去セリ
 Arkona islandト青島港ノ北濱トノ間ナル水底電線ノ位置ハ目標トシテTナル文字ヲ戴キ綠球ヲ冠スルニ箇ノ鐵柱ヲ以テ之ヲ示明ス而シテ其位置ハArkona island燈臺ヨリ一ハ北一六度西距離四鏈、一ハ同五鏈ノ處ニアリ
 船舶ハ此ニ立標ノ一線上若クハ之ニ近ク投錨スヘカラス
 一注意
 一偏差 一九一一年三度西
 (告第二三四二號第七三七八項)

二二六頁

威海衛錨地沈船浮標ノ設置

一位置 劉公島鐵造棧橋ノ外端ヨリ南七〇度東距離十³/₄鏈ノ處
 鐵造棧橋
 北緯三七度三〇分
 東經一二二度一〇分
 一様式 黑塗圓臺形浮標
 一注意 沈船ハ現時毫モ水面上ニ露出シアラス
 一偏差 一九一〇年三度西
 (告第二三一〇號第七二五〇項)

三二二頁

大連北西防波堤築造工事區域標示假浮標ノ位置變更

一記事 大連港内北西防波堤築造工事區域標示假浮標ノ位置ヲ左ノ如ク變更セリ
 一新位置 西埠頭北端ノ信號竿ヨリ北四八度半西距離八¹/₂鏈水深三³/₄尋ノ處
 北緯三八度五六分三八秒
 東經一二一度三八分二二秒
 一注意 船舶ハ同防波堤ト浮標トノ中間ヲ通過スヘカラス
 一偏差 明治四十四年四度四分西
 (告第二三二九號第七三二六項ノ内)

大連北防波堤西端掛燈浮標ノ撤去及浮標ノ假設

一記事

大連港内北防波堤西端掛燈浮標ハ破損セシニ依リ本年十一月二十七日之ヲ撤去シ當分ノ内同位置ニ黒塗圓錐形浮標ヲ碇置セリト云フ

一位置

大煙突(二一九呎)ヨリ北二七度三〇分東距離九鏈半水深四尋ノ處
北緯三八度五六分四三秒

東經一二一度三八分二八秒

一注意

船舶ハ右浮標ト其南西六百呎ノ處ニ碇置セル紅塗木造三角形假浮標トノ中間(西口)ヲ航行スヘシ

一偏差

明治四十四年四度四分西

(告第二三八三號第七五八五項)

大連北防波堤東端掛燈浮標光達距離ノ改正

一記事

最近ノ調査ニ據リ大連北防波堤東端掛燈浮標ノ光達距離ヲ八湮ト改正ス

一位置

大連北防波堤東端掛燈浮標
北緯三八度五六分
東經一二一度四〇分

(告第二三五六號第七四五〇項ノ内)

大連北防波堤延長工事測量用目標ノ一時撤去

一記事

南滿洲鐵道株式會社ハ大連港内北防波堤延長工事測量用目標破損シタルニヨリ修理ノ爲メ明治四十四年一月六日之ヲ撤去セリ

一位置

北緯三八度五六分四九秒
東經一二一度三八分三一秒

(告第二三一〇號第七二四九項)

大連港一B浮標ノ變更

一記事

明治四十四年四月十五日大連港内ノB浮標ヲ撤去シ更ニ同位置ニ左記ノ浮標ヲ碇置ス

一位置

該浮標ヨリ
〔西埠頭北端ノ信號竿ハ 南六〇度東〕
〔濱町波止場東端ノ紅燈竿ハ 南一〇度西 距離約四鏈〕

一水深

約三尋半ノ處

一水面上ノ高

六呎半

一様式

紅塗圓錐形鐵造ニシテBト白書ス
明治四十四年四度四分西

一偏差

(告第二三三三號第七三四〇項)

旅順港暴風信號ノ設置

一記事

關東都督府海務局ハ明治四十四年六月一日ヨリ旅順支局前面海岸ノ信號柱ニ暴風警

報信號ヲ掲揚スト云フ

一位置

信號柱

北緯三八度四八分一二秒

東經一二一度一四分五九秒

(告第二三四六號第七三九二項)

旅順港細則中追加

一記事

旅順港細則中ニ追加アリ依ツテ參照ノ爲メ其全部及旅順港規則並取締規則ヲ左ニ掲

ク

旅順港規則

第一條 旅順港ノ水域ハ之ヲ三區ニ分チ別圖點一線以內ヲ第一區ト稱シ第一區以外點二線以內ヲ第二區ト稱シ第一區第二區以外ヲ總テ第三區ト稱ス西港ハ第三區トス(別圖畧ス)

第二條 西港ニハ内外國艦船入港スルコトヲ得

西港以外ノ第三區ニ於テハ航路ノ妨トナラサル限リハ艦船自由ニ碇泊スルコトヲ得但シ爆發物若ハ燃燒シ易キ物件ヲ積載スル艦船ハ港務部長特ニ其ノ錨地ヲ指示スルコトアルヘシ

第三條 第一區第二區ニハ海軍所屬ノ艦船ニアラサレハ鎮守府司令長官ノ許可ナクシテ入ルコトヲ得但シ第三區ヨリ第二區ヲ通過シ直ニ第三區ニ移ル所ノ艦船ハ此ノ限ニアラス

海軍所屬ノ艦船ト雖排水噸數十五噸以上ノモノニシテ第一區ニ入ラムトスルトキハ鎮守府司令長官ノ許可ヲ受クヘシ

第四條 旅順港ニ入ラムトスル艦船ハ旅順港水域外約三海里ノ所ヨリ投錨若ハ繫止スル地點マテ萬國船舶信號ニ依リ各自ノ艦船名ヲ表示スヘシ但シ鎮守府司令長官其ノ必要ナシト認メ其ノ旨豫メ通知シタルモノハ此ノ限ニアラス

第五條 旅順港水域及其ノ以外約三海里以內ノ水面ニ繫泊シ若ハ運航スル艦船ハ特別ノ規定アルモノ、外其ノ國籍ヲ表明スル旗章ヲ掲揚スヘシ

第六條 旅順港水域及其ノ以外約三海里以內ノ水面ニ繫泊シ若ハ運航スル艦船ハ日没ヨリ日出マテ海上衝突豫防ニ關スル法令ニ規定シタル各種ノ船燈ヲ掲クヘシ

第七條 内外各地ヨリ入港スル艦船ニシテ海港檢疫法第四條第一項ノ各號ニ該當スル場合ニ於テ檢疫又ハ消毒ヲ終ラサルモノハ鎮守府司令長官ノ許可ヲ得ルニアラサレハ第一區第二區及西港ノ海面ニ入ルコトヲ許サス又第一區第二區及西港ノ海面ニ於テ傳染病患者ヲ發シタル艦船ハ檢疫信號ヲ掲ケテ鎮守府司令長官ノ指揮ヲ待ツヘシ

前項ノ場合ニ於テ海軍所屬ニアラサル艦船ノ檢疫ニ關シテハ關東都督ノ定ムル所ニ依ル

第八條 西港ノ海面ニ出入スル海軍所屬ニアラサル五百噸以上ノ艦船ハ入港ニ際シテハ第二區ニ入ル前ヨリ泊地ニ就クマテ出港ニ際シテハ其泊地ヲ離ルルトキヨリ第二區ヲ出テ終ルマテ水先案内ヲ取ルヲ要ス但シ鎮守府司令長官其ノ必要ナシト認メ其ノ旨豫メ通知シタルモノハ此ノ限ニアラス

前項ノ水先人ハ海軍豫備役軍人ニシテ鎮守府司令長官ノ檢定ヲ經タルモノナルヲ要ス水先人ニ關スル規程ハ關東都督ノ定ムル所ニ依ル

第九條 第一區第二區及西港ノ海面ニ於ケル艦船ノ進退ハ排水噸數十五噸以下ノ船舟ヲ除クノ外總テ港務部長ノ指示ニ從フヘシ但シ天災其ノ他不時ノ事故ニ依リ其ノ指示ヲ待ツ能ハサル場合ニハ此ノ限ニアラス

前項中西港ノ海面ニ於ケル海軍所屬ニアラサル艦船ノ進退ニ關シテハ關東都督ノ定ムル所ニ依ル

第十條 鎮守府司令長官ハ必要ナル場合ニハ在港艦船ニ錨地ノ變換其ノ他ノ處置ヲ命スルコトヲ得

第十一條 鎮守府司令長官ハ第一區ニ入り又ハ入ラムトスル艦船ノ積載物中危險ト認ムルモノアルトキハ之ヲ卸サシムルコトヲ得

第十二條 總テ艦船ハ鎮守府司令長官ノ特許アルモノ、外火藥庫ヲ距ル百三十間以內ニ入ルコトヲ禁ス汽罐點火中ノ小蒸汽船

其ノ他火氣ヲ有スル一切ノ船舟亦同シ

第十三條 旅順港境域内ニ於テハ禮砲號砲及鎮守府司令長官ノ許可ヲ得タルモノ、外火器若ハ爆發物ノ發射發火ヲ禁ス但シ公私ノ家屋建造物ヲ距ルコト七十五間以内ニ於テハ禮砲號砲ト雖特ニ鎮守府司令長官ノ許可ヲ得ルニアラサレハ一切發射發火ヲ爲スコトヲ許サス

前項ノ禁制ハ海軍用地及水域外ニ於テ陸軍官憲ノ施行スル射擊演習等ニ關シテハ之ヲ適用セス

第十四條 第一區第二區ノ海面ニ於テハ鎮守府司令長官ノ特許ヲ得シテ漁獵採藻ヲナスヘカラス

第十五條 第一區第二區ノ海面及其ノ海岸竝之ニ注入スル水流ニハ鎮守府司令長官ノ許可ヲ得ルニアラサレハ一切ノ物件ヲ委棄スルコトヲ禁ス

鎮守府司令長官ハ必要アリト認ムルトキハ西港以外ノ第三區及其ノ海岸ニ物件ノ委棄ヲ禁シ臨時委棄ノ場所ヲ指示スルコトヲ得

艦船若シ其ノ委棄スヘキモノヲ自ラ處分スルコト能ハサルトキハ海軍艦船ニ在リテハ港務部ニ其ノ處分ヲ請求スヘシ海軍所屬ニアラサル艦船ニ在リテハ關東都督ノ定ムル所ニ依ル

第十六條 鎮守府司令長官ハ旅順港水域内ニ於ケル有害ナル難破物委棄物若ハ其他ノ物件ハ原因ノ如何ニ關セズ其義務者ヲシテ之ヲ指定ノ期限内ニ除去セシムルコトヲ得其ノ義務者之ヲ除去セサルトキ若ハ指定ノ期限内ニ終了スル見込ナキトキハ鎮守府司令長官ハ自ラ之ヲ除去若ハ破壊シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ除去若ハ破壊セシメ其ノ費用ヲ義務者ヨリ徵收スルコトヲ得其ノ義務者不明ナルトキハ鎮守府司令長官ハ之ヲ除去若ハ破壊スルコトヲ得

西港内ニ於ケル有害ナル難破物委棄物又ハ其ノ他ノ物件ノ處分ニ付テハ關東都督ノ定ムル所ニ依ル

第十七條 旅順港境域内ノ山林原野ニ於テハ濫リニ焚火スヘカラス

第十八條 旅順港境域内ニ於テ左ニ掲クル諸項ノ新營若ハ變更ニ關シテハ鎮守府司令長官ハ關東都督ノ協議ヲ受クルモノトス

一 棧橋ノ架設、埠頭ノ築造

二 河床ノ變更、河川海面ノ埋立、浚渫、海岸ノ掘鑿、海岸ニ於ケル石垣ノ築造

三 道路運河溝渠墜道ノ開通、橋梁鐵道ノ架設

四 地盤ノ開鑿及埋築

五 森林ノ伐採

六 旅順港ノ水域内ニ發著スヘキ海運ノ營業

七 浮標立標其ノ他航路標識ノ設置

八 第一區第二區及西港ノ沿岸ニシテ水面若ハ海軍用地ヲ距ル七百五十間以内ニ於ケル家屋倉庫及諸般ノ築造物ノ新築

第十九條 鎮守府司令長官ノ許可ヲ得シテ旅順港境域内水陸ノ形狀ヲ測量攝影、摸寫、錄取シ又ハ地理案内等ノ圖書ヲ發行スルヲ禁ス但シ艦船運航ノ際行船ニ必要ナル鐘測ハ此ノ限ニアラス

第二十條 前條ノ禁制ハ海軍用地及水域外ニ於テ陸軍官憲ノ施行スルモノニ適用セス

第二十一條 鎮守府司令長官ハ旅順港境域内ニ於テ兵備ノ狀況其ノ他地形等ヲ視察スル者ト認メタルトキハ之ニ旅順港境域外ニ退去ヲ命スルコトヲ得

第二十二條 鎮守府司令長官ハ海軍用地ニ接近スル一般公路ニ於テ取締上必要ト認ムルトキハ關東都督ニ協議シ一般人民ノ通行ニ制限ヲ置クコトヲ得

鎮守府司令長官ハ海軍用地ノ内取締上差支ナシト認ムル區域ニ限り一般人民ニ通行ヲ許スコトヲ得

第二十三條 旅順港ノ境域竝其ノ區劃等ヲ表示スル標石、標木、標札ノ類若ハ其ノ水域内ニ設ケル浮標等ヲ移轉シ又ハ之ヲ毀壞スルコトヲ禁ス

第二十四條 旅順港ノ取締ニ關スル細則ハ鎮守府司令長官關東都督ニ協議シテ之ヲ定ム

附則

旅順鎮守府司令長官ハ當分ノ内關東都督ノ請求アルトキハ旅順海軍港務部員ヲシテ旅順港ニ於ケル水路ノ嚮導ヲ爲サシムルコトヲ得

旅順港細則

第一章 通則

第一條 本細則ニ於テ艦船ト稱スルハ艦艇、船舶、船舟ヲ謂ヒ艦艇ト稱スルハ軍艦、驅逐艦、水雷艇、潛水艇ヲ謂ヒ船舶ト稱スルハ艦

艇ニアラサル排水噸數十五噸以上ノモノヲ謂ヒ船舟ト稱スルハ排水噸數十五噸ニ滿タサル汽艇、荷舟、解舟其他一切ノ小舟ヲ謂フ

第二條 排水噸數十五噸以上ノ艦船ニシテ第一區ニ入ラントスルモノハ鎮守府司令長官ノ許可ヲ受クヘシ但シ入渠若ハ修理等ノ許可ヲ得タルモノ及海軍所屬船舶船舟ニシテ荷物積卸ノ爲メ第一區ニ入ルモノニ限リ港務部長之ヲ處理スルコトヲ得

旅順港所在海軍各廳部隊ヲ含ム以下同シ所屬ノ船舶船舟ハ第一區ニ入ルコトヲ得但シ港務部長ノ指示ニ從フヘシ

第三條 海軍所屬外ノ船舶第一區若ハ第二區ニ入ラントスルトキハ其事由ヲ詳記シタル願書ヲ差出シ豫メ鎮守府司令長官ノ許可ヲ受クヘシ但シ西港及第七條ノ海面ニ入ランカ爲メ第二區ヲ通航スルモノハ此限ニアラス

海軍用物件ノ運搬ニ從事スルモノハ其入港願書ニ關係官衛主任官ノ檢印ヲ受クヘシ
海軍大臣ノ許可ヲ得タル船舶ハ本條願出ノ手續ヲ要セス

第四條 海軍所屬外ノ船舟ニシテ第一區若ハ第二區ニ入ラントスルモノ、許可ニ關シテハ港務部長ヲシテ之ヲ取扱ハシム其入港手續ハ第三條ニ準ス但シ本細則中別ニ出入ヲ許可シアルモノハ此限ニアラス

第五條 前二條ノ船舶船舟第一區及第二區第七條ノ海面ヲ除クヨリ出テントスルトキハ豫メ港務部ニ届書ヲ出スヘシ其入港ノ事由海軍用物件ノ運搬ニアリシトキハ關係官衛主任官ノ檢印ヲ要ス

第六條 第二區沿岸居住民所有ノ船舟ハ許可ナクシテ其居住地前海面ニ出入スルコトヲ得

第七條 船舶及船舟ハ第二區内別圖第一第二標木ヲ連結シタル想像線以北ノ海面ニ限リ自由ニ錨泊スルコトヲ得但シ必要ニ應シ其區域ヲ變更スルコトアルヘシ(別圖畧ス)

第八條 海軍所屬外ノ船舶船舟ハ旅順港水域内ニ出入スルニ當リ港務部職員ノ尋問アラハ一切ノ事由ヲ明示スヘシ

第九條 旅順鎮守府所屬ニアラサル海軍所屬艦船ハ其來港ノ事由及滯泊日數等重ナル事項ヲ速ニ鎮守府ニ通知スヘシ

第十條 艦船旅順港ニ出入ノ際事故ノ爲メ一時第二區ニ假泊シタルモノハ信號又ハ便宜ノ方法ヲ以テ其旨港務部ニ届出ツヘシ出港ノ際假泊シタルモノ亦同シ

第十一條 必要ナル場合ニ當リテハ一時艦船ノ第一區及第二區ニ入ルコトヲ拒絕スルコトアルヘシ但シ緊急ヲ要スルトキハ港務部長ヲシテ之ヲ專行セシム

第十二條 旅順港ノ境域區劃等ヲ表示スル標石、標木、標札又ハ繫船ノ目的ニ供セサル浮標等ニハ一切觸接スルコトヲ禁ス

第十三條 旅順港境域内ニアル海軍所屬ノ棧橋、埠頭及旅順港規則第二十三條ニ掲クル諸標等ヲ毀壞傾倒シタル者ハ速ニ港務部ニ届出ツヘシ又之ヲ發見シタル者ハ港務部ニ通知スヘシ

第十四條 旅順港境域内ニ於テ海軍所有ト思考シ得ル遺失物、埋藏物、漂流物及沈没物品ヲ發見シ又ハ拾得シタル者ハ速ニ港務部ニ通知スヘシ

第十五條 旅順港規則ニ掲クル禁止事項違反嫌疑者ヲ發見シタル者ハ何人ニ限ラス其行爲ニ注意シ速ニ鎮守府若ハ最寄憲兵又ハ警察官ニ通知スヘシ

第十六條 外國軍艦ハ艦外ニ於テ演習若ハ操練ヲ爲スコトヲ得ス

第十七條 外國艦船ノ乗員ハ葬儀執行等ノ場合ニ於テ鎮守府司令長官ノ許可ヲ得タルトキノ外武裝シテ上陸スルコトヲ得ス但シ准士官以上其服裝ニ帶劍ノ制アルモノハ此限ニアラス

第十八條 外國艦船ハ陸上火災ノ場合ニ於テハ防火隊ヲ出サ、ルヲ例トス

第十九條 第一區及第二區ニ錨泊又ハ繫留スル艦船ニシテ汽機、汽罐等修理ノ爲メ十二時間以内ニ運航スルコト能ハサル工事ヲナサントスルトキハ豫メ著手及竣功期日ヲ港務部ニ通知スヘシ

第二十條 第一區第二區及西港ニ於テハ港務部長ノ承認ヲ得シテ探海掃海及之ニ類ズル演習ヲナシ又ハ錨網、潛水器等ヲ用ヒ海中ヲ掃探スヘカラス

第二十一條 第一區及第二區ニ於テハ港務部長ノ指示スル區域外ニ於テ水泳スルコトヲ禁ス但シ老虎尾水道以南ノ海面ハ此限ニアラス

第二十二條 第一區第二區ニ在泊スル艦船及西港ニ在泊スル海軍所屬ノ艦船ニ於テ其乗員ニ水泳ヲナサシメントスルトキハ救助艇ニ竿ヲ樹テ之ニ救命浮標ヲ掲ケ其救助艇ト該艦船ノ首尾トヲ接合シタル直線以内ヲ水泳區域トナスヘシ

陸岸ヨリ水泳ヲナス場合ニハ適用シ得ラル、限リ前項ニ準スヘシ

第二十三條 艦船ハ前條ノ水泳區域内ヲ運航スヘカラス

第二十四條 第一區ニ在ル艦船及西港ニ在ル海軍所屬ノ艦船ハ後部ニ二隻以上ノ船舟ヲ連繫スヘカラス但シ其艦船ノ幅ヲ超エ

サル限リ竝列シテ繋クコトヲ得

第二十五條 第一區ニ在ル艦船ハ総テスウヰンゲングアームニテ出スヘカラス

第二十六條 石炭其他海底ニ堆積スヘキ虞アル物件ヲ積卸シスルトキハ之ヲ水中ニ墜落セサルコトニ注意スヘシ

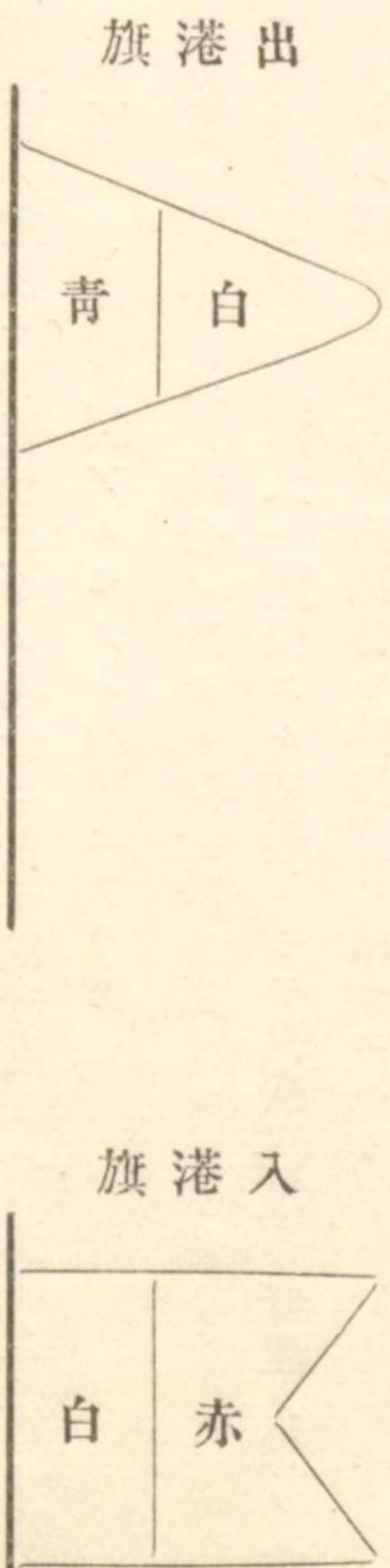
第二十七條 海軍所屬艦船ノ委棄物ヲ蒐集スル爲メ港務部ヨリ船舶ヲ出シ毎日午前八時ヨリ同十時迄及午後二時ヨリ同四時迄ノ間ニ於テ巡回セシム

前項ノ塵受船ニハ標識トシテ圓銀^白赤^赤ヲ灰燼舟ニハ同^赤赤^赤ヲ掲ケシム

艦船ニ於テハ豫メ準備シ置キ該船舶ヲシテ永ク停留セシムヘカラス

第二章 出入港ニ關スル事項

第二十八條 出港旗及入港旗ヲ左ノ如ク定ム



第二十九條 老虎尾水道以内ニ入港セントスル艦船ハ黄金山信號所ノ旗竿ニ出港旗ノ掲揚シアル間ハ同水道以南ニ於テ航路ノ妨碍トナラサル位置ニ待合スヘシ

第三十條 老虎尾水道以内ヨリ出港セントスル艦船ハ黄金山信號所ノ旗竿ニ入港旗ノ掲揚シアル間ハ出港スルコトヲ禁ス

第三十一條 二隻以上ノ艦艇船舶同時ニ老虎尾水道以内ニ入港セントスルトキハ黄金山信號所ノ旗竿ニ入港旗ト共ニ符字信號ヲ掲ケラレタル艦船ヨリ順次ニ入港スヘシ

第三十二條 二隻以上ノ艦艇船舶同時ニ老虎尾水道以内ヨリ出港セントスルトキハ黄金山信號所ノ旗竿ニ出港旗ト共ニ符字信號ヲ掲ケラレタル艦船ヨリ順次ニ出港スヘシ

第三十三條 艦船ハ黄金山信號所ノ旗竿ニ萬國船舶信號ノB旗ヲ掲揚シアル間ハ老虎尾水道ヲ出入スルコトヲ禁ス又港務部廳

舍前ノ旗竿ニ同旗ヲ掲揚シアル間ハ指定セラレシ艦船ノ外一切第一區ニ出入スルコトヲ禁ス

第三十四條 老虎尾水道以内ニ入港セントスル艦艇船舶ニシテ日没後到達シタルモノハ日出迄同水道以南ニ於テ航路ヲ避ケ假泊スヘシ但シ特ニ港務部長ノ承認ヲ受ケタルモノハ此限ニアラス

第三十五條 船舶ハ老虎尾水道ヲ通過スル艦艇船舶ニ對シ其航路ヲ讓ルヘシ

第三十六條 海軍所屬艦船入港ノ際旅順港規則第四條ニ依リ符字信號ヲ掲揚スルトキハ黄金山信號所ハ之ニ應答スヘシ艦船ハ此應答ヲ見テ符字信號ヲ降下スルモノトス

第三章 繫泊及運轉ニ關スル事項

第三十七條 第一區ニ於テ艦船ヲ陸岸ニ繫維、離脱、出入渠及出渠後ニ於ケル繫留事業ハ港務部ノ所掌トス但シ該艦船ノ乗員ハ之ニ關シ充分ナル補助ヲナスヘシ

第三十八條 海軍所屬ノ浮標ニ繫留セル艦船天候其他事故ノ爲メ錨ヲ投下セントスルトキハ先ツ錨鎖ヲ延ハシ該浮標ヲ維持スル錨ニ害ヲ及ボサルニ至リテ投錨スヘシ

第三十九條 艦船海軍所屬ノ浮標ニ繫留ノ儘試運轉ヲナストキハ必ス微速力ヲ以テシ繫留錨鎖ヲ緊張セサルコトニ注意スヘシ

第三十九條ノ二 第一區内ニ出入スル艦船ハ必ス微速力ヲ以テ航行スルモノトス

第四十條 第一區第二區ニ在泊スル艦船及西港ニ在泊スル海軍所屬ノ艦船ニ於テ曳船ヲナスニハ特ニ港務部長ノ承認ヲ得タルトキノ外左ノ制限ニ從フヘシ

一 端舟及荷舟ヲ曳クトキハ曳船ノ船尾ヨリ最後ノ被曳船ノ船尾ニ至ル迄ノ距離ハ晝間ニ在リテハ六十間夜間ニ在リテハ三十間ヲ超ユヘカラス

二 端舟及荷舟ハ前號ノ距離ヲ超エサル限リ二隻宛竝列シテ曳クコトヲ得

三 航洋船ヲ曳クトキハ一隻ヲ超ユヘカラス

第四十一條 第七條ノ錨泊區域ニ在ル艦船及西港ニ錨泊スル海軍所屬ノ艦船ハ必ス雙錨泊ヲナスヘシ

第四十二條 第一區第二區ニ錨泊スル艦船及西港ニ錨泊スル海軍所屬ノ艦船ハ錨ニ浮標ヲ附スヘカラス

第四章 上陸場其他陸岸ニ關スル事項

第四十三條 海軍軍人軍屬及鎮守府司令長官ノ特許ヲ得タルモノ、外左記埠頭ヨリ上陸乗船スルコトヲ禁ス但シ第一埠頭第七埠頭ニ限リ海軍軍人軍屬以外ノモノト雖港務部長ノ承認ヲ得テ上陸乗船スルコトヲ得

第一埠頭 港務部前 第二埠頭 老虎尾船臺前 第三埠頭 老虎尾舊砲臺前 第四埠頭 老虎尾消毒所前
第五埠頭 蠻子營火藥庫前 第六埠頭 魚雷營倉庫前 第七埠頭 海軍病院前

第四十四條 前條ノ埠頭ニハ上陸乗船若ハ物件積卸ノトキノ外船舟ヲ繫維スヘカラス
第四十五條 港務部長ノ承認ヲ受クルニアラサルハ第一區沿岸ヨリ上陸乗船スルコトヲ禁ス但シ沿岸使用廳ニ所用アルモノ及同廳所屬ノ船舟ニ乗降スルモノハ此限ニアラス

第四十六條 第一區沿岸ニ於テハ該沿岸使用ノ關係官衙ノ承認ヲ得シテ船舟ヲ陸揚シ又ハ物品ヲ集積スヘカラス

第四十七條 第二區ニ於テハ第七條ノ區域内沿岸及老虎尾燈臺以南叢家屯李家屯郭家屯ノ前海岸ノ外ハ港務部長ノ承認ヲ得スシテ上陸若ハ船舟ヲ著岸スルコトヲ禁ス

第四十八條 西港内老虎尾半島ノ沿岸ニ於ケル海軍用地ニ上陸若ハ艦船ヲ著岸スルコトヲ禁ス但シ海軍所屬艦船及鎮守府司令長官ノ特許アルモノハ此限ニアラス

第五章 通信信號ニ關スル事項

第四十九條 黄金山信號所及東港入口北側ニアル見張所ヲシテ海陸ノ通信ニ任セシム

第五十條 海軍所屬ノ艦船ヨリ通信ノ爲メ黄金山信號所ヲ呼稱スルニハ萬國船舶信號D旗ヲ掲揚スヘシ

第五十一條 海軍所屬ニアラサル艦船ヨリ黄金山信號所ニ向テナス信號ハ總テ萬國船舶信號法ニ依ル

第五十二條 艦船ト鎮守府各廳間ハ黄金山信號所ヲ介シ通信ヲナスコトヲ得

第五十三條 艦船ノ乗員陸上ニ在テ至急ヲ要スル重要事件發生シタルトキハ港務部ニ依頼シ之ヲ其ノ艦船ニ通信スルコトヲ得

第五十四條 艦船火ヲ失シタルトキハ時鐘若ハ之ニ類似ノ振鳴器ヲ連打シ又ハ汽笛ヲ連吹シ晝間ハ萬國船舶信號NM旗ヲ掲ケ夜間ハ號火、火箭等ヲ用ヒ最モ見易キ發火信號ヲナシ且ツ斷ニス紅燈ヲ上下スヘシ

艦船危急ノ場合ニ遭遇シ救助ヲ要スルトキ亦同シ但シ晝間ハ萬國船舶信號NC旗ヲ掲ケヘシ

第五十五條 鎮守府各廳ヨリ第二區及西港ニ在泊スル海軍所屬ノ艦船ニ文書及輕易ノ物品ヲ送達セシムル爲メ港務部ニ通信船

ヲ置ク

通信船ニハ標識トシテ白地ニ赤ノ蛇ノ目ヲ畫キタル旒ヲ艇首ニ掲ケ

第五十六條 海軍所屬ノ艦船ニ於テ備入レタル船舟ニハ見易キ一定ノ旗章ヲ掲ケシムヘシ此旗章ハ豫メ港務部長ニ通知シ置クコトヲ要ス

第五十七條 鎮守府各廳並ニ第一區ニ繫泊中ノ艦船ニシテ船舟ヲ備役セントスルトキハ之ニ掲クル旗章ヲ定メ港務部長ノ承認ヲ受クヘシ

第六章 取締ニ關スル事項

第五十八條 黄金山信號所及東港入口北側ニ在ル見張所ヲシテ旅順港ノ監視ニ任セシム又港務部ニ巡邏船ヲ置キ港内ヲ巡邏警戒セシム其方法ハ港務部長之ヲ定ム

第五十九條 何人ト雖公務ノ外鎮守府司令長官ノ許可ナクシテ火藥庫及防禦營造物ニ接近スヘカラス

第六十條 爆發物其他燃焼シ易キ物件ヲ積載スル艦船ハ鎮守府司令長官ノ許可ナクシテ第一區ニ入ルコトヲ得ス

第六十一條 前條ノ許可ヲ得テ第一區ニ入りタル艦船ト雖入渠又ハ陸岸ニ繫維セントスルトキハ總テ積載危險物ヲ卸スヘシ但シ特ニ鎮守府司令長官ノ許可アリタルモノハ此限ニアラス

第六十二條 第一區ニ於テ爆發物其他ノ危險物ヲ積卸セントスル艦船ハ鎮守府司令長官ノ許可ヲ受クヘシ

第六十三條 旅順港水域内ニ於テ左記各號ノ一ニ該當スル艦船ハ航行又ハ碇泊ノ如何ニ關セス晝間ハ萬國船舶信號B旗ヲ檣頭若ハ桁端ニ掲ケ夜間ハ紅燈一箇ヲ周圍ヨリ見易キ處ニ掲ケヘシ但シ檣ヲ備ヘサル船舟ハB旗若クハ紅燈ヲ長竿ニ掲ケヘシ

一 制規ノ格納所以外ニ爆發物其他ノ危險物ヲ積載スル艦艇

二 現ニ爆發物其他ノ危險物ヲ積卸スル艦船

三 爆發物其他ノ危險物ヲ積載スル船舶及ヒ船舟

第六十四條 前條第一號及第三號ニ該當スル艦船ハ鎮守府司令長官ノ許可ナクシテ第二區ヲ通過スルコトヲ得ス

第六十五條 船舶信號用等ノ爲メニ備フル火藥、雷管、火箭號火、救命火莖等ニシテ安全ナル方法ヲ以テ適當ニ格納シアルモノハ

第六十條第六十三條及六十四條ニ據ルノ限ニアラス

第六十六條 第一區ニ於テハ特ニ鎮守府司令長官ノ令ナクシテ禮砲、號砲又ハ銃發ヲ爲スコトヲ得ス
第六十七條 左記各號ノ區域外ニ於テハ鑛業、土木及狩獵ノ目的ヲ以テスルモノニ限り火器若ハ爆發物ノ發射發火ヲナスコトヲ得

- 一 第一區第二區及西港ノ水面
- 二 第一區第二區及西港ノ沿岸ニシテ水面(滿潮面)ヲ距ル七十五間以内ノ陸地
- 三 海軍用地及之ヲ距ル七十五間以内ノ陸地及水面
- 四 火藥庫ヲ距ル百三十間以内ノ陸地及水面
- 五 特ニ禁制ノ揭示アル場所

第六十八條 前條各號ノ區域ヲ除キタル旅順港境域内及練兵場ニ於テハ演習ノ目的ヲ以テスルモノニ限り銃砲、水雷其他爆發物ノ發射發火ヲナスコトヲ得但シ豫メ鎮守府司令長官ニ届出テ且ツ充分ナル注意ヲナシ他ニ危害ヲ及ボスコトアルヘカラス

第六十九條 火氣ヲ有スル船舶ニシテ萬國船舶信號B旗ヲ掲揚スル艦船ノ近傍ヲ運航スル場合ニハ安全ナル距離ヲ保チ成ルヘク風下側ヲ航行スヘシ若シ已ムテ得ス風上側ヲ運航スル場合ニハ充分安全ナル距離ヲ保ツコトニ注意スヘシ

第七十條 彈丸火藥其他火工品等ヲ運搬スル船舶ハ工作部長ノ承認ヲ得ルニアラサレハ火藥庫ヲ距ル百三十間以内ニ接近スルコトヲ得ス

第七十一條 第二區内第七條ノ海面ニ於テハ艦船ノ操縱ヲ妨ケサル限り漁業採藻ヲナスコトヲ許ス但シ場合ニ依リ禁止スルコトアルヘシ

第七章 衛生及檢疫ニ關スル事項

第七十二條 本細則ニ於テ傳染病ト稱スルハ虎列拉、赤痢、腸窒扶斯、バチ窒扶斯、痘瘡、發疹窒扶斯、猩紅熱、實布埤利亞、ペスト、再歸熱及麻疹ヲ謂フ

前項以外ノ傳染病ニシテ鎮守府司令長官必要ト認ムルモノアルトキハ更ニ之ヲ指定シ本細則ヲ適用ス

第七十三條 旅順港ニ入ル海軍所屬ノ艦船ハ入港後直ニ其衛生狀況ヲ鎮守府司令長官ニ報告スヘシ但シ出港後七日以内ニ再ヒ入港シ衛生狀況ニ異變ナキモノハ之ヲ省略スルコトヲ得



第七十四條 旅順港水域及之ニ注入スル河川溝渠ニハ傳染病者ノ排泄物、病毒汚染ノ疑アル物品其他健康ニ害アル一切ノ物件ヲ投棄スルコトヲ禁ス

第七十五條 旅順港ニ在泊スル海軍所屬ノ艦船ニ於テ急死者アルトキハ直ニ其實況ヲ鎮守府ニ報告スヘシ

第七十六條 旅順港ニ在泊スル海軍所屬ノ艦船内ニ虎列拉、痘瘡、猩紅熱及「ペスト」若ハ是等ノ疑似症ヲ發生シタルトキハ直ニ信號ヲ以テ鎮守府ニ報告シ檢疫信號ヲ掲ケ一切ノ交通ヲ遮斷シ鎮守府司令長官ノ指揮ヲ待ツヘシ

檢疫信號ハ晝間ハ萬國船舶信號Q旗ヲ掲ケ夜間ハ紅白二燈ヲ上下ニ連掲スルモノトス

第七十七條 旅順港ニ在泊スル海軍所屬ノ艦船内ニ前條以外ノ傳染病ヲ發生シタルトキハ直ニ乗組軍醫官若ハ士官ヲ鎮守府ニ派シ其實況ヲ報告スヘシ

前項ノ艦船ハ病況ニ依リ交通ヲ遮斷セシメ若ハ錨地ヲ轉セシムルコトアルヘシ此場合ニ於テハ檢疫信號ヲ掲ケルモノトス

第七十八條 旅順港ニ入ラントスル海軍所屬ノ艦船ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ港外三湮ノ地ヨリ檢疫信號ヲ掲ケ第一區ニ假泊シ鎮守府司令長官ノ指揮ヲ待ツヘシ

一 現ニ第七十六條第一項ノ患者若ハ死者アルモノ
二 前號ノ患者若ハ死者アリタルモノ及同病流行地ヲ發シ若ハ經由シ又ハ同病毒ニ汚染シタル他艦船ト交通シタルモノニシテ消毒ヲ終ラサルモノ

第七十九條 旅順港ニ入ラントスル海軍所屬ノ艦船ニシテ第七十六條第一項以外ノ傳染病、同疑似症患者若ハ死者アルトキハ投錨後直ニ其ノ旨ヲ鎮守府司令長官ニ報告シ命ヲ待ツヘシ

第八十條 旅順港地方ニ於テ傳染病流行ノ際來港スル海軍所屬艦船ニ對シ地方ノ不健康ヲ知ラシムル爲メ該艦船ノ投錨若ハ繫留後約十分間黃金山信號所旗竿ニ檢疫信號ヲ掲ケシム

第八十一條 消毒竝ニ隔離中ノ海軍所屬ノ艦船ハ檢疫信號ヲ掲クヘシ但シ本信號ヲ掲クルヲ得サル船舶ハ標札其ノ他便宜ノ方法ヲ以テ之ニ換ユルコトヲ得

第八十二條 檢疫信號ヲ掲クル海軍所屬艦船ノ乘員鎮守府司令長官ノ命、令若ハ許可ヲ得テ鎮守府其他ニ至ルトキハ其乗用船舶ニ同信號ヲ掲ケ且ツ船舶員ヲシテ他ノ艦船及陸上ト交通セシムヘカラス

第八十三條 旅順港境域内ニ在ル海軍諸官衙等ハ出來得ル限り本章ノ規定ニ準據スヘシ

旅順港取締規則

第一條 本令ニ於テ港内ト稱スルハ旅順港規則第一條ニ規定セル第三區中西港ノ海面ヲ謂ヒ船舶ト稱スルハ海軍所屬ノ艦船以外ノモノヲ謂フ

第二條 總噸數五百噸以上ノ船舶ハ水先人ノ水路嚮導アルニ非サレハ港内ニ出入スルコトヲ得ス但シ旅順港規則第八條ニ依リ其ノ必要ナシト認メラレタルモノハ此ノ限ニアラス

泊地ノ變更又ハ其ノ他ノ場合ニ於テ必要アルトキハ水路嚮導ヲ請求スルコトヲ得
前各項ノ船舶ハ水先要求信號ノPT旗ヲ掲ケ又ハ口頭ヲ以テ水先人ヲ海務局ニ請求スヘシ

水路嚮導料ハ別ニ之ヲ定ム

第三條 水路嚮導ヲ要スル船舶ノ船長ハ豫メ運航及操縦ニ關スル準備ヲ整ヘ之ニ要スル一切ノ勞力ヲ水先人ニ提供スヘシ

第四條 水先人職務執行ノ爲メ乗船中ハ當該船舶ニ於テ最モ見易キ場所ニ萬國船舶信號ノT旗ヲ掲ケヘシ

第五條 水路嚮導ヲ要シタル船舶ノ船長ハ船名國籍總噸數所有者名代理店名出入當時ノ各喫水及日時水路嚮導ノ區域ヲ記載シ記名調印シテ之水先人ニ提供スヘシ

第六條 港内ニ入港ノ船舶ハ海務局ノ指定シタル位地ニ就クヘシ但シ汽艇支那形船舶其ノ他ノ小廻船ハ航路又ハ運航ノ妨害トナラサル限り指定ヲ待タズ碇泊スルコトヲ得
海務局長ハ泊地ノ都合ニ因リ外國軍艦ノ碇泊日數ヲ制限シ又ハ入港ヲ拒絕スルコトアルヘシ

第七條 船舶ハ第一號書式ノ交通許可證ヲ受クルニ非サレハ陸地又ハ他船ト交通シ船客船員ノ上陸物件ノ陸揚ヲ爲スコトヲ得ス

第八條 港内ニ於テ其位置ヲ變更セムトスル船舶ハ海務局ノ許可ヲ受クヘシ但シ危急ニ際シ許可ヲ受クルノ違ナキ場合ハ此ノ限ニアラス

第九條 海務局長ニ於テ必要ト認ムルトキハ港内ニ於ケル船舶ノ運航ヲ停止シ又ハ泊地ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十條 入港ノ船舶ハ著港後二十四時間以内ニ船舶國籍證書若ハ之ニ代ルヘキ證書及船員名簿ヲ添ヘ第二號書式ノ著港届ヲ海務局ニ提出スヘシ
前項ニ據リ提出シタル船舶ノ書類ハ出港手續ヲ終ル迄海務局ニ保管スルモノトス

第十一條 出港セムトスル船舶ハ出港一時間前迄ニ第三號書式ノ出港届ヲ提出シ第四號書式ノ出港許可證ヲ受クルニ非サレハ出港スルコトヲ得ス
前項ノ船舶ハ出港二十四時間前ヨリ出帆旗ヲ前橋頭ニ掲ケヘシ

第十二條 入港後二十四時間以内ニ出港セムトスル船舶及關東州沿岸ノミナ航行スル船舶ハ著港届ノ外船長又ハ代理者ヨリ保證狀ヲ提出シ第十條ニ規定セル書類ニ代フルコトヲ得

第十三條 出港許可證ヲ受ケタル後二十四時間以上碇泊スル船舶ハ第十條及第十一條ノ手續ヲ經テ更ニ出港許可證ヲ受クルニ非サレハ出港スルコトヲ得ス但シ荷役ヲ爲サレ場合ハ此ノ限ニアラス

第十四條 海務局ニ於テ指定シタル地點ノ外貨物ノ積卸ヲ爲シ又ハ乗客船員ノ上陸又ハ乗船ヲ爲スコトヲ得ス

第十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル船舶ハ西港以外ノ第三區ニ假泊シ檢疫信號ヲ掲ケテ海務局吏員ノ指揮ヲ受クヘシ

一 現ニ傳染病若ハ之ニ疑ハシキ患者又ハ死者アルモノ

二 航海中傳染病若ハ之ニ疑ハシキ患者又ハ死者アリタルモノ

三 傳染病流行地ヲ發シ又ハ其ノ地ヲ經テ來航シ若ハ傳染病毒ニ汚染シタル船舶ト交通シ其ノ他傳染病毒ニ汚染シタル疑アルモノ

檢疫信號ハ晝間ハ船舶ノ前橋頭ニ黃旗ヲ掲ケ夜間ハ同所ニ紅白二燈ヲ上下ニ連掲スルモノトス
傳染病ト稱スルハ虎列刺痘瘡猩紅熱ニバストトヲ謂フ

第十六條 入港後前條ノ傳染病及赤痢腸窒扶私、バラ窒扶私、發疹窒扶私、實布埤里亞若ハ之ニ疑ハシキ患者ヲ發生シタルトキハ檢疫信號ヲ掲ケ海務局吏員ノ指揮ヲ受ケ更ニ第一號書式ノ交通許可證ヲ受クルニ非サレハ陸地又ハ他船ト交通シ船客船員ノ上陸物件ノ陸揚ヲナスコトヲ得ス入港後傳染病毒ニ汚染シ若ハ汚染ノ疑アル事實ヲ發見シタルトキ亦同シ

第十七條 海務局長ニ於テ必要ト認ムルトキハ船内ニ臨檢シ船員及船客ノ健康診斷ヲ施行スルコトヲ得

第十八條 牛羊及其ノ他ノ獸類又ハ其ノ屍體生肉皮革毛骨類ヲ搭載セル船舶ニ對シ海務局長ニ於テ必要ト認ムルトキハ何時ニテモ臨檢シ消毒若ハ隔離其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第十九條 海務局長ハ船舶ニ對シ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

- 一 現ニ傳染病患者若ハ死者アルモノハ停船ヲ命シ患者死者ノ處分ヲ指示シ船舶其他ノ物件ノ消毒方法若ハ鼠族ノ驅除ヲ施行シ且必要アリト認ムルトキハ一定ノ期間乗客船員ヲ檢疫所又ハ船内ニ停留スルコト
- 二 航海中傳染病患者若ハ死者アリタルモノハ第一號ノ規定ニ準シテ處分スルコト
- 三 傳染病流行地ヲ發シ又ハ其ノ地ヲ經テ來航シ若ハ傳染病ニ汚染ノ疑アル船舶ニシテ必要アリト認ムルトキハ第一號ノ規定ニ準シテ處分スルコト
- 四 停船中傳染病患者ヲ發生シタルトキハ更ニ第一號ノ規定ニ依リ處分スルコト
- 五 必要ト認ムルトキハ消毒ノ爲指定ノ地點ニ廻航ヲ命スルコト
- 六 傳染病ノ疑アル患者アルトキハ二日ヨリ多カラサル期間停船ヲ命スルコト
- 七 發航地若ハ寄港地ノ狀況又ハ船舶ノ狀態ニ依リ消毒方法又ハ鼠族ノ驅除ヲ施行スルコト

第一號ノ停船期間ハ消毒ノ施行ヲ終リタル時ヨリ起算シ「ベスト」ハ十日間、虎列刺ハ五日間トス但シ第三號ノ場合ニ於テハ傳染病流行地ヲ發シ又ハ其ノ地ヲ經過シ若ハ傳染病ニ汚染シタリト疑フヘキ事實アリタルトキヨリ起算ス

第二十條 船舶物件ノ消毒費、停留人ノ食費、患者死者ニ關スル費用ハ船長又ハ其ノ代理者ヨリ之ヲ納付スヘシ

第二十一條 關東州外ニ出航セムトスル船舶ハ健全證書ノ交附ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ申請アリタルトキハ海務局長ハ其ノ船舶ノ健康狀態ヲ檢閲シ第五號書式ノ健全證書ヲ交附スヘシ

第二十二條 港内ニ入港セムトスル船舶ニシテ常用ノ外ニ爆發物若ハ容易ニ燃燒スヘキ物件ヲ搭載セルトキハ旅順港規則第四條ニ據リ表示スヘキ信號ノ外晝間ハ赤旗夜間ハ紅燈ヲ前掲又ハ見易キ場所ニ掲ケ西港以外ノ第三區アルトキハ其ノ錨地ニ在リテ海務局吏員ノ指揮ヲ受クヘシ但シ特ニ許可ヲ得タルモノハ此ノ限ニアラス

前項ノ爆發物ト稱スルハ「ブラスチングセラチン」彈藥包、爆發管「ダイナマイト」煙火導火管「ゼリグナイト」「ナイトログリセリン」火藥、縮火藥、無煙火藥、雷管ノ類ヲ謂ヒ容易ニ燃燒スヘキ物件ト稱スルハ生石油、アルマ油、ラングアン石油、ナフタ、的列並底

油、依的兒、偏蘇兒、石油偏陳、マセトシ、酒精及硫化炭素ノ類其ノ他華氏九十五度以下ノ熱度ニ因リ發火スヘキ氣體ヲ發スルモノヲ謂フ

船舶ニ備付ケタル大砲一門毎ニ火藥五十發分導火管類七十箇小銃一挺毎ニ彈藥百發分、雷管百五十箇及積載船舶相當量ノ信號用榴彈火箭、煙管、救命焰等ニシテ適當ニ格納セラレタルモノヲ除クノ外爆發質ノ物件ハ總テ之ヲ常用外ト看做ス

容易ニ燃燒スヘキ物件ハ船舶所用ノ目的ヲ證明シ得ルモノ、外總テ之ヲ常用外ト看做ス

第二十三條 港内ニ於テ前條ニ規定セル爆發物若ハ容易ニ燃燒スヘキ物件ヲ積卸セムトスル船舶ハ其ノ品名數量ヲ海務局ニ届出テ特ニ指定セラレタル場所ニ就キタル後ニ非サレハ之ヲ取扱フコトヲ得ス

前項ノ物件ヲ搭載セル船舶ハ在港中前條ニ規定セル赤旗又ハ紅燈ヲ掲ケヘシ

第二十四條 火氣ヲ有スル汽艇又ハ端舟ニシテ赤旗又ハ紅燈ヲ掲揚スル艦船ノ近傍ヲ運航スル場合ニハ安全ナル距離ヲ保チ成ルヘク風下側ヲ航行スヘシ若シ已ムヲ得ス風上側ヲ航行スル場合ニハ充分安全ナル距離ヲ保ツヘシ

第二十五條 港内ニ於テ曳船ヲナスニハ海務局長ノ許可ヲ受ケタルトキノ外左ノ制限ニ從フヘシ

- 一 端舟及荷舟ヲ曳クトキハ曳船ノ船尾ヨリ最後ノ被曳船ノ船尾ニ至ルマテノ距離ハ晝間ニ在リテハ六十間夜間ニ在リテハ三十間ヲ超ユヘカラス
- 二 端舟及荷舟ハ前號ノ距離ヲ超エサル限リ二隻宛並列シテ曳クコトヲ得
- 三 航洋船ヲ曳ク場合ハ一隻ヲ超ユヘカラス

第二十六條 碇泊中ノ船舶ハ其ノ後端ニ艇船竹木其ノ他ノ物件ヲ繫留シ水路ノ妨害ヲナスヘカラス

外國軍艦ニ在テハ汽艇又ハ端舟一隻ニ限リ繫留スルコトヲ得但シ其ノ艦ノ幅ヲ超エサル限リ並列繫留ヲ妨ケス

第二十七條 港内ニ於テ多數ノ竹木筏其ノ他ノ物件ヲ水上ニ船卸セムトスルトキ又ハ港内ニ繫留シ若ハ運行セムトスルトキハ海務局ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テ夜間ハ海上衝突豫防法第五條第十條及第十一條ノ規定ニ準シ燈火ヲ掲ケヘシ

第二十八條 船舶ハ港内ニ於テ棧橋又ハ浮標ニ繫留スル場合ヲ除ク外總テ雙錨ヲ投シテ碇泊スヘシ錨ニハ浮標ヲ附スヘカラス

第二十九條 汽艇、艇船、端舟及其ノ他ノ小廻船ハ航洋船ノ航路ヲ避ケヘシ

第三十條 港内運航中ノ船舶ハ針路ヲ保ツニ必要ナル速力ニ止ムヘシ

前項ノ船舶ハ總テ追越チナスベカラス但シ汽艇其ノ他ノ小廻船ニシテ危險ノ虞ナキ場合ハ此ノ限ニアラス

第三十一條 港内ニ於テハ別ニ指定シタル區域ノ外許可ヲ受ケルニ非サレハ漁撈採藻チナスコトヲ得ス

第三十二條 港内ニ於テ濫リニ水泳チナスヘカラス但シ外國軍艦ハ此ノ限ニアラス

外國軍艦ニシテ其ノ乗員ニ水泳チナサシメムトスルトキハ救助艇ニ竿チ樹テ之ニ救命浮標チ掲ケ其ノ救助艇ト該艦ノ首尾トチ接合シタル直線以內ヲ水泳區域トナスヘシ

船舶ハ水泳區域ヲ運航スヘカラス

第三十三條 繫留ノ爲設置シタル浮標其ノ他ノ營造物ノ外船舶其ノ他ノ物件チ繫留スルコトヲ得ス

第三十四條 浮標、立標其ノ他ノ營造物チ毀損又ハ滅失セシメタルトキハ其ノ損害ハ船舶ニ在リテハ當該船長チシテ之ヲ辨償セシム

第三十五條 港内海面及其ノ海岸竝之ニ注入スル水流ニハ塵芥其ノ他ノ物件チ棄棄スルコトヲ得ス

船舶ニシテ塵芥灰燼其ノ他ノ物件チ處分スル爲解船ヲ要スルトキハ萬國船舶信號ノF旗又ハ藍チ掲ケヘシ

前項解船ニ要スル費用ハ船長ノ負擔トス

第三十六條 石炭其ノ他海底ニ堆積スヘキ虞アル物件チ積卸スルトキハ之ヲ水中ニ墜落セサルコトニ注意スヘシ

第三十七條 郵便物搭載ノ船舶ハ入港ノ時ヨリ郵便物陸揚ヲ終ルマテ郵便旗チ掲ケヘシ

第三十八條 船舶ハ海務局吏員及警察官吏ノ臨檢ヲ拒ムコトヲ得ス

第三十九條 在港中ノ船舶ニシテ警察官吏ノ救援ヲ要スル場合ハ晝間ハ萬國船舶信號ノG旗チ掲ケ夜間ハ藍火又ハ閃火チ示スヘシ

第四十條 在港中ノ船舶ニシテ火ヲ失シタルトキハ時鐘若ハ之ニ類似ノ振鳴器チ連打シ又ハ汽笛チ連吹シ晝間ハ萬國船舶信號ノNM旗チ掲ケ夜間ハ號火、火箭等チ用ヒ見易キ發火信號チナシ且斷ニス紅燈チ上下スヘシ

船舶危急ノ場合ニ遭遇シ救助ヲ要スルトキ亦同シ但シ晝間ハ萬國船舶信號ノNC旗チ掲ケヘシ

第四十一條 海務局長ハ港内ニ於テ船舶ニ危害チ及ホスノ虞アル難破物棄棄物其ノ他ノ物件ハ期間チ指定シ義務者チシテ之

ヲ取除カシメ又ハ破壊セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ義務者其ノ義務チ履行セサルトキハ海務局長自ラ之ヲ執行シ又ハ第三者チシテ執行セシメ其ノ費用ハ義務者ヨリ之ヲ徴收スルコトヲ得

第四十二條 本令中第十六條乃至第十九條第三十八條ノ規定ハ第一區及第二區ニ第六條乃至第十三條第二十六條第二十七條第二十九條第三十條第三十三條第三十四條第三十九條第四十條ノ規定ハ旅順港細則第七條ノ海面ニ第七條第十條乃至第十三條第十六條乃至第十九條第二十三條第三十七條乃至第四十條ノ規定ハ西港以外ノ第三區ニ之ヲ準用ス

第四十三條 本令中第二條第六條第一項第八條第九條第十五條第十六條第二十條第二十八條第三十條第三十二條第三十三條第三十五條第三十六條ノ規定ハ外國ノ軍艦ニ之ヲ準用ス

第四十四條 外國ノ軍艦ニシテ本令第十五條第一號乃至第三號ノ事實アルモノ又ハ第十六條ノ患者チ發生シタルトキハ海務局長ハ艦長ト協議シ本令ノ規定ニ準シ處分スルモノトス

第四十五條 本令第十條乃至第十三條ハ汽艇支那形船及其ノ他ノ小廻船ニ適用セス

第四十六條 旅順港境域内ニ於テ左ノ事項チ新營又ハ變更移轉セムトスル者ハ關東都督ノ許可ヲ受ケヘシ

一 棧橋ノ架設及埠頭ノ築造

二 河床ノ變更河川海面ノ埋立浚渫海岸ノ掘鑿及河岸ニ於ケル石垣ノ築造

三 道路運河溝渠墜道ノ開通及橋梁鐵道ノ架設

四 地盤ノ開鑿及埋築

五 森林ノ伐採

六 旅順港ノ水域内ニ發著スヘキ海運營業

七 浮標、立標其ノ他航路標識ノ設置

八 第一區第二區及西港ノ沿岸ニシテ水面又ハ海軍用地チ距ル七百五十間以內ニ於ケル家屋倉庫及諸般ノ築造物ノ新築

第四十七條 本令ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

船舶ニ在リテハ前項ノ規定ハ船長又ハ船長ニ代リ其ノ職務チ行フ者ニ之ヲ適用ス

前項ニ據リ科シタル罰金又ハ科料及本令ニ據リ負擔スヘキ費用ヲ完納スルカ又ハ相當ノ擔保物ヲ提供スルニアラサレハ其ノ船船ノ出港ヲ許サス

(告第二三一五號第七二六七項)

三二〇頁

旅順港白玉山表忠塔ノ點燈

一記事 明治四十四年五月六日ヨリ旅順港白玉山表忠塔ニ毎夜白熱電燈ヲ點スト云フ

一位置 表忠塔

北緯三八度四八分三六秒

東經一二一度一四分四六秒

一燈高 五八一呎

一注意 此燈火ハ九箇ノ二百燭光電球ヨリ成リ電球ニ故障アリテ燈數減スルコトアルモ全部

消滅スルカ如キコトナカルヘシ

圖上ニ記セル忠魂碑ナル文字ヲ此際表忠塔ト改記スルヲ要ス

(告第二三四六號第七三九五項)

三二二頁

旅順港繫船浮標番號ノ變更

一記事 最近接手ノ報告ニ據レハ旅順港西港内繫船浮標ノ番號ヲ左記ノ如ク變更セリ

一變更番號 四番ヲ三番ニ、六番ヲ四番ニ、七番ヲ五番ニ、八番ヲ六番ニ變更ス

(告第二三二九號第七三二四項)

三二二頁

旅順港繫船浮標ノ設置

一記事 最近接手ノ報告ニ據レハ旅順港西港内左記ノ位置ニ繫船浮標(紅塗)二箇ヲ設置セリ

一位置

七番浮標ヨリ

〔白玉山低燈ハ

北三六度東 距離約三ノ四鏈

八番浮標ヨリ

〔白玉山低燈ハ

北三八度二〇分東 距離約三ノ五鏈

〔黄金山信號杆ハ

南五四度東

白玉山低燈

北緯三八度四八分一八秒

東經一二一度一四分四七秒

一偏差

明治四十四年四度三五分西

(告第二三二五號第七三一一項)

三二二頁

旅順港口繫船浮標ノ新設

一記事 最近接手ノ報告ニ據レハ旅順港口ニ左記ノ如ク繫船浮標ノ設置アリ

一位置

〔一浮標ヨリ 老虎尾燈臺ハ

北四二度西 距離五鏈半弱

〔黄金山西方ノ信號杆ハ

北一一度三〇分西

〔二浮標ヨリ

〔一浮標ハ

北 距離一鏈半

老虎尾燈臺ハ

北三三度一〇分西

老虎尾燈臺
北緯三八度四八分
東經一一一度五分
紅塗鐵造繫船浮標
明治四十四年四月二十五分西
(告第二三八一號第七五七六項)

三三四頁

普蘭店港 (Port Adams) 内淺灘ノ發見

一位置 淺灘 (細沙) ヨリ 窟窿砵子 (Entry I) △ハ 南七度三五分西 距離二哩 $\frac{1}{2}$ 鍾
兔島 (Fraser I.) 南端ハ 北五四度一五分西

北緯三九度一七分五二秒
東經一一一度三四分三〇秒

一水深 一尋半
一偏差 明治四十四年四月四三分西

(告第二三四一號第七三七一項)

四一二頁

一記事 (一) 白河第三號運河 (刑家庄ト楊家場トノ間) ノ竣成
白河第三號運河ハ既ニ竣成シ船舶航行シ得ルニ至レリ
一位置 刑家庄 北緯三九度一分四〇秒
東經一一七度二〇分一四秒

四一七頁

(告第二三四一號第七三七二項ノ内)

(一) 大沽燈船ノ燈色

一記事 大沽燈船ノ燈色ハ紅ニアラスシテ白ナリ
一位置 北緯三八度五七分三七秒
東經一一七度五二分一八秒

(告第二三四一號第七三七二項ノ内)

四一七頁

(二) 大沽燈船發光時間等ノ變更

一變更 每三十秒ヲ每十秒ニ照光器ノ反射ヲ第四等折射ニ變更ス
(告第二三七八號第七五五八項ノ内)

四一八頁

(一) Fort 燈臺燈質ノ變更

一位置 北緯三九度〇分
東經一一七度四二分
一變更 明暗ヲ複連明暗明十六秒暗二秒明二秒暗二秒ニ變更ス
(告第二三七八號第七五五八項ノ内)

四四五頁

沙壘田島ノ北東方三尋點灘水深ノ變更

一記事

汽船 *Thompson* 船長ノ報告ニ據レハ沙壘田島ノ北東方ニアル三尋點灘ノ水深ハ左ノ如ク變更セリト云フ

一位置

北緯三八度五九分三〇秒
東經一一八度四三分四五秒

一變更水深

十呎

(告第二三五五號第七四二二項)

支那海水路誌第二卷明治三十八年七月刊行之部

潜水艇ニ關スル警戒

一記事

潜水艇ハ香港近傍ニ於テ恒ニ潜水ノ練習ヲ施行ス
潜水艇練習中ハ一般船舶ヲシテ之レト衝突ヲ避ケシメンカ爲メ其警護船ノ檣頭ニ一
大紅旗ヲ掲揚ス

此信號ヲ認メタル船舶ハ警護船ヨリ少クトモ一哩ヲ隔テ、其船尾ヲ航過スヘシ但シ
止ムヲ得サルトキハ警護船ヨリ危險圈ニ關シ信號旗「セマフォア」信號又ハ傳聲器
ヲ以テ警戒スルマテ微速ニテ警護船ニ近寄ルヘシ其際ハ潜水艇ニ對シ十分ノ見張ヲ
要スヘク潜水艇ノ潜水練習中ハ水上纔ニ其潛望鏡ヲ露出スルノミナルヲ以テナリ

(告第二三四六號第七三九六項)

香港暴風信號掲揚位置變更

一舊位置

九龍半島九龍角水上警察署前面ノ旗竿

一新位置

前記ノ旗竿ヲ距ル遠カラサル一高丘即チ出入船舶信號所

一注意

暴風信號様式等ハ従前ノ通り

右ノ正位置ニ就テハ更ニ告示スル所アルヘシ

(告第二三七七號第七五二七項)

西江一寬河 [The Broadway] 口水深ノ減少及沙堆ノ新生

一記事 寬河口ニ於テ大橫琴島ト三竈島トノ間ニ左記ノ如ク水深ノ減少及沙堆ノ新生アリ

一位置 Morgan point
北緯二二度六分
東經一一三度二九分

(一) 沙堆ノ新生

一位置 沙堆中央ヨリ {Morgan point ハ 北零度四五分東 距離二湮七鏈
Ross I. 北東端ハ 北四一度四五分西

一形狀 該沙堆ハ幅約二鏈ニシテ北々西へ一湮一鏈南東イ東へ一湮一鏈擴延ス
(二) 水深ノ減少

一記事 前記沙堆ト Coffin I. トノ間及該沙堆ノ北方ニハ左記ノ如キ淺水アリ

一位置

一呎水深ヨリ {Morgan point ハ 北三九度四〇分東 距離一湮三³/₅鏈
Ross I. 北東端ハ 北七八度三〇分西

五呎水深ヨリ {Morgan point ハ 北一三度四五分東 距離二湮七³/₅鏈
Ross I. 北東端ハ 北二九度西

七呎水深ヨリ {Morgan point ハ 北四度四五分東 距離三湮八鏈
Ross I. 北東端ハ 北二五度西

一偏差 明治四十四年零度二分東

(告第二三六二號第七七七項)

燈臺ノ變更及設置

(一) 澳門燈臺ノ變更

一位置 北緯二二度一一³/₅分

東經一一三度二三分

一變更燈質 每十秒ニ二閃光ヲ發スル連閃白光燈

一燈高 三三三呎〇礎上四十四呎

一光達距離 二十五湮

一等級 第三等

一様式 白塗燈籠及紅塗圓頂閣附圓形塔

一注意 燈臺ノ近傍ニ一信號杆及二三ノ黄色住屋アリ

(二) 燈臺ノ設置

(甲) 位置 澳門半島ノ南西端ニ於テ Guia 砲臺ヨリ南五〇度西距離一湮三鏈半ノ處

一燈質 不動白光燈

一燈高 五十呎〇礎上十呎

一光達距離 六湮

一様式 石造圓柱

(乙) 位置 Guia 砲臺ヨリ南五三度西距離一湮三³/₅鏈ノ處ニアル Barra 砲臺上

一燈質 不動紅光燈

- 一 燈高 三十一呎○礎上十六呎
- 一 光達距離 四哩
- 一 樣式 紅塗鐵造建物
- 一 偏差 一九一一年無

(告第二三三八號第七三五九項)

遮浪岩燈臺ノ點火

一 記事 豫テ建設工事中ノ遮浪岩燈臺ハ今般竣成シ明治四十四年六月三日ヨリ點火ヲ開始セ

リト云フ

- 一 位置 遮浪岩頂
北緯二二度二九分〇秒
東經一一五度二四分一五秒
- 一 燈質 每二十秒ニ三閃光ヲ急射スル連閃白光燈
- 一 燈高 一六〇呎○礎上六十六呎
- 一 光達距離 十九哩
- 一 明弧 陸地ニ遮蔽セラル、部分ヲ除キ南五〇度西ヨリ西ヲ經テ南六二度半東ニ至ル間見ル
ヘシ
- 一 樣式 圓形、花崗石造高三十七呎ニシテ燈塔及守燈房共ニ白塗ス
- 一 等級 第一等

- 一 光力 四十九萬燭
- 一 注意 本燈臺建設工事中假設シタル復連明暗白光燈ヲ廢止ス
- 一 偏差 明治四十四年零度一三分西

(告第二三五〇號第七四一七項)

臺灣海峽北方附近堆ノ發見

一 記事 一九一〇年米合衆國水路部告示第四二號ニ據レハ同國軍艦 *Petal* 艦長ハ左記ノ堆ヲ發見セリト云フ

- (甲) 位置 北緯二五度三〇分一五秒 } 海圖第四四六號ニ據ル
東經一二〇度二五分三〇秒
- 水深 十尋(黑泥)
- (乙) 位置 北緯二五度二九分三〇秒 } 海圖第四四六號ニ據ル
東經一二〇度二七分四五秒
- 水深 十四尋(黑泥)
- 一 注意 右ノ外前記兩位置ノ間ニ於テ二十九尋乃至三十五尋ノ水深ヲ測得セリ

(告第二三〇八號第七二四二項)

支那海水路誌第二卷追補第一

明治四十年十二月刊行之部

五頁

黃埔水道—Bar island 燈竿ノ新設

一位置 First bar islandノ西濱

北緯二三度四分四二秒

東經一一三度二九分一三秒

海圖第四二六號ニ據ル

一燈質 每十六秒ノ折射復連明暗白光燈明十秒暗二秒

一燈高 四十呎

一光達距離 十浬

一樣式 燈竿

一初點期日 明治四十四年二月一日

(告第二三一八號第七二八〇項)

支那海水路誌第三卷明治三十八年十一月第二改版之部

二五頁

一記事 羅星島錨地附近及閩江口ノ水深ニ就テ
最近驗測ノ結果ニ據レハ金牌門ノ直ニ上流ニアル Middle ground ノ近傍ニ於ケル最
少水深ハ大潮ニ十四呎ナリシト云フ

(告第二三三七號第七三五四項ノ内)

二五頁

閩江口金牌浮標ノ設置

一記事 金牌門ノ上流ナル Middle ground ノ南縁ヲ示明スル爲メ左記ノ浮標ヲ碇置セリト云
フ

一位置 金牌門ノ北側ヲ成セル角ヨリ南六九度西距離六鏈半ノ處

北緯二六度八分〇秒

東經一一九度三四分四四秒

一名稱 金牌浮標

一様式 紅塗圓錐形浮標

一水深 十五呎ノ處

一偏差 明治四十四年一度一四分西

(告第二三五〇號第七四一六項)

羅星島錨地附近浮標ノ廢設

(一) 浮標ノ廢撤

一位置 甲) 大嶼△ヨリ北七九度三〇分西距離四¹/₂鏈ノ處ニアル黒塗圓錐形浮標(牛礁浮標)

乙) Pine point ノ一二六呎山ヨリ南二〇度三〇分東距離三¹/₂鏈ノ處ニアル紅塗浮標

(二) 浮標ノ設置

一位置

大嶼△ハ
浮標ヨリ } Pine Pt. ノ一二六呎山ハ
北七九度四〇分東 距離三¹/₅鏈
北四五度五〇分西

一注意

大嶼西方附近ノ水深ハ變更セルヲ以テ海圖第四四七號ノ大改正成ルマテ同圖ヲ用フ
ル者宜シク注意スヘシ

一偏差

明治四十四年一度八分西
(告第二三六四號第七四八七項ノ内)

北關港浮標ノ位置變更

一新位置

北關港口ニアル三尋淺灘上

南關島ノ南角附近ナル其舊位置ヨリ東方距離約一¹/₂哩ノ處

北緯二七度八分三〇秒

東經一二〇度三〇分二〇秒 } 海圖第四〇七號ニ據ル

一様式

紅塗圓錐形浮標
(告第二三六九號第七五一七項)

定海港附近シン、チオ岩(Tsing tio rock)上立標ノ存在

一位置

大嶼(Tsing Tio)ノ北角ヨリ北方三鏈ノ處ニアルシン、チオ岩上
シン、チオ岩

北緯二九度五九分

東經一二二度七分

一様式

十字形ニ交叉セル鐵ノ平板ヲ冠スル鐵杆
(告第二三六八號第七五〇九項)

圖誌上燈臺ノ記入

一記事

最近ノ調査ニ據リ圖誌上左記燈臺ノ記入ヲ要ス
太平島ノ北西隅ニアル高二七〇呎山頂

一位置

北緯三八度四分

東經一二一度四九分

一名稱

太平島燈臺

一燈質

不動白光燈

一等級

第六等

一様式

白塗建物

一注意

私設燈

(告第二三五六號第七四五〇項ノ内)

一一四二頁

Steep island 燈臺霧笛ノ設置

- 一 記事 Steep island 燈臺ニ第一等霧笛ヲ設ケ明治四十四年六月七日以降吹鳴ヲ開始スト云フ
- 一 位置 北緯三〇度一三分 東經一二二度三五分
- 一 吹鳴 每一分半ニ同調ヲ以テ長短二聲ヲ左ノ如ク連吹ス
長聲六秒 沈黙三秒 短聲三秒 沈黙七十八秒
- 一 高 海面上約一四七呎
- 一 注意 此霧笛ノ吹鳴ヲ試験セシニ南方ヘハ聞エサルモ北方ヘハ六湮ノ距離マテ聞エタリ
尙ホ當分ノ内南方ヨリ本燈臺ニ近ツク船舶ニ對シテハ従前ノ通り霧砲信號ヲ行フモ
北方ヨリ近ツク船舶ニ對シテハ之ヲ行ハス

(告第二三四七號第七三九九項)

支那海水路誌第四卷

明治三十九年六月第二改版

之部

一一三頁

沙尾山島附近試設掛燈水中打鐘浮標ノ撤去

- 一 位置 沙尾山島ヨリ南六六度東距離約一%湮ノ處舊位置ハ沙尾山島ノ東方約二湮ノ處
沙尾山島 北緯三一度二五分半 東經一二二度一三%分
- 一 注意 此浮標ハ通航船衝突ノ爲メ沈没セリ但シ再置セサルヘシ
- 一 偏差 一九一一年三度西

(告第二三三二九號第七三二三項)

一一七頁

崇寶沙檢疫立標ノ位置變更

- 一 記事 崇寶沙ノ北西部ニアル檢疫立標ヲ左記ノ位置ニ移置セリ
- 一 變更位置 (一) 崇寶沙檢疫立標
吳淞燈臺ヨリ北四一度四七分東距離約三%湮ノ處
北緯三一度二五分五八秒 東經一二一度三二分三〇秒
- 一 偏差 明治四十四年三度西

(告第二三三四號第七三〇四項ノ内)

崇明港浮標位置ノ變更

一記事

崇明港浮標ハ今般左記ノ位置ニ碇置シ而シテ挂燈浮標ハ本年九月二十三日ヨリ點火セリト云フ

一新位置

(一)東口浮標(紅塗、瓦斯挂燈)

Washway beacon ヨリ北一度西距離四 $\frac{1}{2}$ 哩ノ處

上航船ノ爲メニ新水道ノ右舷側ヲ示明ス

(二)第一港浮標(黑塗、圓筒形目標附)

Washway beacon ヨリ北二七度半西距離四 $\frac{1}{2}$ 哩ノ處

上航船ノ爲メニ新水道ノ左舷側ヲ示明ス

(三)第二港浮標(紅塗、瓦斯挂燈)

Washway beacon ヨリ北三六度半西距離五哩半鐘ノ處

上航船ノ爲メニ新水道ノ右舷側ヲ示明ス

(四) West Spit 浮標(紅黑縱線塗、瓦斯挂燈)

Washway beacon ヨリ北六五度半西距離七 $\frac{1}{2}$ 哩ノ處

上航船ノ爲メニ新水道ノ左舷側ヲ示明ス

Washway beacon

北緯三一度二六分半

東經一二一度三四 $\frac{1}{2}$ 分

一注意

新水道ノ水深ハ二十呎乃至二十五呎ナリ尙ホ海圖第四〇〇號ノ大改正成ルマテハ同

一偏差

圖ヲ用フル者宜シク注意スヘシ
明治四十四年三度西

(告第二三七〇號第七五二四項)

一位置

Middle Ground Upper 挂燈浮標ノ燈質ニ就テ
北緯三一度一六分

東經一二一度四六 $\frac{1}{2}$ 分

一燈質

毎五秒ノ明暗白光燈ナリ

(告第二三五〇號第七四一五項)

Blockhouse 挂燈浮標及檢疫錨地下浮標ノ位置變更

一記事

Ya wo sha ノ上端對面ニアル Blockhouse 挂燈浮標及崇實沙ノ南西方ニアル檢疫錨地下浮標ヲ左記ノ位置ニ移置セリ

一變更位置

(一) Blockhouse 挂燈浮標

現位置ヨリ南二五度西距離一 $\frac{1}{2}$ 鐘ノ處

北緯三一度二二分五九秒

東經一二一度三七分四秒

(三) 檢疫錨地下浮標

現位置ヨリ南六六度西距離二鐘半ノ處

北緯三一度二四分二九秒

東經一二一度三二分一二秒

一偏差

明治四十四年三度西

(告第二三二四號第七三〇四項ノ内)

一〇四頁

南東嘴ノ擴延及 Dove's Nest Lower 浮標ノ位置變更

一記事

最近ノ驗測ニ據レハ南東嘴ハ擴延シ又 Dove's Nest Lower 浮標ハ六尋界ヲ示明スル爲メ其位置ヲ左記ノ如ク變更セリト云フ

一新位置

舊位置ヨリ西南西距離一鏈半ノ處

一偏差

明治四十四年三度二分西

(告第二三七三號第七五三四項)

燈臺燈高ノ改正等

一記事

最近ノ調査ニ據リ圖誌上左記ノ通り燈臺ノ訂正及記入ヲ要ス

燈臺通號	設置之地	燈色	燈質	構造	光達 湮數	高潮面上燈 火之高呎	初點 之年	記 事
Bate point	鰻魚洲 (Beaver island)				49			高潮面上ノ燈高 改正
Beaver island	ノ北端ニ近 キ處				60			全上
丹徒	Espegle Rk ノ上流五湮 ノ處				87			全上

一一五頁
一一六頁
一一八頁
一二〇頁
一二二頁

Consular bluff	江ノ南岸	紅	不動	白塗柱	2		1906	水底電線ヲ標示 ス圖誌ニ新ニ記入 スルヲ要ス
北新洲 ペーシンチャウ	北新洲ノ東 端ヨリ上方 約七鏈半ノ 處				58			高潮面上ノ燈高 改正
Bethune point	北新洲ノ西 端				43			全上
Mud Fort point	嚙子磯ノ對 面				50			全上

(告第二三五六號第七四五〇項)

支那海水路誌第五卷上 明治四十一年三月第一改版 之部

一八六頁

Langsar bay — Pulo Pasir Puti 燈臺ノ廢止

一位置 北緯四度三二分半

東經九七度五九分

一燈質 白閃光燈

(告第二三五三號第七四三二項)

一八七頁

Langsar bay 挂燈浮標ノ設置

(I) Langsar channel 附近

一位置 Pulo Pasir Puti 燈臺ヨリ北五一度東距離六 $\frac{1}{2}$ 哩ノ處

Pulo Pasir Puti

北緯四度三二分半

東經九七度五九分

一様式 明暗白光ヲ顯ス紅黑橫線塗挂燈浮標

一注意 從前碇置シアリタル球形目標附黑塗圓錐形航路浮標ヲ撤去ス

(II) Birim channel

(甲) 位置 Pulo Pasir Puti 燈臺ヨリ北四一度東距離五哩ノ處

様式 明暗白光ヲ顯ス白塗挂燈浮標

注意 従前碇置シアリタル第二號白塗圓錐形浮標ヲ撤去ス
 (乙)位置 Pulo Pasir Puti 燈臺ヨリ北三〇度東距離三湮四鏈半ノ處
 様式 明暗白光ヲ顯ス黒塗挂燈浮標
 注意 Birim channel 内ノ浮標番號ハ海方ヨリ數ヘテ右舷浮標ハ二ヨリ十二至リ左舷浮標ハ一ヨリ十一ニ至ル
 一偏差 一九一一年無
 (告第二三四三號第七三八三項)

一八七頁

Langsar bay 挂燈浮標ノ設置

一位置 Birim channel 内ニ於テ Pulo Pasir Puti 燈臺ヨリ北四五度西距離一湮八鏈半ノ處
 Pulo Pasir Puti
 北緯四度三二分半
 東經九七度五九分
 一様式 不動白光ヲ顯ス白塗挂燈浮標
 一注意 従前碇置シアリタル第十號白塗圓錐形浮標ヲ撤去ス
 一偏差 一九一一年無
 (告第二三四五號第七三九〇項)

二九〇頁

Great Karimon island ノ西方沈船ノ發見

一位置 北緯零度五九分半
 東經一〇三度一五分半
 一沈船 橋ヲ水面上ニ約六呎露出ス
 (告第二三七六號第七五四九項)

三六二頁

Penang harbour 淺灘ノ發見

一位置 淺灘ヨリ { Swettenham pier ノ南端ハ 北一二度東 距離四 $\frac{1}{2}$ 鏈
 電燈會社ノ煙突ハ 南八〇度西
 Swettenham pier
 北緯五度二四分半
 東經一〇〇度二〇 $\frac{3}{4}$ 分
 一水深 一 $\frac{1}{4}$ 尋
 一偏差 一九一〇年一度東
 (告第二三三四號第七二六六項)

四〇八頁
四一二頁

燈臺燈高等ノ改正

一記事 最近ノ調査ニ據レハ左記燈臺燈高等ノ改正左ノ如シ

燈臺通號	光達湮數	高潮面上燈火之高呎
Selangor river	22	241
Pulo Angsa		117

(告第二三六三號第七四八二項ノ内)

四六〇頁

Pulo Pisang ノ南西方沈船ノ發見

一位置

Pulo Pisang 燈臺ヨリ南五三度西距離一哩ノ處
Pulo Pisang 燈臺

北緯一度二八⁴/₁₀分

東經一〇三度一五分半

一記事

沈船ハ汽船 *Mersing* ニシテ水深四尋ノ處ニ沈没シ其橋ヲ水面上ニ露出ス
一九一一年一度東

一偏差

(告第二三七九號第七五六二項)

四六四頁

Tree island (樹島) 燈臺ノ建設中

一位置

Tree island ヨリ北西ニ擴延セル礁脈ノ北端

北緯一度九分三〇秒

東經一〇三度三九分四二秒

海圖第六二七號ニ據ル

一注意

海圖上前記位置ニ「燈臺建設中」ノ文字ヲ記入スヘシ
(告第二三八二號第七五八〇項)

四六五頁

Round island (Tekong Kechil) 燈臺ノ設置

一位置

Round island 頂ヨリ南一六度東距離二鏈半ノ處ニアル孤立礁上

北緯一度六分二九秒

東經一〇三度四三分二六秒

海圖第六二七號ニ據ル

一燈質

毎四秒ノ白閃光燈

一燈高

四十九呎

一光達距離

十哩

一明弧

南二七度東ヨリ南三度東ニ至ル方位間ヲ除ク外ハ見ルヲ得ヘシ

一様式

白塗鐵造框式

一注意

海圖上ニハ Round island ノ南東方ニ孤立礁ヲ記載シアラサルモ多分存在スルモノナ
ラン

一偏差

一九一一年一度東

(告第二三七四號第七五四三項)

四七五頁

新嘉坡海峽西口附近淺灘ノ發見

1) Salat Sinki 北側ノ暗礁及淺灘

甲) Cyrene shoal 北方ノ四尋淺灘

一位置

淺灘ヨリ { Cyrene shoal 西立標ハ

南九度東 距離一哩七⁵/₁₀鏈

{ Pulo Bosing 礁脈西端ノ立標ハ

南二七度西

乙) 水深六呎ヨリ淺キ暗礁

一位置

暗礁ヨリ {Cyrene shoal 西立標ハ

南六一度一五分東 距離一哩四鏈半

{Pulo Bosing 礁脈西端ノ立標ハ

南一四度四〇分西

一注意 此暗礁ヨリ南七二度四五分西距離二鏈ノ處ニモ亦暗礁(水深六呎ヨリ淺シ)アリ

(丙)水深六呎ヨリ淺キ暗礁

一位置

暗礁ヨリ {Pulo Bosing 礁脈西端ノ立標ハ

南三度二〇分東 距離一哩五鏈半

{Cyrene shoal 西立標ハ

南八三度三〇分東

(丁)Pulo Sekra Laut 西方ノ一尋半淺灘

一位置

淺灘ヨリ {Sultan shoal 燈臺ハ

南五九度西 距離二哩五鏈半

{Pulo Bosing 礁脈西端ノ立標ハ

南五四度一五分東

一注意 以上ノ方位及距離ハ海圖第六二七號ニ據ル

一偏差 一九一一年一度七分東

(告第二三六七號第七五〇一項ノ内)

新嘉坡海峽西口附近淺灘ノ發見

(三)Salat Sembilan 内ノ淺灘

(甲)二三尋淺灘

一位置

淺灘ヨリ {Sultan shoal 燈臺ハ

南二一度四〇分西 距離二哩 $\frac{1}{2}$ 鏈

{Pulo Bosing 礁脈西端ノ立標ハ

南五九度三〇分東

(乙)該淺灘ヨリ南八六度二〇分東距離三 $\frac{1}{4}$ 鏈ノ處ニ四 $\frac{1}{4}$ 尋淺灘アリ

一注意 以上ノ方位及距離ハ海圖第六二七號ニ據ル
一偏差 一九一一年一度七分東

(告第二三六七號第七五〇一項ノ内)

新嘉坡海峽西口附近淺灘ノ發見

(一)本海峽西部 Raffles 燈臺北側ノ淺灘及干出岩

(甲)淺灘

Raffles 燈臺ノ北々東方距離約一哩六鏈ニアル二三尋淺灘ハ尙ホ北西方ヘ約二三鏈ノ幅ヲ以テ約五鏈間擴延ス而シテ其北端及西端ノ水深左ノ如シ

一位置

北端水深二 $\frac{1}{4}$ 尋ヨリ {Raffles 燈臺ハ

南一〇度二〇分西 距離一哩八 $\frac{1}{2}$ 鏈

{Alligator I. 北端ハ

南八七度一〇分西

西端水深四 $\frac{1}{4}$ 尋ヨリ {Raffles 燈臺ハ

南七度四五分西 距離一哩七 $\frac{1}{4}$ 鏈

{Barn I. 北端ハ

南四九度一五分西

(乙)二三尋淺灘

一位置

淺灘ヨリ {Raffles 燈臺ハ

南一度四五分西 距離二哩 $\frac{1}{2}$ 鏈

{Alligator I. 北端ハ

南八一度一五分西

一注意 此淺灘ヨリ南八九度四五分西距離三 $\frac{1}{2}$ 鏈ノ處ニ二三尋半淺灘アリ

(丙)四 $\frac{1}{4}$ 尋淺灘

一位置

淺灘ヨリ {Alligator I. 西端ハ

南二三度西 距離八 $\frac{1}{4}$ 鏈

{Mangrove I. 南端ハ

北八九度四五分東

(丁) 干出岩

一位置

干出岩ヨリ {Raffles 燈臺ハ 南五度四五分西 距離一哩 $\frac{2}{3}$ 鐘
Barn I. 北端ハ 南七九度四五分西

一注意 以上ノ方位及距離ハ海圖第六二七號ニ據ル

一偏差 一九一一年一度七分東

(告第二三六七號第七五〇一項ノ内)

Alligator island 南西方礁脊ノ發見

一位置

該礁脊ヨリ {Raffles 燈臺ハ 南七二度東 距離二 $\frac{2}{3}$ 哩
Pulo Sablu 西端ハ 北一〇度東

Raffles 燈臺

北緯一度一〇分

東經一〇三度四四 $\frac{3}{4}$ 分

一水深

四 $\frac{3}{4}$ 尋

一注意

前記ノ位置ヨリ北五〇度西距離二鐘半及南五二度東距離四鐘半ノ間水深五尋乃至五尋半ノ淺灘擴延ス

一偏差 一九一〇年一度東

(告第二三〇九號第七二四六項)

新嘉坡審檢用錨地區域ノ變更

(一) 西部錨地

一位置

Tanjong Blayer 立標

北緯一度一五 $\frac{3}{4}$ 分

東經一〇三度四八分半

一變更

西部審檢用錨地ノ區域ヲ縮少シ東界ヲ Tanjong Blayer 立標ヨリ南八六度西距離七鐘ニ於ケル一點ヨリ從前ノ東界ニ並行シ南一度東ニ引キタル一線トナセリ

一注意 其他ノ限界ハ從前ノ通り

一偏差 一九一一年一度東

(告第二三三五號第七三四四項ノ内)

新嘉坡泊地内ノ沈船

一位置

Tanjong Katong ヨリ南距離約七鐘半ノ處

Tanjong Katong

北緯一度一七 $\frac{3}{4}$ 分

東經一〇三度五三 $\frac{3}{4}$ 分

一沈船

汽船 Karong ニシテ二橋及煙突ハ水面上ニ露出ス

一注意

該沈船ニハ晝間ハ一紅旗ヲ掲ケ夜間ハ二紅燈ヲ縱掲シテ之ヲ示明ス

一偏差 一九一一年一度東

(告第二三六七號第七五〇四項)

新嘉坡審檢用錨地區域ノ變更

(二) 東部錨地

一位置 Fort Canning

北緯一度一七分半
東經一〇三度五一分

一變更

東部審檢用錨地ノ東界ヲ變更シ新嘉坡燈臺(Fort Canning)ニ設置スノ紅光分弧ノ東界ニ沿フテ同燈臺ヨリ南二五度東ニ引キタル一線トナセリ

北界ハ同燈臺ノ南二五度東距離一哩七。鏈ノ處ナル東界上ノ一點ヨリ南四七度西ニ引キタル一線トス

一注意

西界及南界ハ從前ノ通り
一九一一年一度東

(告第二三三五號第七三四四項ノ内)

新嘉坡海峽東方淺灘ノ不存在

一位置

北緯一度三二分半
東經一〇四度三四分半

一注意

英測量艦 *Waterwich* ハ前記位置ニ圖載セル淺灘ヲ搜索セシモ發見セサリシヲ以テ該淺灘ハ存在セサルモノト認ム依テ該淺灘及「變色水」ナル文字ヲ圖誌上ヨリ削除ス

(告第二三七九號第七五六五項)

支那海水路誌第五卷下 明治四十二年三月第一改版 之部

燈臺光達距離ノ改正

一記事

最近ノ調査ニ據レハ Emma harbour 燈臺ノ光達距離四哩ヲ八哩ニ改正セリ
(告第二三六三號第七四八二項ノ内)

Pasir Gadang 立標ノ撤去

一位置

南緯一度一。四分
東經一〇〇度二一分半

一注意

Pasir Gadang 上ニハ現今椰子樹ヲ生シタルニ因リ立標存置ノ必要ナキニ至レリ
依テ之ヲ削除シ其傍ニ「椰子樹アリ」ト記スルヲ要ス

(告第二三一七號第七二七七項)

Pulo Nias 北方破浪礁ノ不存在

一位置

Pulo Babi 北五六度東距離約五哩半ノ處
北緯一度四四分
東經九七度二九分半

一注意

該礁ハ圖誌上ヨリ之ヲ削除ス
一九一一年無

一偏差

(告第二三七二號第七五二九項)

二一九頁

(1) Pulo Nias ノ西方岩礁ノ不存在

(甲) Aztec reef

一位置 北緯零度五五分

東經九六度四八分

(乙) 破浪アット記セル礁

一位置 北緯零度四五分

東經九七度七分

(告第二三六三號第七四八〇項ノ内)

二一〇頁

(1) Pulo Nias ノ西方岩礁ノ不存在

(丙) Hertog Bernard reef

一位置 北緯零度四〇分

東經九七度二九分

(丁) Penang reef

一位置 Sendrongan ノ南角ヨリ南七〇度東約二哩ノ處

北緯零度四七分

東經九七度二四分半

二二三頁

Pulo Nias 東岸岩礁ノ不存在

(甲) Argo reef (P. D.)

一海圖上ノ位置 北緯零度四二³/₄分

東經九八度三分

(乙) 疑位礁

(戊) 礁
一位置 Bindala ヨリ北七九度東約五哩ノ處
北緯零度五一分
東經九七度二九分
一注意 荷蘭政府ノ測量艦 Van Gogh ハ右ノ諸岩礁ヲ搜索シタレトモ之ヲ發見セス故ニ存在セサルモノト思ハル依テ圖上ヨリ之ヲ削除ス

(1) Pulo Nias ノ西方暗礁ノ發見

一位置 暗礁ノ北端ヨリ { Bindala ハ 北七二度西 距離一哩半
Sendrongan ノ南角ハ 南六七度西

該礁ハ右ノ位置ヨリ一哩ノ幅ヲ以テ南方ヘ二哩擴延ス

二尋

該礁ヲ Gosong Pinang ト稱ス

一注意 一九一一年無

一偏差

(告第二三六三號第七四八〇項ノ内)

一海圖上ノ位置 北緯零度四二³/₄分
東經九七度五九分半

(丙) Valk reef

一海圖上ノ位置 北緯零度二八分半
東經九七度五八分半

一注意 前記ノ三礁ハ海圖ヨリ削除スルヲ要ス

(告第二三二七號第七二七八項)

Pulo Pinie ノ東方淺灘ノ發見

一位置 Pulo Pinie ノ南東角ヨリ北七六度東距離三³/₄哩ノ處

北緯零度六分一〇秒 } 海圖第六〇二號ニ據ル

東經九八度五三分一五秒

一水深 一尋(沙及石花底)

一偏差 一九一一年無

(告第二三七九號第七五六七項)

Belimbing bay 附近破浪ノ發見

(甲)位置 Little Fortune island ノ南東端ヨリ南一四度東距離約一哩半ノ處

Little Fortune island

南緯五度五四分

東經一〇四度二六分半

(乙)位置

Flat cape 燈臺ヨリ南一〇度西距離約一哩ノ處

Flat cape 燈臺

南緯五度五五分半

東經一〇四度三三³/₄分

一注意

海圖上前記各位置ニ○ヲ附シ「破浪ス(一九一〇年)」ト記入センコトヲ要ス

一偏差 一九一〇年無

(告第二三〇九號第七二四七項)

Semangka bay 内破浪ノ發見

一位置 南緯五度三一分半

東經一〇四度三五分半

一注意

海圖上前記位置ニ「破浪(一九一一年報告)」ト記スルヲ要ス

(告第二三七四號第七五四二項)

Batavia roads 試設挂燈浮標

一位置 Tanjung Priok 防波堤ノ東方

南緯六度五分

東經一〇六度五四分

一記事

試設挂燈浮標ハ其數四箇ニシテ不動紅光、不動綠光、紅閃光、綠閃光ヲ顯ス

(告第二三六三號第七四七九項)

Cheribon 附近浮標ノ撤去及轉移

(一) 浮標ノ撤去

一位置 Losari point 北二二度西距離二哩ノ處

南緯六度四五分

東經一〇八度五一分

一様式 白塗圓錐形浮標

一注意 此浮標ハ曩ニ告示シタル如ク挂燈浮標ニ改置スル筈ナリシモ未タ改置セラレサリ

シ

(二) 浮標ノ轉移

一舊位置 南緯六度四六 $\frac{2}{3}$ 分

東經一〇八度四八分

一新位置 南緯六度四六分

東經一〇八度四九分四〇秒

一様式 黑塗圓臺形浮標

一注意 此浮標ハ追テ挂燈浮標ニ變更ノ筈ナルヲ以テ變更濟ノ上ハ更ニ告示スヘシ

一偏差 一九一一年一度東

(告第二三六五號第七四九四項)

Palembang river 口第二號挂燈浮標燈質ノ變更

一位置

南緯二度一三分五五秒

東經一〇四度五五分一五秒

海圖第五八七號ニ據ル

一變更

不動白光燈ヲ每二十秒ノ明暗白光燈明十秒 暗十秒ニ變更ス

(告第二三五三號第七四三一項)

General Elliot reef 燈臺ノ設置及浮標ノ撤去

(一) 燈臺設置

一位置

General Elliot reef ノ南側

南緯二度二分四五秒

東經一〇六度一九分五〇秒

海圖第五九〇號ニ據ル

一燈質

不動白光燈

一燈高

三十四呎

一光達距離

十哩

一様式

白塗框式建物

一注意

此燈臺ハ百二十碼以内ニ近ツクヘカラス

(二) 浮標撤去

一位置

General Elliot reef ノ南側

一様式 截頭圓錐形ヲ冠スル黒塗圓臺形浮標
(告第二三六三號第七四八一項)

六七五頁

Carimata strait 沈船ノ發見

一位置

Serutu islandノ西方

南緯一度四〇 $\frac{1}{4}$ 分

東經一〇八度三四分

一記事

橋ハ水面上ニ約八呎露出ス

(告第二三三九號第七三六二項)

八七四頁

Amphitrite bay 燈臺ノ設置

(一) 燈臺

一位置

Tanjong Datu

緯度零度零分

東經一〇三度四八 $\frac{1}{4}$ 分

一燈質

不動白光燈

一燈高

三十三呎

一光達距離

三哩

(二) 燈臺

九〇二頁

一位置
Tanjong Baku
南緯零度二〇分半
東經一〇三度四六分半
不動紅光燈
二十三呎
一光達距離 未詳
(告第二三三九號第七五六六項)

九〇二頁

South Brother island 燈臺ノ設置

一位置

South Brother island 頂

北緯零度三三分

東經一〇三度四六分半

一燈質

每三十秒ノ白閃光燈閃五秒 暗二十五秒

一光達距離

約二十哩

一注意

此燈臺ノ精位置ハ詳ナラサルヲ以テ「概位」ト附記スルヲ要ス

(告第二三三九號第七五四八項)

九〇三頁

North Brother island 燈臺ノ設置

一位置

North Brother islandノ中央

Richardson reef 挂燈浮標ノ撤去

一位置 北緯零度三七分半
東經一〇三度四五分三三秒

一燈質 北緯零度三七分三三秒 } 海圖第四八三號ニ據ル
東經一〇三度四五分三三秒 }
每三秒ノ折射明暗白光燈明二秒ニシテ紅光分弧ヲ交ユ

一燈高 九十八呎

一光達距離 十五哩

一明弧 北八三度東ヨリ東ヲ經テ南八八度東ニ至ル間ハ紅光ヲ顯シ其他ハ白光ヲ顯ス

一様式 高四十三呎ノ白塗框式建物

一注意 無守人燈

一偏差 一九一一年一度東

(告第二三五二號第七四二六項)

Melville reef 燈臺ノ設置

一位置 Melville reef ノ西緣

一様式 明暗白光ヲ顯ス挂燈浮標

(告第二三五四號第七四三六項)

Middelburg reef 燈臺ノ設置

一位置 Middelburg reef ノ北端

一燈質 北緯零度五一分五八秒 } 海圖第四八三號ニ據ル
東經一〇三度三六分四一秒 }
每三秒ノ折射明暗白光燈明一秒半

一燈高 三十四呎

一光達距離 十哩

一様式 高二十六呎ノ白塗框式建物

一注意 無守人燈

一偏差 一九一一年一度東

(告第二三五二號第七四二八項)

Middelburg reef 燈臺ノ設置

一位置 Middelburg reef ノ北端

一燈質 北緯零度五一分二六秒 } 海圖第四八三號ニ據ル
東經一〇三度三四分二五秒 }
每四秒ノ明暗紅光燈明二秒

一燈高 四十二呎

一光達距離 十哩

一様式 白塗框式鐵造

一注意 無守人燈

從前此礁ヲ示明セシ挂燈浮標ヲ撤去セリ
(告第二三七九號第七五六一項)

支那海水路誌第六卷上明治四十一年 二月第一改版之部

七頁

大風及暴風信號式

一記事

支那上海徐家匯天文臺ニ於テ施行スル大風及颱風信號中改正ヲ施セリ其結果即チ左ノ如シ

今般佛國政府ハ現時清國諸海關ノ「セマフォア」信號所ニテ使用セル大風及暴風信號標式ヲ少シク補足シテ Haifong, Tien sha (Tourane), Padaran 及 Cape St. James ノ各「セマフォア」信號所ニ設置セリ

又左ノ各所ニハ「セマフォア」信號所無シト雖暴風ニ關スル報知ヲ受クルコトヲ得ヘシ Vinh, Dong Hoi, Tourane, Kin hon, Nhatrang 及柴棍

前記各所ハ東京ノ Phulien 天文臺ト連絡シアリテ日々暴風ノ區域ニ關シ通報ヲ受ク

大風及暴風信號式

左記信號ヲ行フ時晝間ハ中央ニ白色星章ヲ有スル紅旗ヲ、夜間ハ紅燈ヲ杆頭ニ掲揚ス
信號ハ一ヨリ六マテノ數ヲ代表セル左記ノ諸形体ヲ以テ之ヲ施行ス

▼ 1. ● 2. ◆ 3. ■ 4. ▲ 5. ▼ 6.

形体ハ暴風信號杆ニ掲揚ス其意義左ノ如シ

大風低氣壓信號

三箇ノ形体ヲ「ヤードーム」ニ掲ケテ中心ノ位置ヲ示ス

二箇ノ形体ヲ他ノ「ヤードーム」ニ掲ケテ中心ノ進行方向ヲ示ス

颱風信號

二箇ノ形体ヲ「ヤードーム」ニ掲ケテ風ノ概方向ヲ示ス

一箇ノ形体ヲ他ノ「ヤードーム」ニ掲ケテ颱風ノ襲來セントスル地方ヲ示ス

第一款 大風低氣壓ノ中心所在地
三形体

南東部地方 (▼ 1. ナ冠ス)		南西部地方 (● 2. ナ冠ス)		中央部南方地方 (◆ 3. ナ冠ス)	
號數	意義	號數	意義	號數	意義
111	Yap-Pelewノ南ト西トノ間 (距離ノ如何ニ拘ラス)	211	交趾支那附近	311	沖繩群島ノ東
112	(Guamノ南ト西トノ間(二百四十哩以内))	212	Paracelsノ南西	312	沖繩群島ノ中央
113	小笠原群島ノ南ト東トノ間距離ノ如何ニ拘ラス)	213	安南附近	313	沖繩群島ノ南東
114	菲律賓諸島東方遙遠ノ地	214	Paracelsト海南トノ間	314	沖繩群島ノ南
115	呂宋ノ南東	215	海南ト安南トノ間	315	先島群島ノ南東
116	呂宋ノ南	216	海南ノ東	316	先島群島ノ南
121	Yapノ南ト東トノ間(二百四十哩以外)	221	HaiiphongトVinhトノ間	321	先島群島ノ南西
122	Sulu Sea	222	安南海灣	322	先島群島ノ北
123	呂宋ノ南西	223	Song Ka三角洲附近(Norway)	323	沖繩群島ノ西
124	呂宋ノ東	224	海南海峽	324	臺灣ノ南東
125	中央呂宋	225	香港ノ南東百二十哩以外	325	Balintang channel
126	呂宋ノ西	226	香港ノ南東百二十哩以内	326	Bashee channel
131	Yapノ南ト東トノ間(二百四十哩以内)	231	Tongkingノ北	331	北緯二〇度乃至二三度
132	Yapノ北ト東トノ間(二百四十哩以内)	232	Tongkingノ北西	332	東經一三〇度乃至一三五度
133	呂宋ノ北東	233	香港ノ南	333	東經一三〇度乃至一三七度
134	呂宋ノ北西	234	香港ノ南西	334	臺灣ノ南西
135	Palawan Is.ノ西	235	Pratas(臺灣水道ノ南)	335	臺灣ノ東
136	Macleesfield Bk.ノ南東	236	澳門附近ノ海岸	335	臺灣ノ中央
141	Yapノ北ト西トノ間(二百四十哩以外)				

142	Yapノ北ト西トノ間(二百四十哩以内)	241	安南ノ北	336	臺灣ノ北東
143	Guamノ南ト東トノ間(二百四十哩以外)	242	安南ノ北西	341	北緯二〇度乃至二三度
144	Macleesfield Bk.ノ南	243	中央安南	342	東經一二五度乃至一三〇度
145	Paracelsノ南	244	海南附近ノ海岸	343	Balintang channelノ東
146	Paracelsノ東	245	香港ノ北西	344	澎湖列島ノ南
151	Guamノ南ト東トノ間(二百四十哩以内)	246	汕頭附近	345	臺灣ノ北
152	Guamノ北ト東トノ間(距離ノ如何ニ拘ラス)	251	安南ノ南西	346	臺灣水道ノ中央
153	Guamノ北ト西トノ間(二百四十哩以内)	252	安南附近	351	臺灣水道ノ北
154	Guamノ北ト西トノ間(二百四十哩以外)	253	交趾支那ノ東	352	那霸ト石垣島トノ間
155	Paracelsノ中央	254	交趾支那ノ北	353	先島群島ノ中央
156	Paracelsノ北東	255	廈門附近	354	臺灣ト石垣島トノ間
161	北緯一五度乃至二〇度	256	緯度二十五度以南ノ海岸	355	烏坵嶼附近
162	北緯一三五度乃至一四〇度	261	TouraneトVinhトノ間	356	牛山島附近
163	東經一三〇度乃至一三五度	262	交趾支那ノ西		福州附近
164	小笠原群島ノ北ト西トノ間(距離ノ如何ニ拘ラス)	263	Tongkingノ北東		
165	小笠原群島ノ南ト西トノ間(二百四十哩以外)	264	暹羅海灣		
166	小笠原群島ノ南ト西トノ間(二百四十哩以内)	265	Pulo Condoreノ南		
		266	Pratasト南澎列島トノ間		

中央部北方地方 (4. ナ冠ス)		北部地方 (5. ナ冠ス)		其他ノ地方 (6. ナ冠ス)	
號數	意義	號數	意義	號數	意義
411	沖繩群島ノ北東	511	北洲ノ南東	611	西江溪野
412	沖繩群島ノ北西	512	日本海ノ北半部	612	上揚子江溪野
413	九州ノ南(大隅海峡)	513	本洲ノ東	613	中央揚子江溪野
414	東引島附近	514	本洲中央部	614	下揚子江溪野
415	温州ノ南東	515	本洲ノ西	615	上黄埔
416	黒山列島ノ南東	516	本洲ノ南東	616	下黄埔
421	黒山列島ノ東	521	日本海ノ南半部	621	中央蒙古
422	浙江省ノ海岸	522	紀伊水道附近	622	支那ノ北
423	舟山叢島ノ南東	523	豊後水道附近	623	Lake Baikalノ西
424	大戢山島ノ南東	524	九州ノ南西	624	Lake Baikalノ南
425	Saddle Is. 附近	525	九州ノ西(長崎)	625	Lake Baikalノ東
426	上海ノ南	526	對馬海峡	626	遼東ノ北
431	東海ノ中央	531	日本海ノ中央	631	西藏即チ西部支那
432	黒山列島ノ北東	532	日本内海	632	支那南西諸省
433	上海ノ南西	533	朝鮮ノ東	633	山東省全部
434	上海ノ東	534	山東省ノ南東	634	朝鮮全部
435	上海ノ西	535	青島ノ南東	635	東部滿州全部
436	上海ノ北東	536	青島ノ南	636	黄海全部
441	土噶刺群島ノ東	541	豊後水道ノ南	641	廣東省ノ北

442	土噶刺群島ノ西	542	紀伊水道ノ南(二百四十哩以内)	642	福建省
443	濟州島ノ南	543	紀伊水道ノ南(二百四十哩以外)	643	浙江省
444	上海ノ北西	544	山東省ノ東	644	日本海
445	上海ノ北	545	山東省ノ北東	645	東海
446	Saddle Is. ト 濟州島 トノ間	546	直隸海峡	646	日本ヲ横過シツ、アリ
451	舟山叢島ノ東	551	駿河海灣ノ南近傍	651	北臺灣ト支那トノ間
452	濟州島ノ西	552	駿河海灣ノ南沖	652	北臺灣ト沖繩群島トノ間
453	濟州島ノ北西	553	横濱ノ南(二百四十哩以内)	653	渤海
454	舊黄河口ノ東	554	横濱ノ南(二百四十哩以外)	654	朝鮮ノ北
455	中央黄海	555	渤海	655	北洲全部
456	江蘇省ノ海岸	556	遼東海灣	656	本洲ノ東
		561	青島ノ南西(百哩以外)	661	中央滿洲
		562	青島ノ南西(百哩以内)	662	滿洲ノ北西(黑龍江)
		563	青島ノ西(百哩以内)	663	黑龍江省
		564	青島ノ北西(百哩以内)	664	樺太
		565	北京ノ南西	665	對馬海峡及南部日本海
		566	北京ノ西	666	沖繩群島ト九州トノ間

第二款

方向信號

大風信號ニ在ツテハ中心ノ進行方向ヲ示ス
颯風信號ニ在ツテハ風向ヲ示ス

二形体

- ▲▲ 北
- ▲■ 北東
- 西
- 北西



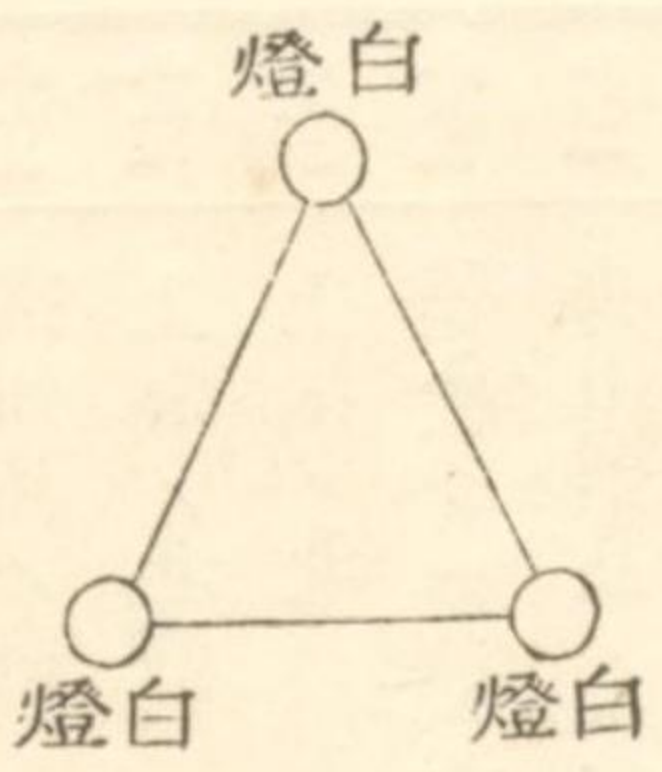
第三款 颶風襲來セントスル地方

一 形体「ヤードーム」ニ掲揚ス

- ▼ 海南海峽ノ南岸
- 海南海峽ヨリ厦門ニ至ル沿岸
- ◆ 臺灣島厦門ヨリ黒山列島ニ至ル沿岸
- ◆ 黒山列島揚子江口ヨリ青島ニ至ル沿岸
- ▲ 山東省、渤海遼東海灣
- △ 朝鮮海岸、日本海

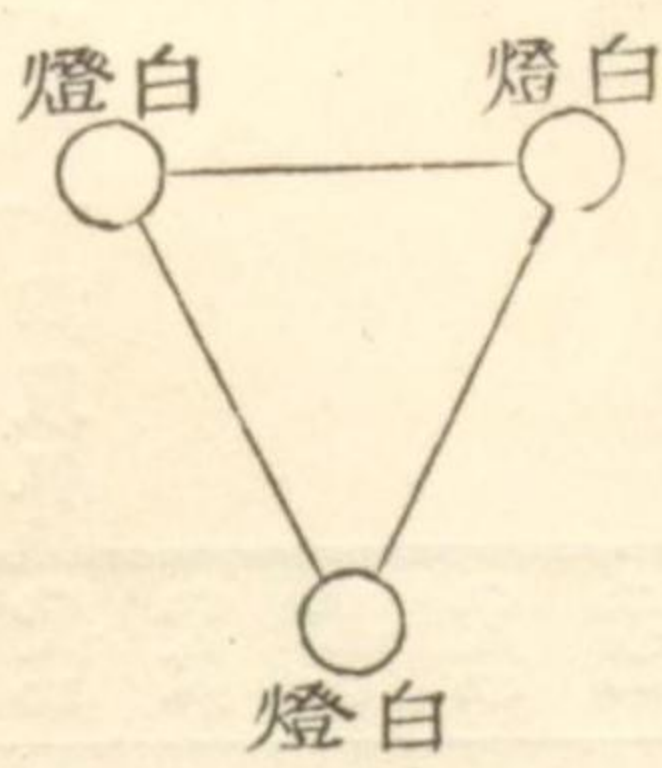
第四款 夜間信號

(一) 颶風

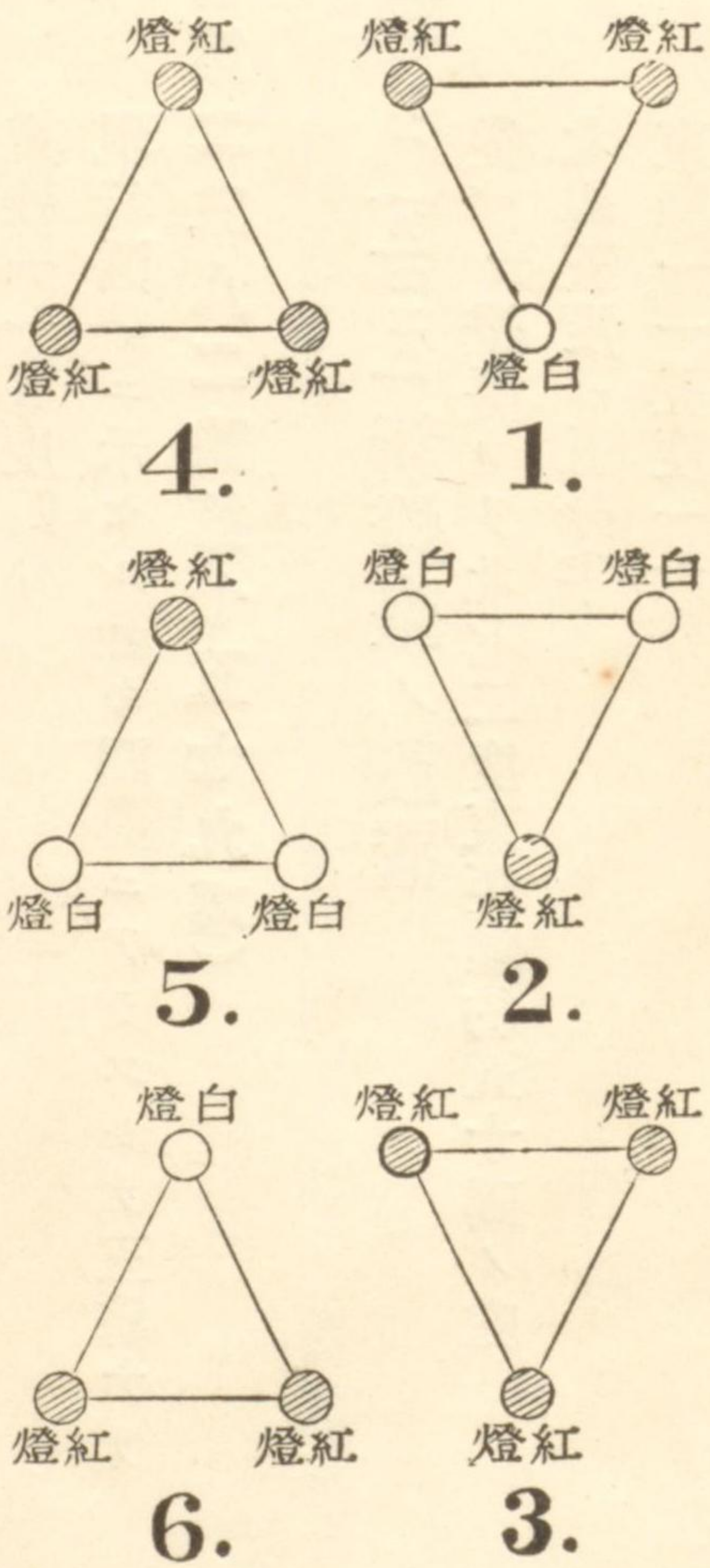


三十度緯線以北ノ海岸ニ襲來セントスル颶風

(二) 大風低氣壓



三十度緯線以南ノ海岸ニ襲來セントスル颶風



本信號ハ大風中心ノ概位置ヲ示ス即チ第一款大風低氣壓ノ中心所在地ノ地方別ト同一ニシテ1.ハ南東部地方2.ハ南西部地方等ノ如シ

(告第二三二七號第七三一七項)

French Indo-China — 佛領商港ニ於テ潜水艇ノ掲揚スル燈火

一 記事 佛國潜水艇ノ佛領商港ニ在ルトキハ夜間其兩端ニ於ケル通常ノ白色碇泊燈ノ外ニ別

ニ一白光燈ノ上ニ二紅光燈ヲ六呎ヲ隔テ、縦掲ス

一 警戒 如何ナル種類ノ船艇ヲ問ハス特別ノ許可ナクシテハ潜水艇ニ接近スルヲ得ス

(告第二三三五號第七三四六項)

French Indo-China — 佛國潜水艇ノ水雷發射演習ニ關スル信號

一 記事

潛水艇ノ水雷發射演習中ハ標的船ニ一大紅旗ヲ掲揚ス
 標的船ハ商船ノ針路カ潛水艇ニ危険ナリト認メシトキハ萬國船舶信號 Σ (即時停止)ノ二旗ヲ掲揚シ尙ホ必要ニ際シテハ發砲ス
 衝突ノ危険ナキニ至ラハ標的船ハ萬國船舶信號 Σ (其儘航行セヨ)ノ二旗ヲ掲揚ス
 標的船ハ一般ニ快速力ノ一傳令船ヲ伴フ而シテ傳令船ハ通航船ニ對シテ叫呼シ若クハ黑板ヲ用ヒテ警告ス

(告第二三四九號第七四一一項)

三三九頁

Abana rock 水深ノ減少

一 位置

北緯五度七分

東經一一五度四分

一 水深

現行圖誌ニ示セル如キ四尋ニアラスシテ三尋ナリ

(告第二三八二號第七五七九項)

三七六頁

Pappan island 新燈臺ノ設置

一 位置

從前ノ燈臺ヨリ北七二度東距離約五十碼ノ處

北緯五度一五分半

東經一一五度一六分

一 設置期日

一九一二年四月十八日頃

一 燈質

每十秒ノ明暗燈^{明七秒 暗三秒}ニシテ白光及紅光分弧ヲ有ス

一 燈高

七十九呎

一 光達距離

十四哩

一 明弧

北五五度東ヨリ北ヲ經テ北七三度西マテハ白光、北七三度西ヨリ西ヲ經テ南二三度西マテハ紅光、南二三度西ヨリ南一三度西マテハ白光、南一三度西ヨリ南及東ヲ經テ北五五度東マテハ紅光ヲ顯ス

第四等

紅塗框式塔

從前ノ不動白光燈ヲ廢止ス

一九一二年二度東

(告第二三五二號第七四二七項)

Barat bank 浮標ノ設置

一 位置

Barat bankノ南端ニ於テ Rusukan Besar island 頂ヨリ南五四度西距離三 $\frac{1}{2}$ 哩ノ處

一 樣式

北緯五度一一 $\frac{1}{4}$ 分

一 注意

東經一一五度八分半

一 偏差

白塗圓錐形浮標

一 樣式

白塗圓錐形浮標

一 樣式

白塗圓錐形浮標

一 樣式

白塗圓錐形浮標

一 樣式

白塗圓錐形浮標

一偏差

一九一一年三度東

(告第二三四三號第七三八〇項)

支那海水路誌第六卷上追補第一

明治四十二年三月刊行之部

一七一頁

Santa Monica 附近岩礁ノ發見

一位置

Santa Monica ノ濱ヨリ擴延セル堆ノ外縁ニテ Hastings island 頂ヨリ南二九度西距離七哩半ノ處

北緯一一度一九分

東經一一九度二四分半

海圖第六七三號ニ據ル

一水深

低潮ニ洗フ

一偏差

一九一一年一度東

(告第二三七二號第七五三一項)

一八八頁

(I) Koron bay 暗礁ノ發見

一位置

Guintunganan island ヨリ東方距離七鏈半ノ處
Guintunganan island

北緯一一度四七分

東經一二〇度一三分

一形狀

南北ノ長約七鏈ノ石花礁

一水深

二尋

(告第二三二六號第七三一五項ノ内)

支那海水路誌第六卷下 明治四十三年八月第一改版 之部

五五頁

Langsuen river 口燈臺設置

一位置

Langsuen river 口ノ南側

Langsuen river 口

北緯九度五六分半

東經九九度八分

一燈質

每十五秒ノ明暗燈明十秒 暗五秒ニシテ白光及紅光ノ分弧ヲ顯ス

一燈高

四十一呎

一光達距離

八哩

一等級

第四等

一明弧

南ヨリ南四二度西マテハ白光、南四二度西ヨリ西ヲ經テ北五三度西マテハ紅光、北五

一様式

三度西ヨリ北マテハ白光ヲ顯ス

一偏差

白塗鐵造建物
一九一〇年一度東

(告第二三〇九號第七二四三項)

八三頁

Koh Tron—An Thoi bay 燈臺ノ設置

一位置

An Thoi bay ノ西角

北緯一〇度〇分
東經一〇三度五九分半

海圖第七四三號ニ據ル

不動紅光燈

一燈高 一三一呎

一光達距離 六哩

一構造 鐵柱

一注意 此燈臺ノ精位置ハ未詳ナルヲ以テ「概位」ト附記スルヲ要ス

(告第二三三四號第七五四〇項)

French Indo-China—佛國潛水艇ノ水雷發射演習ニ關スル信號

一記事

潛水艇ノ水雷發射演習中ハ標的船ニ一大紅旗ヲ掲揚ス

標的船ハ商船ノ針路カ潛水艇ニ危險ナリト認メシトキハ萬國船舶信號N.N(即時停

止)ノ二旗ヲ掲揚シ尙ホ必要ニ際シテハ發砲ス

衝突ノ危險ナキニ至ラハ標的船ハ萬國船舶信號N.H(其儘航行セヨ)ノ二旗ヲ掲揚ス

標的船ハ一般ニ快速力ノ一傳令船ヲ伴フ而シテ傳令船ハ通航船ニ對シテ叫呼シ若クハ黑板ヲ用ヒテ警告ス

(告第二三三四號第七四一一項)

柴棍河口燈火ノ廢設等

(一)導燈ノ新設

(甲)前燈

一位置

Cocanut bayノ北角

北緯一〇度二一分二九秒

東經一〇七度三分二六秒 海圖第七一九號ニ據ル

一燈質 不動紅光燈

一燈高 六十五呎

一光達距離 未詳

一明弧 北六度東ヨリ北ヲ經テ北二四度西ニ至ル間

一様式 白塗方形塔

(乙)後燈

一位置 前燈ヨリ北九度西距離一哩二鏈ノ處

一燈質 不動紅光燈

一燈高 四二六呎

一明弧 北一度東ヨリ北ヲ經テ北一九度西ニ至ル間

一様式 白塗方形塔ニシテ守燈房之ニ接ス

一注意 此二燈ヲ一線(北九度西)ニ見レハRanza bankトKangio bankヨリ擴延セル淺灘トノ間ニ導ク

(二) 燈火ノ廢止

一位置

Cocoanut bay ノ防波堤端燈臺ヨリ北五鏈ノ處

一記事

從前ノ導燈中ノ不動紅光燈(後燈)

(三) 燈色ノ變更

一位置

Cocoanut bay ノ防波堤端

一變更

從前ノ導燈中ノ前燈ナル此燈火ハ其燈色紅光ヲ綠光ニ變更セリ

一偏差

一九一一年二度東

(告第二三五四號第七四三八項)

Kua Kangio 燈臺燈色ノ變更

(一) 位置

Kangio bank ノ北東端

北緯一〇度二四³/₄分

東經一〇七度〇³/₄分

變更

紅光ヲ白光ニ變更ス

(二) 位置

Fuok binh kiang 口ノ北方

北緯一〇度二七分

東經一〇六度五六分半

變更

白光ヲ紅光ニ變更ス

(告第二三五四號第七四三七項)

Cape St. James 新燈臺ノ設置

一位置

岬ノ北西頂ニ於テ舊燈臺ヨリ北四度西距離六鏈ノ處

北緯一〇度二〇³/₄分

東經一〇七度四分半

一燈質

毎十秒ニ二閃光ヲ發スル連閃白光燈

一燈高

六四六呎

一光達距離

未詳

一様式

高四十九呎ノ白塗疊石塔

一注意

從來舊燈臺ヨリ顯セル不動白光燈ヲ廢止セリ○信號所ヲ新燈臺附近ニ移置セリ

一偏差

一九一一年二度東

(告第二三三九號第七三六四項)

Canton rock 浮標ノ流失

一位置

Canton rock ノ西側

Canton rock

北緯一六度九分半

東經一〇八度一三分半

一様式

圓筒形目標附黑塗浮標

一注意

此浮標ハ之ヲ再置セサルヘシ

(告第二三七六號第七五五〇項)

三二七頁

Lai tao 及 Fong wong island 近傍淺灘ノ發見

一位置

Lai tao

北緯二〇度四三³/₄分

東經一〇七度二六³/₄分

一記事

最近ノ驗測ニ據レハ Lai tao ト Fong wong island トノ間ニ於テ數岩及 Lai tao ノ南西方ニ於テ一岩ヲ發見セリト云フ即チ左ノ如シ

(一) 三³/₄尋(岩底) 北緯二〇度四五分四七秒
東經一〇七度二四分二三秒

(二) 四³/₄尋 北緯二〇度四五分二五秒
東經一〇七度二四分五八秒

(三) 三尋(沙及泥) 北緯二〇度四四分五八秒
東經一〇七度二五分二八秒

(四) 三³/₄尋(岩底) 北緯二〇度四四分二三秒
東經一〇七度二六分三〇秒

(五) 四³/₄尋(岩底) 北緯二〇度四二分一七秒
東經一〇七度二五分三二秒

四二二頁

(告第二三五七號第七四五二項)

海南海峽西方暗礁ノ發見

一位置

Lamko point 燈臺ヨリ北七〇度西距離六³/₄哩ノ處

北緯二〇度二分四〇秒

東經一〇九度三六分五秒

海圖第四五四號ニ據ル

未詳

海圖上前記位置ニ⁺符ヲ記シ「一九一一年報告」ト傍記スルヲ要ス

一水深

一注意

一九一一年一度東

(告第二三七九號第七五六四項)

支那海水路誌第七卷上明治四十一年七月第一改版之部

Batan island 北東側尖岩ノ發見

一記事

Batan islandノ北東側左記ノ位置ニ於テ一尖岩ヲ發見セリ

一位置

北緯二〇度二八分四三秒
東經一二二度二分三〇秒

一高

約三十呎

(告第二三二八號第七三一九項)

圖誌上燈臺ノ記入及改正

一記事

最近ノ調査ニ據リ圖誌上左記ノ通り燈臺ノ記入及改正ヲ要ス

岸島呂宋	方地	燈臺	記
Tagudin	號通	臺燈	事
北口	地之	置設	
16° 56'	緯	北東	
120° 25'	經	燈	
1	數	燈	
紅	色	燈	
動不	質	燈	
.....	間ノ發又回	ノ時光ハ轉	
7	湮數	光達	
柱塗白	質形	臺燈	
30	高火上高	呎之燈潮	
.....	呎之燈火	呎之高	
1908	年之	點初	
.....	等級	器及照光	
ヲ要ス	圖誌ニ新ニ記入スル		

Mindoro island	全
Apo island	Hermana Mayor
12° 40'	15° 48'
120° 24'	119° 47'
閃	交
	157
燈質改正	南六〇度西ヨリ南ヲ 經テ南三〇度東ニ至 ル間ハ遮蔽セラル 高潮上燈火ノ高呎及 明弧改正

(告第二三六三號第七四八二項ノ内)

二〇六頁

Cuyos islands 南西方岩ノ發見

一位置

北緯一〇度二四分

海圖第六七八號ニ據ル

東經一二〇度三一分

一水深

未詳

一注意

汽船 *Elva* ハ此岩ニ攔觸セリ

(告第二三〇九號第七二四四項)

二二二頁

1) Muligi islands 南西方淺灘ノ發見

一記事

英艦 *Momouth* ノ報告ニ係ル Muligi islands ノ西方及南西方ニアリト云ヘル淺灘驗測ノ結果ハ左ノ如シ

一位置

(一) 五尋淺灘(底質石花)

北緯六度五〇分一五秒

東經一一八度九分二五秒

海圖第五四一號ニ據ル以下同シ

(二) 五尋淺灘(底質石花)

北緯六度四九分三五秒

東經一一八度八分四〇秒

(三) 四尋半淺灘(底質石花)

北緯六度四三分二五秒

東經一一八度九分四五秒

(四) 二尋淺灘(底質石花)

北緯六度四二分四〇秒

東經一一八度八分三五秒

此淺灘ヨリ北八四度東距離五鏈半ノ處ニ五尋(底質石花)、北六三度西距離四鏈ノ處ニ四尋、南八七度西距離七鏈半ノ處ニ五尋、南六〇度西距離四鏈半ノ處ニ四尋ノ各淺灘アリ

(五) 二尋半淺灘(底質石花)

北緯六度四一分三五秒

東經一一八度七分三五秒

此淺灘ヨリ北八七度東距離四鏈ノ處ニ五尋淺灘アリ

(六) 尋淺灘(底質石花)

北緯六度四一分三五秒

東經一一八度六分二五秒

一注意

(三) 淺灘ヨリ北東ニ東距離一鏈半ニアル四尋半淺灘ト(三)至(六)淺灘トノ一群(Monmouth shoalsト稱ス)ハ一八九〇年英艦 Wandererノ報告ニ係ル淺灘ト同一物ナルモノ、如シ然レトモ Wandererノ報告ニ係ル淺灘ハ更ニ驗測ヲ經ルマテハ之ヲ圖上ニ存置スルヲ要ス

一偏差

一九一一年二度東

(告第二三三三三號第七三二九項ノ内)

Basilan strait 東方淺灘ノ發見

一位置

Sinonog islandノ中心ヨリ南七八度東距離約一哩半ノ處

北緯六度五六分五八秒

東經一二二度二〇分五六秒

海圖第五四九號ニ據ル

一水深

四尋半(沙底)

一偏差

一九一一年一度東

(告第二三七九號第七五六三項)

Basilan strait

(一) Pamelukan bank 立標ノ不存在

一位置

Pamelukan bank 東側附近ノ岩上

北緯六度四三分

東經一二一度五四分半

一注意

此立標ハ數年前亡失後再設セラレス因テ圖上ヨリ之ヲ削除ス

(二) Isabela channel 諸立標ノ不存在

一位置

La Isabela 砲臺

北緯六度四二¹/₄分

東經一二一度五八¹/₄分

La Isabela 砲臺ヨリノ方位及距離

(甲) 北八〇度西一哩五鏈

(乙) 北八七度西一哩

(丙) 北八三度西八鏈

(丁) 北五〇度西二鏈半

(戊) 北三六度西二¹/₄鏈

(己) 北二二度東七鏈半

(庚) 北二七度東二¹/₄哩

(辛) 北三二度東二¹/₄哩

一注意

以上ノ諸立標ハ圖上ヨリ之ヲ削除ス

一偏差 一九一〇年二度東
(告第二三三四號第七二六三項)

一六〇頁

(1) Sulu roadstead 燈火ノ不存在

一位置 埠頭端

北緯六度三分二一秒

東經一二〇度五九分二〇秒

一燈質 不動綠光燈

(告第二三六七號第七五〇六項ノ内)

三七五頁

(1) Bo aan island 東方淺灘ノ發見

一位置

Bo aan island 頂ヨリ南七八度東距離二ノ四哩ノ處

北緯六度一六分四八秒

東經一一八度六分五八秒

海圖第五五八號ニ據ル

一水深 二ノ四尋

一注意 該淺灘ハ廣袤小ナリ

一偏差 一九一一年二度東

(告第二三三三三號第七三二九項ノ内)

四八三頁

Sibuko bay — Tawao

(一) 燈火ノ設置

一位置

Tawao 棧橋ノ外端ニテ Mt. Kukusan 頂ヨリ南一五度東距離二哩ニ鏈ノ處

北緯四度一四分三〇秒

東經一一七度五三分六秒

海圖第五八二號ニ據ル

一燈質 白光、紅光、綠光ノ明弧ヲ有スル不動燈

一注意 無守人燈

棧橋ハ前記ノ位置ヨリ北一四度東ノ方向ニ於テ濱岸ニ向テ延伸ス

海圖上前記ノ棧橋ヨリ東方約二鏈ノ處ニ記セル棧橋ヲ削除スルヲ要ス

(二) 淺灘ノ發見

一位置

Mt. Kukusan

北緯四度一六分半

東經一一七度五二ノ四分

Mt. Kukusan ヨリノ方位及距離

水深

(甲) 南三〇度東二ノ四哩

四ノ四尋

(乙) 南二七度東二ノ四哩

五尋

(丙) 南二九度東二哩

三尋半

(丁) 南二二度東二哩六ノ四鏈

三尋半

(戊) 南一六度東二ノ四哩

五尋

一注意 (已)南三度西一〇分 洗フ
 (乙)丙)二淺灘ヲ Moysey Shoals ト稱シ (已)淺灘ヲ Wicks rock ト稱ス
 一九一一年二度東

(告第二三五四號第七四三四項)

Tanjong Mangkalihat 燈臺ノ設置

一位置 高角ノ北東端ヨリ南方距離約二哩半ニアル角上
 北緯零度五九分 海圖第六八九號ニ據ル
 東經一一八度五九分
 一燈質 每三十秒ノ折射白閃光燈 閃五秒 暗二十五秒
 一燈高 一三四呎
 一光達距離 十七哩
 一明弧 北二一度東ヨリ北西南ヲ經テ南二度東ニ至ル
 一様式 高一〇五呎ノ白塗框式鐵造建物
 一偏差 一九一一年二度東

(告第二三二八號第七三二二項)

Muaras reef 燈臺ノ設置

一位置 Sambit islet

北緯一度四六分
 東經一一九度二分半
 一燈質 每十秒ノ白閃光燈
 一光達距離 十五哩
 一注意 其他ハ詳ナラス

(告第二三五七號第七四五一項)

Panay island 西岸—Sebasteノ西方暗礁ノ發見

一位置 Sebaste 村ヨリ西方約五哩ノ處
 暗礁ヨリ { Maniguin island 燈臺ハ 南八八度西 距離十八哩
 Pucio point ヰ 北四七度西

北緯一一度三六分^四
 東經一二二度〇分 海圖第六七三號ニ據ル
 一形狀 濶約百五十碼ノ石花礁
 一水深 四尋
 一偏差 一九一一年一度東

(告第二三六七號第七五〇五項)

Gulf of Asid 内淺灘ノ發見

一位置

Jintotolo island

北緯一度五二分

東經一二三度七分

一記事

Gulf of Asid 内ニ於テ左記ノ數淺灘ヲ發見セリト云フ

(甲) 一ノ尋 北緯一度五九分

東經一二三度二分二五秒

(乙) 五ノ尋 北緯一度五二分一五秒

東經一二三度二分五〇秒

(丙) 四ノ尋 北緯一度五一分五〇秒

東經一二三度二七分

(丁) 三ノ尋(岩底) 北緯一度四九分三〇秒

東經一二三度三分四〇秒

一注意

尚ホ此附近ニハ數多ノ淺點灘散在スルヲ以テ注意スルヲ要ス

(告第二三五七號第七四五三項)

(1) Panay island 東岸附近暗岩ノ發見

(乙)位置

Tulunannan island ノ東端ヨリ南九度東距離約一哩半ノ處

Tulunannan island

北緯一度二四分

水深 東經一二三度一二三分
二尋
一注意 此岩ハ小尖岩ナリ
一偏差 一九一一年一度東

(告第二三三六號第七三一五項ノ内)

(1) Panay island 東岸附近暗岩ノ發見

(甲)位置

Canas island ノ東端ヨリ北四〇度東距離三ノ鏈ノ處

Canas island

北緯一度三〇分

東經一二三度一五分

水深 約一呎

一注意 此岩ハ小尖岩ナリ

一偏差 一九一一年一度東

(告第二三三六號第七三一五項ノ内)

Siete Pecados islets 燈臺明弧ノ改正

一位置

北緯一〇度四六分

東經一二二度四〇分

一 明弧改正 「北七六度西ヨリ北五〇度西ニ至ル間ハ紅光ヲ顯シ以テ Igwana bank ヲ示シ其他ハ白光ヲ顯ス」トアルヲ「北八三度西ヨリ北五二度西ニ至ル間ハ紅光ヲ顯シ以テ Igwana bank ヲ示シ其他ハ白光ヲ顯ス」ト改ム

一 偏差 一九一一年一度九分東

(告第二三八二號第七五八二項)

支那海水路誌第七卷下 明治四十三年三月第二改版 之部

Bogo point 北方淺灘ノ不存在

一 位置 北緯一一度八分

東經一二四度四分

一 淺灘 一九〇三年ノ報告ニ係ル一尋淺灘

一 注意 米合衆國官船ハ二回此淺灘ヲ搜索シタレトモ發見セサリシヲ以テ最早同國政府刊行ノ海圖ニハ之ヲ記載シアラス

依テ該淺灘ハ圖上ヨリ之ヲ削除スルヲ要ス

(告第二三八二號第七三一三項)

Port Sebu 南口一燈臺ノ廢設

(一) 燈臺ノ點火

一 記事 Lavis point 附近ノ礁上ニ建設中ノ燈臺ハ今般竣成シ左記ノ燈火ヲ點セリ

一 位置 Lavis ledge ノ南西端、第二號紅塗浮標ノ南方至近、Lavis point 燈臺ノ位置ヨリ南六

四度西距離六鏈ノ處

北緯一〇度一四分五秒

東經一二三度五三分三〇秒 海圖第六六五號ニ據ル

一 燈質 每十五秒ノ明暗白光燈 明十一秒 暗四秒

- 一 燈高 五十四呎
- 一 光達距離 十三哩
- 一 明弧 北五六度西ヨリ北、東、南ヲ經テ南三四度西ニ至ル間
- 一 樣式 「コンクリート」造塔
- (二) 燈臺ノ廢止
- (甲) 位置 Lavis pointノ礁上
- 燈質 不動綠光燈
- (乙) 位置 Lipata reefs上
- 燈質 不動紅光燈
- 一 偏差 一九一一年一度東

(告第二三五二號第七四二九項)

Bohol island 南方淺灘ノ不存在

- 一 海圖上ノ位置 北緯九度三〇分
- 東經一二四度二八分半
- 一 淺灘 一八九三年英國汽船 Buckinghamノ報告ニ係ル疑位淺灘
- 一 注意 此淺灘ハ最近刊行ノ米合衆國政府ノ海圖ニ記載ナキヲ以テ海圖上ヨリ之ヲ削除スヘシ

(告第二三三二一號第七二九二項)

Maligbok (Malitbog) 燈臺ノ設置

- 一 位置 Maligbokノ獄舍上
- 北緯一〇度九³/₄分
- 東經一二四度五八分半
- 一 燈質 不動紅光燈
- 一 燈高 五十三呎
- 一 光達距離 七哩
- 一 構造 木造框式建物

(告第二三七二號第七五三〇項)

Guntuan islandノ南東方暗礁ノ發見

- 一 位置 Guntuan islandノ南端ヨリ南二八度東距離約四哩ノ處
- 北緯九度四一分半
- 東經一二五度四五³/₄分
- 一 水深 三尋半
- 一 注意 海圖上此礁ノ傍ニ「概位」ト附記センコトヲ要ス
- 一 偏差 一九一一年一度東

(告第二三四九號第七四一四項)

圖誌上燈臺ノ記入

一記事

最近ノ調査ニ據リ圖誌上左記ノ通り燈臺ノ記入ヲ要ス

Mindanao island	地方	燈臺	設置	北緯	東經	燈數	燈色	燈質	回轉 又ハ 發光 ノ時 間	晴天 光達 ノ數	燈臺 高潮 上 燈火 之 高	初點 之年	照光 器及 等級	記事
Panabutan bay	號通	地之	緯	經	1	紅	動不	7	1907	圖誌ニ新ニ記 入スルヲ要ス	
上ノ東埠 瀨側頭			7° 35'	122° 8'										

(告第二三六三號第七四八二項ノ内)

Bondokノ西方淺灘ノ發見

一位置

Bondokニ於ケル河口ノ南角ヨリ北七六度西距離一哩ノ處

北緯一二度二〇分半

海圖第六七三號ニ據ル

東經一二二度三〇分

四ノ尋

一水深

一九一一年一度東

一偏差

(告第二三五四號第七四三五項)

Subunguin reefニ就テ

一位置

Bondokヨリ南西方距離約三哩ノ處

北緯一二度一九分半

海圖第六七三號ニ據ル

東經一二二度二八分

一記事

Subunguin reefハ十尋界線以内ノ長約一哩半ニシテ半潮ニハ一部分洗フ

(告第二三七四號第七五三九項)

Santa Cruz harbour燈臺ノ設置

一位置

Santa Cruz harbour 西側ノ礁上

燈臺ヨリ Santa Cruz islandノ南西角ハ

Mango pointノ北端ハ

北七七度東 距離六分鏈
南七一度東

一燈質

不動紅光燈

一燈高

二十四呎

一光達距離

七哩

一様式

「コンクリート」造圓柱

一注意

無守人燈

此燈火ヲ南八度西ニ保視スルハ Santa Cruz harbourノ北口ヲ導キ又北七九度西ニ保

視スレハ同東口ヲ導ク
本燈臺ニ「概位」ト附記スルヲ要ス
一九一一年一度東

(告第二三六五號第七四九二項)

一八〇頁

Biliran channel 浮標ノ廢止

一位置 Biliran channel 西口附近

北緯一度二七分半

東經一二四度二七分

一様式 二箇ノ黒塗圓臺形浮標

(告第二三六五號第七四九〇項)

二〇七頁

Katbalogan 燈臺燈質等ノ變更

一記事 Katbalogan 燈臺ノ燈質等ヲ左記ノ如ク變更セリト云フ

一位置 Katbalogan river 口北角

北緯一度四七分

東經一二四度五二分

一燈質 不動紅光燈

一燈高 一〇〇呎

一光達距離 十二浬
一様式 高二十四呎ノ白塗「コンクリート」造柱
一注意 位置及明弧ハ従前ノ通リ
(告第二三六七號第七五〇二項)

三二二頁

1 Mindanao island ノ Palak(Pollok)harbour 燈臺位置ニ就テ

一記事 Palak harbour 燈臺不動紅光燈ノ現位置ハ左ノ如シ

一位置 Parangノ旗竿ヨリ南五四度西距離五鏈半ノ處

北緯七度二二分七秒

東經一二四度一五分三九秒

一偏差 明治四十四年一度二五分東
(告第二三六七號第七五〇六項ノ内)

三二四頁

Illana bay 内淺水ノ發見

一位置 Bonggo islandノ北端ハ 北八九度東 距離五浬半
淺水ヨリ 同島ノ南西端ハ 南二五度東

北緯七度二二分五分

東經一二三度五六分半

一水深 未詳但シ推定ニ據レハ約六尋

一注意 海圖上前記位置ニ六尋淺灘及 P.D.ヲ記入シ「尙ホ淺水アラント附記スルヲ要ス」

一偏差 一九一一年一度東
(告第二三三五號第七三四五項)

三一九頁

Port Lebakノ西方淺灘ノ發見

一位置 Port Lebak口ノ北角附近ノ島ヨリ北八八度西距離三 $\frac{1}{2}$ 哩ノ處

北緯六度三三分三〇秒 } 海圖第六七四號ニ據ル

東經一二三度五六分三〇秒

一水深 二尋半

一注意 海圖上此淺灘ノ傍ニ「報告」ト附記センコトヲ要ス

一偏差 一九一一年二度東

(告第二三四九號第七四一三項)

三五七頁

Talisse island燈臺ノ設置

一位置 Talisse islandノ北端ナシ Tanjung Aros 上

Tanjung Aros

北緯一度五三分 $\frac{1}{4}$ 分

} 海圖第六七六號ニ據ル

東經一二五度五 $\frac{1}{4}$ 分

一燈質 每五秒ノ白閃光燈

一光達距離 二十五哩

三五八頁

一注意 其他ハ詳ナラス
(告第二三三四號第七二六二項)

Talisse road 内暗礁ノ發見

一位置

暗礁ヨリ } Talisse 旗竿ハ
Kinabohutan island 西端ハ

北五一度西 距離三 $\frac{1}{2}$ 鏈

北四〇度東

Talisse 旗竿

北緯一度四九分半

東經一二五度四 $\frac{1}{4}$ 分

一水深 四尋半

一偏差 一九一一年二度東

(告第二三三四號第七三四三項)

三八二頁

Kwandang bay 燈臺ノ設置

一位置

Hulawa isletノ約中央

北緯零度五八分二〇秒

} 海圖第五三七號ニ據ル

東經一二二度五三分四八秒

一燈質 每三秒ノ白閃光燈閃一秒

一燈高 四十九呎